

# 2018 年度研究年報

第 15 号

2019 年 12 月

**首都大学東京 健康福祉学部**



**首都大学東京**

# 序

## 研究年報(第15号)の発刊にあたって

首都大学東京は「大都市における人間社会の理想像の追求」を大学の使命として、①都市環境の向上、②ダイナミックな産業構造を持つ高度な知的社会の構築、③活力ある長寿社会の実現をキーワードに掲げ教育研究を推進している。

その中で、健康福祉学部・大学院人間健康科学研究科では、各学問分野で「あらゆる世代・地域の人々が、自分の能力を発揮し活躍できる優しい社会」を目指した研究が実施されている。理論と検証、更に実践的知見を礎として各分野における学問体系を確立・深化させることはもちろん、異なる分野間の学問交流を通じて有機的・融合的な研究・教育が機動的・弾力的に行われていることも本学部・研究科の特徴である。更に、研究成果を広く世界に発信すると共に、世界中の「健康増進」に向けた様々な先進的な活動を行っている。又、東京都医学研究機構、東京都健康長寿医療センター及び都立小児総合医療センターとの連携や、都立病院をはじめとした医療機関や福祉施設、更に地方自治体との教育・研究における協力関係や学術情報のネットワーク化など、地域保健医療の拠点として積極的な展開を図るとともに、研究成果の社会還元を進めている。

今回発刊する研究年報第15号は、2018年度の研究活動の成果を取りまとめたものである。この冊子を通して、本学部・研究科での研究活動に対する理解を深めて頂きたい。又、本学部・研究科のより一層の発展のためにご指導ご鞭撻頂きたいと願っている。

2019年12月

首都大学東京  
健康福祉学部長・人間健康科学研究科長  
渡邊 賢

# 目次

## 学部長

教授 渡邊 賢…………… 3

## 看護学科

学科長 西村 ユミ…………… 5  
教授 安達 久美子…………… 7  
教授 織井 優貴子…………… 9  
教授 河原 加代子…………… 10  
教授 斉藤 恵美子…………… 11  
教授 習田 明裕…………… 12  
教授 猫田 泰敏…………… 14  
教授 山本 美智代…………… 15  
准教授 飯塚 哲子…………… 16  
准教授 石川 陽子…………… 17  
准教授 岡本 有子…………… 18  
准教授 木村 千里…………… 19  
准教授 島田 恵…………… 21  
准教授 園部 真美…………… 23  
准教授 種吉 啓子…………… 25  
准教授 菱沼 由梨…………… 26  
准教授 廣川 聖子…………… 28  
准教授 福井 里美…………… 29  
准教授 増谷 順子…………… 30  
准教授 三浦 里織…………… 31  
助教 巖 千晶…………… 32  
助教 大庭 貴子…………… 33  
助教 川添 美花…………… 34  
助教 坂井 志織…………… 35  
助教 高嶋 希世子…………… 36  
助教 前田 耕助…………… 37  
助教 吉羽 久美…………… 38

## 理学療法学科

学科長 山田 拓実…………… 40  
教授 浅川 康吉…………… 41  
教授 網本 和…………… 42  
教授 池田 由美…………… 44  
教授 易 勤…………… 45  
教授 竹井 仁…………… 47  
教授 新田 収…………… 49  
准教授 宇佐 英幸…………… 52  
准教授 来間 弘展…………… 53  
准教授 信太 奈美…………… 54  
准教授 古川 順光…………… 55  
助教 神尾 博代…………… 56

## 作業療法学科

学科長 石井 良和…………… 58  
教授 大嶋 伸雄…………… 60  
教授 菊池 吉晃…………… 62  
教授 小林 法一…………… 66  
教授 小林 隆司…………… 69  
教授 塩路 理恵子…………… 73  
教授 ボンジェ・ペイター…………… 74  
准教授 石橋 裕…………… 76  
准教授 伊藤 祐子…………… 77  
准教授 井上 薫…………… 79  
准教授 藺牟田 洋美…………… 81  
准教授 谷村 厚子…………… 83  
准教授 橋本 美芽…………… 84  
准教授 宮本 礼子…………… 86

## 放射線学科

教授 小倉 泉…………… 89  
教授 加藤 洋…………… 90  
教授 齊藤 秀敏…………… 91  
教授 白川 崇子…………… 92  
教授 妹尾 淳史…………… 93  
教授 福士 政広…………… 95  
准教授 井上 一雅…………… 99  
准教授 眞正 浄光…………… 104  
准教授 関根 紀夫…………… 107  
准教授 乳井 嘉之…………… 108  
准教授 沼野 智一…………… 109  
准教授 根岸 徹…………… 111  
准教授 明上山 温…………… 114

注)所属・職位は2019年4月現在

## 《表記方法等》

1 研究活動の掲載期間は、2018年4月から2019年3月までである。

2 論文には、査読付きの業績を記載している。

【記載対象】学術論文、国際会議プロシーディングス、大学・研究機関紀要、研究会・シンポジウム資料、  
その他学術会議資料、学位論文等

【読み方】氏名：タイトル、掲載媒体、掲載箇所、発表年月

3 著書は、著書、編書、訳書、共著、共編、共訳を含んでいる。

【記載対象】単行本、事典・辞書、地図、音楽資料、映像、画像等

【読み方】氏名：タイトル、担当範囲、出版社、出版年月

4 Misc (Miscellaneous, 種々雑多なもの)は、基本的に査読なしの業績を含んでいる。

【記載対象】研究論文、速報・短報・研究ノート等(学術雑誌、大学・研究機関紀要)、  
研究発表要旨(国際会議、全国大会、その他学術会議)、機関テクニカルレポート、  
プレプリント、総論・解説(学術雑誌、国際会議プロシーディングス、大学・研究所、  
商業誌・新聞・ウェブメディア等)、講義資料(セミナー、チュートリアル、講習、講義他)、  
書評、文献紹介、会議報告、その他記事

【読み方】氏名：タイトル、掲載媒体、掲載箇所、発表年月

5 講演・口頭発表等は、講演や国内会議、国際会議などにおいて発表された業績を含んでいる。

【記載対象】口頭発表(一般、招待・特別、基調講演)、ポスター発表、シンポジウム・ワークショップパネル  
(公募、指名)、公開講演、セミナー、チュートリアル、講習、講義、メディア報道

【読み方】氏名：タイトル、発表の場、発表年月

6 競争的研究費の課題は、分担研究者となっている業績を含んでいる。

【読み方】氏名：研究費の種類「タイトル」、期間・年月

7 社会貢献活動は、イベント、番組、新聞雑誌など、社会的に貢献した業績を対象としている。

【読み方】氏名：活動内容・タイトル、主催・媒体名、期間・年月

8 外国語で発表された論文等は、原則としてそのまま表記している

健康福祉学部長

## 論文

- 1) NARAKI Yasunobu, WATANABE Masaru, ISHIDA Yukisato: Inhibitory effects of rubratoxin A, a potent inhibitor of protein phosphatase 2, on the Ca<sup>2+</sup>-dependent contraction of skinned carotid artery from guinea pig. Journal of Smooth Muscle Research, 55(1):14-21, 2019.03

## 講演・口頭発表等

- 1) 渡邊賢: Regulation of thick and thin filaments organization of smooth muscle contraction. 9th FAOPS Congress, 2019.03.30
- 2) 渡邊賢: 盲腸紐 X 線回折像に対する  $\beta$  エスシンスキンド処理の影響. 第 60 回日本平滑筋学会総会, 2018.08.16

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 渡邊賢: 日本学術振興会 科学研究費「プロテインホスファターゼ 2A による平滑筋化学-力学変換調節のメカニズム」, 2016.04-2019.03

## 委員歴

- 1) 日本生理学会 将来計画員会 委員長(2018.03-)
- 2) 日本生理学会 庶務担当副理事長(理事)(2016.03-)
- 3) 日本体力医学会 編集委員会委員(2015.10-)
- 4) 日本平滑筋学会 理事(2015.08-)
- 5) 日本平滑筋学会 評議員(2009.07-)
- 6) 日本平滑筋学会 広報委員会・委員長(2015.07-)
- 7) 日本生理学会 編集広報委員会委員(2006.03-)
- 8) 日本生理学会 評議員(1994.03-)

# 看 護 学 科

## 論文

- 1) 西村ユミ: 遺伝性疾患をもつ家族の語りと時間経験の意味——家族内生体腎移植の振り返りを契機として. 現象学と社会科学, 1:3-19, 2018.05

## 著書

- 1) 西村ユミ他: 質的心理学辞典, 新曜社, 2018.11.30
- 2) 西村ユミ他: 看護の経験を意味づける 対話をめぐる現象学 (教養と看護), 日本看護協会出版会, 2018.10.26
- 3) 西村ユミ: 語りかける身体 看護ケアの現象学 (講談社学術文庫), 講談社, 2018.10.12
- 4) 前田泰樹, 西村 ユミ: 遺伝学の知識と病いの語り: 遺伝性疾患をこえて生きる, ナカニシヤ出版, 2018.8.31

## Misc

- 1) 西村ユミ: 本書について(石田絵美子著, 『「進化」する身体——筋ジストロフィー病棟における語りの現象学』ナカニシヤ出版): 189-194, 2019.02
- 2) 西村ユミ: 解説 ケアを生み出す, 現象学の実践(坂井志織著『しびれている身体で生きる』日本看護協会出版会): 256-259, 2019
- 3) 西村ユミ・新福洋子: 対談「異分野交流が研究を開く: 若手研究者の Step Up をどうサポートするか」. 医学界新聞第, (3302): 1-2, 2018.12
- 4) 守屋淳・西村ユミ: 弱さの教育学のために——現象学がみつめること. 看護教育, 59(4): 286-292, 2018.04

## 講演・口頭発表等

- 1) 西村ユミ: ケアの実践とは何か? ——看護と現象学との対話から. 哲学会第五十七回研究発表大会, 2018.11.03
- 2) Maeda, H., Nishimura, Y., Mizoguchi, M.: A Study om the illness experience of ADPKD patiens in Japan (1): Focusing on accessibility of medical knowledge. 24th Qualitative Health Research Conference, 2018.10.29
- 3) Nishimura, Y., Haeda, H., Mizoguchi, M.: A Study om the illness experience of ADPKD patiens in Japan (2): Relying on ingenuity in order to improve quality of life. 24th Qualitative Health Research Conference, 2018.10.29
- 4) Nishigaki, M., Nishimura, Y., Hiroki, H., et al.: Talking about autosomal dominant polycystic kidney Disease (ADPKD) to partner or children in patients with ADPKD: cross-sectional study, 2018.10.27
- 5) 新井清美・飯塚哲子・福井里美・三浦里織・坂井志織・池田由美・眞正浄光・小林隆司・西村ユミ: 急性期医療場面における演劇ワークショップ型多職種連携学習支援プログラムの評価. 第 28 回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.16
- 6) 飯塚哲子・福井里美・三浦里織・新井清美・池田由美・眞正浄光・小林隆司・西村ユミ: 急性期医療場面における演劇ワークショップ型多職種連携学習支援プログラム構築. 第 28 回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.16
- 7) 溝口満子・西村ユミ・前田泰樹・西垣昌和・程内栄子・松本千香子・山地幸雄・武藤智・望月俊雄: 多発性嚢胞腎患者の病い経験の実態に関する研究——遺伝性の病いを家族に伝えること. 日本遺伝看護学会第 17 回学術大会, 2018.09.16
- 8) 川嶋みどり・西村ユミ: 現在の看護に感じるジレンマとその源泉: 対談. 日本看護技術学会第 17 回学術集会, 2018.09.08



- 9) 西村ユミ: 対話——他者と関わる意味・看護実践を言葉にする. 第 12 回日本慢性看護学会学術集会, 2018.07.15
- 10) 西村ユミ: 認知症をともに生きる人々の経験と課題. 2018 年家族問題研究学会大会, 2018.07.14
- 11) 西村ユミ・前田泰樹: 協働実践の現われとしての判断とその成り立ち——救命救急センター病棟の看護場面のフィールドワーク. 第 44 回日本保健医療社会学会大会, 2018.05.19

## 著書

- 1) 安達久美子:今こそ知りたい 助産師のための産後ケアガイド. 日本助産師会出版, 2019.03
- 2) 安達久美子:今日の助産 改訂第4版. 2, 南江堂, 2019.03
- 3) 安達久美子:新版 助産師業務要覧 第3版 基礎編 2019年版. 2018.12

## Misc

- 1) 安達久美子:若年妊娠の就学・子育て支援 若年妊娠における就学継続と子育て支援. 思春期学, 37(1): 36-38, 2019.03
- 2) 安達久美子:【児童虐待からみた思春期の問題】児童虐待防止のための若年妊婦のケア. 思春期学, 36(3-4):301-305, 2019.01
- 3) 安達久美子, 田村千亜希:検体検査に関連する法律改正と助産所における検体検査の実態調査報告. 助産師, 72(3):17-20, 2018.08
- 4) 山本詩子, 安達久美子, 葛西圭子, 岡本登美子:助産師が行なう産後ケア 自立を支援する視点から 助産師が「地域」で取り組む産前・産後ケアに向けて 日本助産師会の考え方と活動. 助産雑誌, 72(6):410-417, 2018.06
- 5) 安達久美子:全国助産所分娩基本データ収集システム 2016 集計結果報告. 助産師, 72(2):73-75-75, 2018.05

## 講演・口頭発表等

- 1) 安達久美子, 菱沼由梨, 久保幸代:硬膜外麻酔分娩期の助産ケアに関する調査. 第33回日本助産学会学術集会, 2019.03
- 2) 佐藤洋子, 仲道由紀, 安達久美子, 山本詩子, 岡本喜代子, 谷口初美:全国調査を通して変化したモンゴルの母親の妊婦肥満に対する認識. 第33回日本助産学会学術集会, 2019.03
- 3) 仲道由紀, 佐藤洋子, 安達久美子, 山本詩子, 岡本喜代子, 谷口初美:全国調査を通して変化したモンゴル助産師の妊婦肥満に関する認識. 第33回日本助産学会学術集会, 2019.03
- 4) 望月千夏子, 安達久美子:有酸素運動が妊婦に及ぼす効果の検証—文献検討—. 第28回日本保健科学学会学術集会, 2018.10
- 5) 北条喜子, 安達久美子:エビデンスからみた妊産婦対象の鍼灸療法に関する文献検討. 第28回日本保健科学学会学術集会, 2018.10
- 6) 田原茉理恵, 安達久美子:親との同居別にみた出産・育児期の女性にとっての支援提供者—全国家庭動向調査より—. 第28回日本保健科学学会学術集会, 2018.10
- 7) 水尾智佐子, 安達久美子:硬膜外麻酔分娩における教育体制の課題. 第28回日本保健科学学会学術集会, 2018.10
- 8) 長谷部裕佳, 安達久美子:思春期女性の低容量ピル使用に関する社会の認識, —1983年から2018年の国内文献調査から—. 第28回日本保健科学学会学術集会, 2018.10
- 9) 丸山祐佳, 安達久美子:男女差に着目した高校生のボディイメージ文献レビューを通じて—. 第28回日本保健科学学会学術集会, 2018.10
- 10) 安達久美子:10代の妊娠・出産の動向:2007~2016年の10年間の統計データから. 第37回日本思春期学会学術集会, 2018.08

11) 巖千晶, 安達久美子:子ども立ち合い出産の選択に関連する要因の検討. 日本助産師学会抄録集, 2018

**競争的資金等の研究課題**

- 1) 小川久貴子 分担 安達久美子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「若年母の肯定感を高めるICT活用支援プログラムの開発」, 2017-2021
- 2) 河内浩美 分担 安達久美子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「子どもの性的成熟に対する母親の育児困難感尺度の開発」, 2015-2019

## 著書

- 1) 織井優貴子:医療と健康のための心理学. 9,樹出版, 2018.04

## 講演・口頭発表等

- 1) 織井優貴子:Effect of nursing intervention using “expressive writing method” on immune function and quality of life in patients with cancer. International Conference of Cancer Nursing, 2018.09.24
- 2) 織井優貴子:ナースングアンシミュレータを活用した授業設計へのチャレンジ. 2018 National SUN, 2018.09.01
- 3) 織井優貴子, 黒田暢子, 黒田暢子:シミュレーション教育のための授業(教授)設計 Part2 教材としてのシミュレータを活かす:ARCS 動機付けモデルの活用. 日本看護学教育学会誌, 2018.08
- 4) 織井優貴子:永久的人工肛門を造設した高齢者に必要な支援と QOL の関連 手術後経過年数に基づいた分析. 日本老年看護学会学術集会抄録集, 2018.05.31

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 織井優貴子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「在宅療養高齢者が生き生き過ごすための「コミュニケーションロボット」の活用と評価」, 2019.07-2022.03
- 2) 難波貴代:日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究「訪問看護師のコンピテンシーを高める教育プログラムの開発」, 2016.04-2019.03
- 3) 黒田暢子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 C「エンドオブライフケア教育効果を高めるシミュレーション看護教育プログラムの検証」, 2015.04-2019.03

## 社会貢献活動

- 1) 織井優貴子:新しい看護教育方法の動向(シミュレーション教育). 10, 2019.02.05-2019.02.08
- 2) 織井優貴子:将来の夢:どんな仕事をえらんだらよいのか 看護師の道を選んだわたしから:将来の生き方や働くことの意義について. 10, 2019.02.08-
- 3) 織井優貴子:「主体的に学ぶためのシミュレーション教育」. 10, 2018.08.06-2018.08.07

## 【論文】

- 1) 平原優美, 河原加代子, 早野貴美子, 黒澤泰子, 習田明裕: 在宅ケアで活用できる『温罨法を併用した手のマッサージ法』の生理的・心理的効果, 日本看護技術学会誌, 17, 71-79, 2018
- 2) 宮崎紀枝, 河原加代子: 保健師による事業化に必要なストラテジーの構造 - 活動とその成果の因果モデル -, 日本地域看護学会誌, 21(2), 4-13, 2018

## 【Misc】

- 1) 河原加代子: 平成 29 年度訪問看護ステーション管理者・指導者育成研修 研修報告書: 東京都福祉保健財団, 2018.03
- 2) 河原加代子(代表): 平成 28-30 年度科学研究費 基盤研究(B)報告書, 患者 - 看護師相互作用プロセスにおけるケア効果を引き出す最適プロセス設計の開発, 2019.03

## 【講演・口頭発表】

- 1) Hayano K; Kawahara K; Yuki M: Construction of an educational material frame focusing on Risk-communication in large-scale earthquake, the World Bosai Forum- IDRC, Sendai, November, 2018
- 2) Yuki M; Hayano K; Kawahara K: Mental health among healthcare professional living in temporary housing in Fukushima prefecture after the Fukushima nuclear disaster, the World Bosai Forum- IDRC, Sendai, November, 2018
- 3) Nakano R; Kawahara K; Kurosawa Y: Knowledge and Measures about Knee Joint Pain of Japanese Senior Female Citizens, the 22th East Asian Forum of Nursing Scholars(EAFONS), 2019
- 4) 中野理恵, 河原加代子, 黒澤泰子: 都市居住女性高齢者の膝関節痛の認識と対処に関する質的研究. 第 23 回日本在宅ケア学会, 2018
- 5) 河原加代子, 早野貴美子, 結城美智子: ヘルスリスク・コミュニケーションに焦点化した災害看護の教育教材の検討(第1報). 第 38 回日本看護科学学会, 2018.12
- 6) 早野貴美子, 河原加代子, 結城美智子: ヘルスリスク・コミュニケーションに焦点化した災害看護の教育教材の検討(第2報). 第 38 回日本看護科学学会, 2018.12
- 7) 平原優美, 河原加代子: 訪問看護師による地域住民を対象とした『温罨法を併用した手のマッサージ法』の生理的・心理的効果: 第 38 回. 日本看護科学学会, 2018.12
- 8) 河原加代子: 「住みなれたまちで自分らしく生きる」; からだを整える呼吸(息・生き)のはなし, 在宅医療・介護連携推進事業 - 地域住民への普及啓発講演会 -, 西多摩地域広域行政圏協議会主催, 2018.11

## 【競争的資金等の研究課題】

- 1) 河原加代子: 平成 30 年度科学研究費 基盤研究(B), 患者 - 看護師相互作用プロセスにおけるケア効果を引き出す最適プロセス設計の開発
- 2) 河原加代子: 平成 30 年度科学研究費 基盤研究(B), 福島原子力災害による長期避難者への健康支援と評価: アクションリサーチ
- 3) 河原加代子: 平成 30 年度科学研究費 基盤研究(C), 災害時の健康危機を支えるヘルス・リスクコミュニケーションのアルゴリズム開発

## 論文

- 1) Kawata, S., Saito, E. (2018). An exploratory pilot study on health education program to improve health literacy among female in their 20s. BMC Research Notes. 11: 572, DOI: 10.1186/s13104-018-3687-9
- 2) 大友光恵, 齊藤恵美子. (2018). 子ども虐待発生予防に向けた看護実践自己評価尺度－産科病棟看護職版－の開発. 日本看護科学学会誌, 38, 210-218. DOI: 10.5630/jans.38.210

## 講演・口頭発表等

- 1) 縞谷絵理, 齊藤恵美子. (2018). 育児中の母親の生活習慣に関する文献検討, 第28回日本保健科学学会学術集会抄録集, 34, 2018.10.06
- 2) 磯知恵, 齊藤恵美子. (2018). 医療機関と共同して健康づくりを推進している高齢者の主体的行動の特徴, 第77回日本公衆衛生学会総会抄録集, 331, 2018.10.25
- 3) 呉珠響, 齊藤恵美子. (2018). 日本人,中国帰国者,定住コリアン高齢者の保健サービス利用に関連する要因. 第77回日本公衆衛生学会総会抄録集, 446, 2018.10.25
- 4) Oh, C. H., Saito, E. (2019). Factors Associated with Subjective Sense of Health among Different Ethnic Groups of Japanese Elderly. The 22st East Asian Forum of Nursing Scholars: 27, 2019 Jan. Singapore. 2019.01.17
- 5) Saito, E., Omote, S., Kanzaki, Y., Murata, K. (2019). Difficulties and ethical issues in support processes among community-dwelling elderly and their families: a literature review. The 22st East Asian Forum of Nursing Scholars: 27, 2018 Jan. Singapore. 2019.01.17

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 齊藤恵美子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「地域に居住する高齢者とその家族への支援過程での困難事象と倫理的課題」, 2017-2019

## 論文

- 1) 岡島志野, 習田明裕: 手術看護における倫理的課題に働きかける実践知. 生命倫理, 27(1):64-71, 2017.09
- 2) 森田孝子, 習田明裕, 古米照恵, 萩原邦子, 野尻佳代, 添田英津子: 移植・再生医療に関する看護師教育について考える. 日本移植・再生医療看護学会誌, 12(2):31-35, 2017.10
- 3) 林優子, 赤澤千春, 萩原邦子, 今西誠子, 習田明裕, 谷水名美, 前田景子, 磯見真希, 田中優希, 松宮朱美, 喜信幸, 大橋尚弘, 渡邊陽子: 臓器移植看護における看護師の倫理的実践の変化を目指したアクションリサーチの実施. 日本移植・再生医療看護学会誌, 12(2):28-30, 2017.10
- 4) 中村幸代, 習田明裕: 病気を抱えながら就業した看護職の体験. 日本看護科学学会誌, 37(0):336-343, 2017.12

## 著書

- 1) 松尾ミヨ子, 城生弘美, 習田明裕: ヘルスアセスメント第5版 (ナーシング・グラフィカ―基礎看護学(2)) .メディカ出版, 2018
- 2) 志自岐康子, 松尾ミヨ子, 習田明裕: 看護学概論第6版 (ナーシング・グラフィカ―基礎看護学(1)) .メディカ出版, 2018
- 3) 志自岐康子, 松尾ミヨ子, 習田明裕, 金壽子: 基礎看護技術第6版 (ナーシング・グラフィカ―基礎看護学(3)) .メディカ出版, 2018

## Misc

- 1) Atsumi Fujita, Akihiro Shuda: Concept analysis of "Nursing Coordination". The 21th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2018.01
- 2) 前田耕助, 野村亜由美, 三輪聖恵, 大庭貴子, 習田明裕: 看護実践能力の向上を目指した学習法の検討 自作動画による視聴の試み. 日本保健科学学会誌, 20(Suppl.):19-19, 2017.09
- 3) 藤田厚美, 習田明裕: 「看護師の調整」の構成概念の検討 病院に勤務する看護師への面接調査から. 日本保健科学学会誌, 20(Suppl.):19-19, 2017.09
- 4) 岡島志野, 習田明裕: 看護師の倫理的行動に関する国内文献の動向. 日本保健科学学会誌, 20(Suppl.):35-35, 2017.09
- 5) 小島優希, 習田明裕: Post-lunch dipに関する検討 要因となる生活習慣と心理状態への影響. 日本保健科学学会誌, 20(Suppl.):36-36, 2017.09
- 6) 岡島志野, 習田明裕, 樽井正義: 手術看護認定看護師に内在する「道徳的な意志」の探求. 日本保健科学学会誌, 20(Suppl.):35-35, 2017.09
- 7) 谷水名美, 林優子, 赤澤千春, 萩原邦子, 今西誠子, 習田明裕, 前田景子, 磯見真希, 田中優希, 松宮朱美, 喜信幸, 大橋尚弘, 渡邊陽子: 臓器移植看護における看護師の倫理的実践の変化 アクションリサーチを用いて. 日本移植・再生医療看護学会学術集会プログラム・抄録集, 13回:31-31, 2017.10
- 8) 平原優美, 河原加代子, 習田明裕: 『温罌法を併用した手のマッサージ法』を用いた看護介入中の看護師の生理的・心理的变化と受け手との相互作用. 日本看護科学学会学術集会講演集, 37回:[013-4], 2017.12

#### 競争的資金等の研究課題

- 1) 習田明裕:文部科学省 科学研究費(基盤研究(C))「臓器移植医療における看護職の倫理的実践モデルの構築」, 2017-2019
- 2) 河原加世子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「患者－看護師相互作用プロセスにおけるケア効果を引き出す最適プロセス設計の開発」, 2016-2018(分担).
- 3) 野村亜由美:文部科学省 科学研究費(萌芽研究)「積極的・能動的な参加を目指した Bespoke Nursing System の開発」, 2016-2018(分担)
- 4) 前田耕助:公立大学法人首都大学東京 平成 29 年度傾斜的研究費(部局・競争的経費)「看護援助技術の実践能力の向上を目指した自作動画の作成と振り返り学習法の効果」, 2017-2018(分担)

#### 社会貢献活動

- 1) 習田明裕:高度医療における看護(臓器移植看護). 10, 2017.10-
- 2) 習田明裕:研究指導. 10, 2017.04-2018.03
- 3) 習田明裕:看護研究講義. 10, 2017.06-
- 4) 習田明裕:リーダーシップ研修 問題解決技法講義. 10, 2017.07-
- 5) 習田明裕:リーダーシップ研修 看護倫理講義. 10, 2017.07-
- 6) 習田明裕:認定看護管理者養成研修. 10, 2017.10-



講演・口頭発表等

- 1) 猫田泰敏: 大学生のメンタルヘルスリテラシー教育の開発と評価. 第38回日本看護科学学会学術集会, 2018.12

競争的資金等の研究課題

- 1) 猫田泰敏: 日本学術振興会 科学研究費基盤(C)「量的看護研究における統計的検定の検出力に関する研究」, 2018.04-2021.03

## 論文

- 1) 中川薫, 山本美智代: 東日本大震災における障害児者にとっての福祉避難所の検証—宮城県震災記録の分析—. 地域安全学会梗概集, 43:115-118, 2018
- 2) 浦田悠, 山本美智代, 金馬国晴: 質的心理学と意味, 質的心理学の意味. 質的心理学フォーラム, 10: 5-15, 2018

## 著書

- 1) 浦田悠, 山本美智代, 金馬国晴: 討論 「意味」のある質的心理学のために, 質的心理学フォーラム, 10:48-53, 2018

## 講演・口頭発表等

- 1) 浦田悠, 山本美智代, 金馬国晴(企画): 質的心理学フォーラム 編集委員会企画シンポジウム 質的心理学と意味, 質的心理学の意味. 日本質的心理学会 第15回大会(沖縄), 2018.11.24
- 2) 海老名泉紀, 山本美智代: 先天性心疾患患者の移行期支援に関する文献の概観と展望. 第28回 日本保健科学学会学術集会, 2018.10.06

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 中川薫, 山本美智代: 文部科学省 科学研究費(基盤C)「障害児者にとっての避難所, 福祉避難所問題—東日本大震災を事例に—」, 2018-2020
- 2) 山本美智代, 中川薫: 文部科学省 科学研究費(基盤C)「在宅障碍児者が不測の事態に備える教育プログラムの開発とその効果に関する研究」, 2015-2019

## 社会貢献活動

- 1) 山本美智代: きょうだい児支援—特有の体験と得がたい経験—. 一般財団法人重い病気を持つ子どもと家族を支える財団主催講習会(国立成育医療研究センター講堂), 2018.09.17
- 2) 山本美智代: きょうだい児支援—特有の体験と得がたい経験—. ブラダウィリー—症候群 竹の子の会 神奈川県支部(障害者研修保養センター横浜), 2019.02.24

## 講演・口頭発表等

- 1) 飯塚哲子:中学生とともに実践する《いのちを考える体験学習》. 第12回早稲田大学デス・エデュケーション研究会.2018.11.10
- 2) 新井清美,飯塚哲子,西村ユミほか:急性期医療場面における演劇ワークショップ型多職種連携学習支援プログラムの評価. 2018年第28回日本保健科学学会学術集会.2018.10.06
- 3) 飯塚哲子,西村ユミ,三浦里織ほか:急性期医療場面における演劇ワークショップ型多職種連携学習支援プログラムの構築. 2018年第28回日本保健科学学会学術集会.2018.10.06
- 4) 飯塚哲子:中学校との地域連携・多職種連携事業「生命学」体験授業. 2018年度第65回日本社会教育学会.2018.10.05

## 社会貢献活動

- 1) 飯塚哲子:東京都教育委員会主催事業デス・エデュケーション講師. 10, 2015.04.01
- 2) 飯塚哲子:早稲田大学エクステンション協力事業公開講座講師. 10, 2015.04.01
- 3) 飯塚哲子:東京都荒川区内中学校体験授業講師. 10,13, 2014.04.01

## その他

- 1) 飯塚哲子,佐藤愛子,千葉智生,志村伸之((全国学童保育連絡協議会)対談:子どもの生活と発達を守る.月刊社会教育 2018年8月号,747,pp.12-18. 2018.08

## 論文

- 1) 石川陽子: Social and cultural issues of Indonesian migrant nurses in Japan. Malaysian Journal of Nursing, 10(1):49-56, 2018.10

## 著書

- 1) 福井トシ子, 齋藤訓子, 石川陽子他: 診療報酬・介護報酬のしくみと考え方(第4版). 第1章-9 診療報酬上の看護の評価の歴史, 第3章-25 診療報酬上の看護の専門性の評価: , 日本看護協会出版会, 2018.08

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 石川陽子: 日本学術振興会 基盤(C)「異文化看護能力の開発に向けた基礎的研究」, 2016.04-2020.03
- 2) 野村亜由美: 日本学術振興会 挑戦的萌芽「積極的/能動的な参加を目指した Bespoke Nursing System の開発」, 2016.04-2019.03
- 3) 奥島美夏: 日本学術振興会 基盤研究(B)「ASEAN 経済統合・EPA 下の保健医療人材の東アジア域内移動と職場適応の実証研究」, 2014.04-2019.03

## 論文

- 1) 石川孝子, 福井小紀子, 岡本有子:訪問看護師が終末期がん患者へ予後理解を促す支援をすることの関連要因. Palliative Care Research,13(2),153-162,2018
- 2) Ishikawa T, Fukui S, Okamoto Y: Advance Care Planning and Home Death in Patients with Advanced Cancer: A Structured Interview Analysis. Int J Palliat Nurs, 24(9),418-426,2018

## 著書

- 1) 岡本有子:病院からはじまる在宅看取りケア 地域包括ケアシステムのなかで病院・在宅・施設をつなぐ. 9, 1-2. 看取りの場とケア体制:求められるシームレスなケア:, メジカルフレンド社, 2018.06

## 講演・口頭発表等

- 1) 石川孝子, 福井小紀子, 岡本有子:訪問看護師と病棟看護師の終末期がん患者への予後理解を促す支援の実践に関連する要因の比較. 日本緩和医療学会関西支部学術集会, 2018.11

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 岡本有子:文部科学省 科学研究費 基盤研究(B)「がん末期患者と家族への専門看護師主導型地域包括ケアプログラムの臨床的有用性の検証」, 2018.04-2021.03

## 論文

- 1) 木村千里, 山崎あけみ, 武用百子, 峰博子, 津村明美, 菊池良太: 多職種・多施設の専門職が家族支援において協働で研鑽する場に必要の要素. 大阪大学看護学雑誌, 25(1):10-17, 2019.03

## Misc

- 1) 園部真美, 木村千里: 看護大学生における乳幼児との交流経験と養護性および次世代育成力に関する研究—1年後の変化. 平成30年度傾斜的研究費(部局長裁量経費)看護学科報告書 看護教育・研究の国際化推進と人材育成, 2019.03

## 講演・口頭発表等

- 1) Kimura C, Sonobe M, Ikeda M, Omori T, Nakaizumi R: Falling through the cracks: Insufficiencies in care and support for single mothers in Japan. The 5th International Conference on Advancing the Life Sciences and Public Health Awareness, 2019.03.23
- 2) Kimura C, Sonobe M, Ikeda M, Azuma T, Hamasaka M, Hirata N: Interests of the fourth graders in primary school through collaborative sexuality and relationships education — Examination of the differences between boys and girls —. The 2nd Asian Symposium on Health Informatics and Nursing Education, 2018.04.28
- 3) Sonobe M, Kimura C, Omori T: Nurturance and next generation nurturing capability: Effects of nursing college students' contact experience with infants—changes in one year. The 5th International Conference on Advancing the Life Sciences and Public Health Awareness, 2019.03.23
- 4) Sonobe M, Kimura C, Omori T: Effects of nursing college students' contact experience with infants. The 2nd Asian Symposium on Health Informatics and Nursing Education, 2019.03.23
- 5) Horii M, Kikuchi R, Soeda A, Odatsu K, Murata A, Buyo M, Matsumoto M, Tokutani R, Mine H, Tsumura A, Kimura C, Nakayama Y, Yamazaki A: Nurses' attitudes towards the importance of families and related factors in Japan's hospitals. The 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars, 2019.01.17
- 6) 津村明美・副田明美・尾立和美・城真美・牧田彰一郎・武用百子・峰博子・木村千里・隍智子・安里舞子・菊池良太・山崎あけみ: 施設内研修とケース検討会・退院支援カンファレンス等を連動させながらの現任教育の可能性. 第25回日本家族看護学会学術集会 交流集会 9, 2018.09.01
- 7) 木村千里: あらかわ子ども応援ネットワーク第1回 情報交換会 子どもたちを支える地域住民のエンパワーメント. あらかわ子ども応援ネットワーク第1回 情報交換会, 2019.02.21

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 木村千里・園部真美他: 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)「シングルマザーの産前産後の支援: ファミリーパートナーシップモデルによる支援の評価」, 2017.04-2020.03
- 2) 園部真美・木村千里他: 文部科学省: 科学研究費補助金 基盤研究(C): 研究分担者「ファミリーパートナーシップモデルに基づく産前産後母子支援システムの実践と評価」, 2017.04-2020.03
- 3) 山崎あけみ・木村千里他: 文部科学省: 科学研究費補助金 基盤研究(B): 研究分担者「地域完結型医療のためのケースメソッドを用いた協働型家族看護研修プログラムの構築」, 2016.04-2020.03
- 4) 園部真美, 木村千里: 首都大学東京健康福祉学部 平成30年度傾斜的研究費(部局長裁量経費 個別研究)「看護大学生における乳幼児との接触経験と養護性および次世代育成力に関する研究」, 2018.04-2019.03

- 5) 飯塚哲子, 木村千里他: 首都大学東京 傾斜的研究費(部局分・部局競争的経費)「荒川区中高一貫教育校と他分野医療専門職が連携する「死生学」体験学習とキャリア形成」, 2018.04-2019.03

#### 社会貢献活動

- 1) 飯塚哲子・木村千里・井上薫:いのちを育む私たちの身体を知ろう(中高一貫教育校と多分野医療専門職が連携する「死生学」体験学習とキャリア形成). 荒川区北豊島中学校, 2016.10-
- 2) 木村千里: 荒川区子育て支援ボランティア . 35(産後)サポネット in 荒川 大学生ボランティア (助言・指導), 2010.04-
- 3) 木村千里: 荒川区子育て支援ボランティア ホームスタート家庭訪問子育て支援 支援候補者研修 (助言・指導・情報提供), 2018.10-
- 4) 木村千里: 荒川区 子ども応援ネットワーク (事例検討会・情報交換会開催, 助言・指導・情報提供), 2017.10-
- 5) 木村千里: 荒川区コミュニカレッジ ボランティアによって得るカー支援する/される経験から何を学ぶかー. (講座提供・助言・指導), 2016.09-
- 6) 木村千里: 体の変化といのちの始まり. 足立区立小学校 4年生対象(養護教諭との協働による講座提供・助言・指導), 2016.02-
- 7) 木村千里: いのちときずなのお話. 足立区立小学校 2年生対象(養護教諭との協働による講座提供・助言・指導), 2016.02-

#### その他

- 1) Qualitative Health Research, Qualitative Health Research, Peer review, 2017.07-
- 2) International Journal of Nursing and Clinical practices Editorial Board, 2016.03-

## 論文

- 1) Fumiko Kagiura, Megumi Shimada, Masayuki Kakehashi: Poor schedule management leads to discontinuity of medical attendance among patients infected with human immunodeficiency virus. Scientific Research Publishing: 2019,11(3).

## 著書

- 1) 訪問看護基本テキスト:公益財団法人日本訪問看護財団, 編集 柏木聖代, 沼田美幸, 清崎由美子, 廣岡幹子, 佐藤美穂子, 安藤真知子, 平原優美, 小沼絵理, 分担執筆 島田恵, 清水準一他. 日本看護協会出版会, 2018.12.20

## 講演・口頭発表等

- 1) 戸村ひかり, 永田智子, 清水準一, 島田恵, 渡辺雄貴:看護系大学の退院支援に関する教育の実態 退院支援の教育の実施状況と具体的な授業内容について. 第 23 回日本在宅ケア学会, 2018
- 2) 久野暢子, 島田恵, 前田ひとみ:HIV 陽性者へのセクシュアルヘルス支援における経験豊富な看護師の困難. 第 44 回日本看護研究学会, 2018
- 3) 久野暢子, 島田恵, 池田和子, 服部久恵, 前田ひとみ:HIV 陽性者へのセクシュアルヘルス支援における経験の浅い看護師の困難. 第 44 回日本看護研究学会, 2018
- 4) 島田恵:「HIV 感染者・AIDS 患者にとっての外来受診」の概念分析. 第 12 回日本慢性看護学会学術集会, 2018

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 島田恵:厚生労働科学研究費補助金, 「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」分担研究「HIV 医療包括ケア体制の整備に関する研究～コーディネーターナースの立場から～」(協力)
- 2) 島田恵:厚生労働科学研究費補助金, 「非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究」
  - (1)分担研究「HIV 感染血友病等患者の医療福祉と精神的ケアにおける課題と連携に関する研究:コーディネーションと課題解決の提言」(協力)
  - (2)分担研究「HIV/AIDS 患者の精神健康と認知された問題の変遷－25 年の縦断的事例研究－」(協力)
- 3) 島田恵:東京都福祉保健局, 「ヘルプマークの若者層への普及啓発促進の施策・アイデア提案プロジェクト」(分担)



## 社会貢献活動

- 1) 外来看護と地域連携～時代に求められる外来看護とは～:岩手県看護協会 平成30年度看護研修会, 講師.2018.05.26
- 2) HIV/AIDSの基礎知識:東京都エイズ・ピア・エデュケーター養成研修,講師.2018.06.16-2018.06.17
- 3) 最期まで自分らしく生きるために～在宅療養について考える～:首都大学東京オープンユニバーシティ特別講座,講師.2018.09.01,2018.09.08
- 4) 訪問看護ステーションにおけるOJTの実際:2018年度訪問看護ステーション管理者・指導者育成研修,講師.2018.11.17
- 5) HIV感染症指導看護師に求められる役割と実践能力:第32回日本エイズ学会 指導看護師向けアドバンス研修,講師.2018.12.02

## 論文

- 1) Mami Sonobe, Masami Usui, Taiko Hirose: Early Intervention to Support Parenting during Pregnancy: Improving Parent-Child Interactions. International Journal of Nursing & Clinical Practices, 5, 2018.09
- 2) 臼井雅美, 園部真美, 鍋田美咲, 勝川由美, 坂梨薫: 出産の高年齢化に伴う親子関係と心理・社会的影響—高年初産夫婦と35歳未満の初産夫婦との比較より—, 東邦大学健康科学ジャーナル 1(1), 2018.06
- 3) 臼井雅美, 園部真美: 出産に対する満足感と産褥早期の母子関係との関連—出産経験別にみた授乳場面の新生児に対する母親の認識に着目して—, 東邦大学健康科学ジャーナル, 1(1), 2018.06

## Misc

- 1) 園部真美, 木村千里: 看護大学生における乳幼児との交流経験と養護性および次世代育成力に関する研究—1年後の変化. 平成30年度傾斜的研究費(部局長裁量経費)看護学科報告書 看護教育・研究の国際化推進と人材育成. 2019.03

## 講演・口頭発表等

- 1) Chisato Kimura, Mami Sonobe, Mayumi Ikeda, Takahide Omori, Rina Nakaizumi: Falling through the cracks: Insufficiencies in care and support for single mothers, 2019.03
- 2) Mami Sonobe, Chisato Kimura, Masami Usui, Takahide Omori: Nurturance and next generation nurturing capability: Effects of nursing college students' contact experience with infants—changes in one year. The 5th International Conference on Advancing the Life Sciences and Public Health Awareness, 2019.03
- 3) 臼井雅美, 島袋香子, 園部真美: 初めて親になる夫婦の妊娠期における家族機能 抑うつ状態と自己効力感との関連. 第59回日本母性衛生学会学術集会, 2018.10
- 4) Chisato Kimura, Mami Sonobe, Mayumi Ikeda, Tomomi Azuma, Miho Hamasaka, Naoko Hirata: Interests of the Fourth Graders in a Primary School through Collaborative Sexuality and Relationships Education by Midwifery and School Health — Examination of the Differences between Boys and Girls — . The 2nd Asian Symposium on Health Informatics and Nursing Education, 2018.04
- 5) Mami Sonobe, Chisato Kimura, Takahide Omori, Masami Usui: Effects of nursing college students' contact experience with infants. The 2nd Asian Symposium on Health Informatics and Nursing Education, 2018.04

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 園部真美, 木村千里, 臼井雅美, 大森貴秀: 文部科学省 科学研究費(基盤研究C)「ファミリーパートナーシップモデルに基づく産前産後母子支援システムの実践と評価」, 2017.04-2020.03
- 2) 木村千里, 園部真美他: 文部科学省 科学研究費(基盤研究C)「シングルマザーの産前産後の支援: ファミリーパートナーシップモデルによる支援の評価」, 2017.04-2020.03
- 3) 園部真美: 首都大学東京 平成30年度傾斜的研究費(部局長裁量経費)個別研究「看護大学生における乳幼児との交流経験と養護性および次世代育成力に関する研究—1年後の変化」, 2018.04-2019.03

## 受賞

- 1) Mami Sonobe, Chisato Kimura, Usui Masami, Takahide Omori: ALHPA2019 Investigator Award 「Nurturance and next generation nurturing capability: Effects of nursing college students' contact experience with infants—changes in one year」, 2019.03

## 社会貢献活動

- 1) 園部真美: アタッチメントと SPP 入門(運営参加・支援). 14, 2018.08-
- 2) 園部真美: 赤ちゃんが生まれる～いのちのお話. 足立区小学校 2 年生(講師)2013.02-
- 3) 園部真美: 身体の変化といのちの始まり. 足立区小学校 4 年生(講師) 2013.01-
- 4) 園部真美: 第 12 回乳幼児保健学会学術集会(企画委員)寺本妙子(大会長)2018.11
- 5) 園部真美: 荒川区子育て支援ボランティア. 35(産後)サポネット in 荒川, 大学生ボランティア(助言・指導)2014.04-

## その他

- 1) Japan Journal of Nursing Science. Peer review. 2014-
- 2) Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing, A member of Tau Nu Chapter, 2018.10-

## 著書

- 1) 種吉啓子(分担一部執筆):レビューブック 2020.メディックメディア, 2019.03
- 2) 種吉啓子(分担一部執筆):クエッションバンク看護師国家試験問題解説 2019.メディックメディア, 2018.04

## Misc

- 1) 種吉啓子, 佐藤幸子:「登園渋り」の概念分析. 北日本看護学会誌 = Journal of North Japan Academy of Nursing Science, 21(2):7-15, 2019.02
- 2) 種吉啓子, 佐藤幸子:「登園渋り」の概念分析. 第 21 回北日本看護学会学術集会プログラム・抄録集:59, 2018.07

## 講演・口頭発表等

- 1) 種吉啓子:「登園渋り」の概念分析. 第 21 回北日本看護学会学術集会, 2018.07

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 種吉啓子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「保育所に通園する子どもの「登園渋り」に関する研究」, 2018-2021

## 社会貢献活動

- 1) 種吉啓子:日本質的心理学会学会誌専任査読者.2018-
- 2) 種吉啓子:日本小児看護学会学会誌専任査読者.2011.07-
- 3) 種吉啓子:東京北医療センター看護研究講師.2009.06-
- 4) 種吉啓子:日本保健科学学会学会誌査読者.2007-

## 著書

- 1) 菱沼由梨:根拠がわかる母性看護過程－事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画. 第III章 看護過程の展開, B 分娩期の看護過程:89-111,南江堂, 2018.04
- 2) 安達久美子, 菱沼由梨:今こそ知りたい 助産師のための産後ケアガイド,Part 1 助産師を中心とした産後ケアを進めるにあたって:5-21, 日本助産師会出版, 2019.03

## Misc

- 1) 安達久美子, 菱沼由梨, 久保幸代:硬膜外麻酔分娩期の助産ケアに関する調査. 助産学会誌, 32(3):320, 2019.02
- 2) 重綱梨沙, 菱沼由梨:母親が求めている母乳育児支援と提供されている支援の実際に関する文献検討. 日本保健科学学会誌, 21(Suppl):22, 2018.10
- 3) 生沼蘭, 菱沼由梨:妊婦の冷えが妊娠・分娩経過に及ぼす影響. 日本保健科学学会誌, 21(Suppl):23, 2018.10
- 4) 三部初美, 菱沼由梨:子育てをしながら次子を妊娠し, 新しい家族を迎え入れる経産婦の思い. 日本保健科学学会誌, 21(Suppl):29, 2018.10
- 5) 小島優希, 菱沼由梨:立ち会い分娩が夫に及ぼす影響と分娩に立ち会う夫への支援についての国内文献検討. 日本保健科学学会誌, 21(Suppl):35, 2018.10
- 6) 大谷悠乃, 菱沼由梨:産後の妻に対する夫の支援に関する国内文献検討. 日本保健科学学会誌, 21(Suppl):36, 2018.10
- 7) 三上由美子, 西岡笑子, 菱沼由梨:思春期における女性アスリート三主徴の予防に関する健康教育プログラムの有効性:文献レビュー. 37(1):90-91, 2018.08
- 8) 菱沼由梨:分娩介助指導における熟練指導者にみられた臨床指導実践能力の特徴. 第74回 日本助産師学会 抄録集, 31, 2018.05

## 講演・口頭発表等

- 1) 公益社団法人日本助産師会(島田真理恵, 安達久美子, 礪山あけみ, 菱沼由梨, 稲田千晴, 岡本登美子):今こそ知りたい,助産師のための産後ケアガイド. 第33回日本助産学会学術集会 プレコンgress, 2019.03.01

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 菱沼由梨:文部科学省 科学研究費補助金(若手研究(A))「若手指導者のための臨床指導ガイドの開発－助産における臨床教育の基盤づくり－」, 2016.04-2021.03

## 受賞

- 1) 重綱梨沙, 菱沼由梨:第28回 日本保健科学学会学術集会 実行委員会 ポスター賞「母親が求めている母乳育児支援と提供されている支援の実際に関する文献検討」, 2018.10

## 社会貢献活動

- 1) 菱沼由梨: 第 33 回日本助産学会学術集会 一般演題査読委員, 2018.10
- 2) 菱沼由梨: 日本保健科学学会 大会準備委員, 2017.10-2018.11
- 3) 菱沼由梨: 日本助産学会誌査読委員, 18, 2011.04-
- 4) 菱沼由梨: 日本保健科学学会誌査読, 2016.04-
- 5) 菱沼由梨: Nurse Education Today 査読, 2017.09-
- 6) 菱沼由梨: Jopan Jornd of Nursing Science 査読, 2017.11-
- 7) 菱沼由梨: BMC Pregnancy and Childbirth 査読, 2018.02-

## Misc

- 1) 廣川聖子: 未受診の統合失調症当事者にどうアプローチするか—訪問看護による支援関係の構築. こころの科学, 202():56-59, 2018.10
- 2) 廣川聖子: 身体拘束減少につながる精神看護学の教育とは—都立松沢病院での実習をとおして. 看護教育, 59(6):456-462, 2018.06

## 講演・口頭発表等

- 1) 樋口貴子,廣川聖子: 地域で暮らす統合失調症をもつ女性の妊娠・出産の体験. 第38回日本社会精神医学会, 2019.03.01
- 2) 塚本正太郎,廣川聖子: 中小規模の事業場におけるアルコール使用障害の実態とその重症度と関連のある因子の検討. 第38回日本社会精神医学会, 2019.02.28
- 3) 内田優子,廣川聖子: 精神科急性期治療病棟で退院後の生活を意識したケアを実践する看護師の態度. 第38回日本社会精神医学会, 2019.02.28

## 社会貢献活動

- 1) 廣川聖子: 日本の自殺対策と自治体が取り組むべき課題. 10,11, 2019.02.20-
- 2) 廣川聖子: 周産期希死念慮と自傷行為: 基礎と臨床. 10, 2018.11.25-
- 3) 廣川聖子: シェアしよう! ちがさき市民の人の和・やさしさ・あたたかさ ～もやもや気分もポジティブチェンジできる地域づくりへ～. 10, 2018.07.29-2018.07.29
- 4) 廣川聖子: サリン被害者検診. 11,14, 2013.10-

## 受賞

- 1) 塚本正太郎, 廣川聖子: 日本社会精神医学会 優秀発表賞「中小規模の事業場におけるアルコール使用障害の実態とその重症度と関連のある因子の検討」, 2019.03

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 廣川聖子: 学術研究助成基金助成金 基盤研究費(C)「自殺未遂歴がある精神科訪問看護利用者を対象とした自殺予防支援プログラムの開発」, 2015.04-2019.03

## 著書

- 1) 坂元敦子 & 福井里美: がんサバイバーシップ第2版, 第4章 当事者による支援:ピアサポート, 医歯薬出版株式会社, 2019.02

## 講演・口頭発表等

- 1) 新井清美, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 坂井志織, 池田由美, 真正浄光, 小林隆司, 西村ユミ: 急性期医療場面における演劇ワークショップ型多職種連携学習支援プログラムの評価. 第28回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.06
- 2) 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美, 真正浄光, 小林隆司, 池田由美, 西村ユミ: 急性期医療場面における演劇ワークショップ型多職種連携学習支援プログラムの構築. 第28回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.06
- 3) 坂井志織, 細野知子, 菊池麻由美, 福井里美, 小林道太郎, 榊原哲也: 患者/医療者/研究者の境界を外し病いと生きることを問い直すー現代の病い経験を捉える新たな視点の創造. 第38回日本看護科学学会学術集会, 2018.12.16
- 4) 福井里美, 石橋裕, 坂井志織, 三浦里織, 西口句子, 星野晴美: がん化学療法によるしびれを経験している患者の就労と生活作業への影響1ー作業質問紙による比較. 第33回日本がん看護学会演題抄録, 2019.02.23-2019.02.24
- 5) 三浦里織, 西口句子, 星野晴美, 坂井志織, 石橋裕, 福井里美: がん薬物療法によるしびれを経験している患者の就労と日常生活作業2.4. 第33回日本がん看護学会演題抄録, 274. 福岡国際センター. 2019.02.23-2019.02.24

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 福井里美: 学術研究助成基金助成金 基盤研究費(C)「がん化学療法サバイバーが就労する『働きづらさ』の支障程度を示す枠組の開発」, 2017.04-2022.03
- 2) 福井里美: 首都大学東京平成30年度傾斜的研究費(部局分)部局競争的「改訂版4職種(NPRO)連携教育『急性期医療現場演劇ワークショップ』の評価」. 2018.05-2019.03



## 論文

- 1) 太田喜久子, 増谷順子, 平尾美佳, 真志田祐理子:分野横断的チームによる介護ロボット開発に活用できる評価枠組み案の作成. KEIO SFC JOURNAL Vol.18 No.2 2018, 18(2):202-211, 2019.03

## Misc

- 1) 高橋貴代司, 増谷順子:東京・荒川区「尾竹橋公園スカイハイツ園芸クラブ」. 月刊社会教育, 753:44-45, 2019.02
- 2) 増谷順子:【意図せず行われている 5 つの抑制 認知症患者への「抑制ゼロ」に向けて】(Part 2)認知症と抑制. 看護技術, 64(11):9-14, 2018.10
- 3) 渡辺みどり, 増谷順子, 太田喜久子:老年看護学領域に関わる災害看護研究の現状と今後の課題. 老年看護学, 23(1):134-142, 2018.07
- 4) 増谷順子, 太田喜久子, 真志田祐理子:看護実践の質保証研究開発, 超高齢者社会に求められる高齢者支援方法の開発. 慶應義塾大学 SFC 研究所看護ベストプラクティス研究開発ラボラトリ Report of 2017:2018.06

## 講演・口頭発表等

- 1) 渡辺みどり, 増谷順子, 太田喜久子:災害支援検討委員会企画:高齢者の災害支援をバックアップする活動の「見える化」の試み. 日本老年看護学会第 23 回学術集会, 2018.06.23
- 2) 増谷順子, 太田喜久子, 真志田祐理子:認知症予防としての園芸活動の可能性ー地域高齢者を対象としてー. 第 19 回日本認知症ケア学会大会, 2018.06.16

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 増谷順子:一般社団法人日本認知症ケア学会 地域ケア活動支援事業「地域住民のための認知症の普及啓発に向けた園芸活動プロジェクト」, 2018.04-2019.03

## 社会貢献活動

- 1) 増谷順子:慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科非常勤講師. 10, 2015.04.01-
- 2) 増谷順子:慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員. 14, 2014.04.01-

## 著書

- 1) 三浦里織:がんサバイバーシップ第2版 がんとともに生きる人々への看護ケア. 2, 手術療法を受ける体験者, 医歯薬出版株式会社, 2019.02

## Misc

- 1) 三浦里織:【実習で出会う・国試でも頻出の4疾患 がん 心疾患 肺炎 脳血管疾患】(第4回)がん(乳がん). Nursing Canvas, 6(7):84-99, 2018.06
- 2) 三浦里織:【がん治療の副作用とケアのポイント 化学療法】化学療法の基本 リスク型看護問題の抽出とケア. Nursing Canvas, 7(2):11-11, 2019.01
- 3) 三浦里織:【がん治療の副作用とケアのポイント 化学療法】化学療法の基本 がん化学療法の発展と変遷. Nursing Canvas, 7(2):10-11, 2019.01
- 4) 三浦里織, 西口句子, 星野晴美, 坂井志織, 石橋裕, 福井里美:がん薬物療法によるしびれを経験している患者の就労と日常生活作業. 日本がん看護学会誌, 33(Suppl.):274-274, 2019.02

## 講演・口頭発表等

- 1) 福井里美, 石橋裕, 坂井志織, 三浦里織, 西口句子, 星野晴美:がん薬物療法によるしびれを経験している患者の就労と生活作業への影響1 作業質問紙による比較. 日本がん看護学会誌, 2019.01
- 2) 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美, 真正浄光, 小林隆司, 池田由美, 西村ユミ:急性期医療場面における演劇ワークショップ型多職種連携学習支援プログラムの構築. 第28回日本保健科学学会学術集会抄録集, 2018.10

## 委員歴

- 1) がん医療研修機構 理事(2015.11-)
- 2) 特定非営利活動法人(NPO) ニューマン理論・研究・実践研究会 理事(2015.04-)

## 講演・口頭発表等

- 1) 岡本登美子,小林麻紀,塩谷由美子,巖千晶:助産所における安全な分娩のための連携体制構築と一事例からの考察. 日本助産師学会, 2018.05.26
- 2) 巖千晶,安達久美子:子ども立ち会い出産の選択に関連する要因の検討. 日本助産師学会抄録集, 2018.05.26

## 社会貢献活動

- 1) 巖千晶:産後サポネットin 荒川. 14, 2018.04.01-
- 2) 巖千晶:母乳講習会. 産後サポネットin 荒川, 2019.02.20

## 著書

- 1) 大庭貴子: 造血幹細胞移植における倫理的課題とその対処, 監修: 習田明裕, 看護現場での倫理的ジレンマに向き合うための考え方(第3回): 看護技術, メヂカルフレンド社, 2019.03

## 講演・口頭発表等

- 1) 大庭貴子, 習田明裕: 造血幹細胞移植受療患者の臨終期における看護実践. 第41回日本造血細胞移植学会総会, 2019.03
- 2) 大庭貴子: 造血幹細胞移植を受ける患者の臨終期において看護師が抱える困難感. 日本看護科学学会, 2018.12
- 3) 大庭貴子: 造血幹細胞移植看護において病棟看護師が困難感を抱える場面と関連要因の検討. 日本移植・再生医療看護学会学術集会, 2018.10
- 4) 大庭貴子, 習田明裕: 造血幹細胞移植において臨床看護師が困難感を抱える場面とその構造. 日本輸血細胞治療学会誌, 2018.04

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 大庭貴子: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援「造血幹細胞移植を受ける患者の臨終期において臨床看護師が抱える困難感」, 2017.08-2019.03

競争的資金等の研究課題

- 1) 川添美花: 首都大学東京 平成 30 年度傾斜的研究費(部局分・若手奨励経費)「精神健康上の問題を持つ人のきょうだいの経験に関する研究」, 2018.06-2019.03

## 論文

- 1) 坂井志織: つながりにくい時間—しびれている身体で生きられた時間. 臨床実践の現象学, 1(1):1-14. 2018

## 講演・口頭発表等

- 1) 三浦里織, 福井里美, 坂井志織, 西口句子, 星野晴美, 石橋裕: がん化学療法によるしびれを経験している患者の就労と日常生活(その2), 2019.02.24
- 2) Tomoko Hosono, Mayumi Kikuchi, Shiori Sakai: Coexistence of the perceptions of “being sick” and “thriving” in long-term diabetes patients. The 4th international conference on Prevention and Management of Chronic Conditions, 2019.02.14
- 3) 福井里美, 石橋裕, 坂井志織, 三浦里織, 西口句子, 星野晴美: がん薬物療法によるしびれを経験している患者の就労と生活作業への影響(その1)—作業質問紙による比較. 第33回日本がん看護学会, 2019.02.24
- 4) 坂井志織, 細野知子, 菊池麻由美, 福井里美, 小林道太郎, 鷹田佳典: 患者/医療者/研究者の境界を外し病いと生きることを問い直す—現代の病い経験を捉える新たな視点の創造. 第38回日本看護科学学会, 2018.12
- 5) 若手研究推進委員会: 若手研究者のシーズを育てるネットワークづくり～Evidence-Based Nursing のための学際的研究の進め方～. 第38回日本看護科学学会, 2018.12.
- 6) 福井里美, 三浦里織, 坂井志織, 石橋裕, 久村和穂, 新井敏子, 近藤明美, 西口句子, 星野晴美: がん化学療法を受けるがんサバイバーへの就労支援に関する文献検討. 第31回日本サイコオンコロジー学会総会, 2018.09
- 7) 菊池麻由美, 坂井志織, 細野知子: 生きられた元気・病気 - 多重疾患と生きる経験 -. 第4回臨床実践の現象学会大会, 2018.08.04
- 8) 細野知子, 菊池麻由美, 坂井志織: 手術後の暮らしにおける慢性病者の判断の成り立ち. 第12回慢性看護学会学術集会, 2018.07.14

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 坂井志織: 文部科学省 科学研究費 若手研究「がん化学療法のしびれの現れを捉える現象学的研究—オノマトペを用いた評価指標案の作成」, 2018.04-2021.03
- 2) 坂井志織: トヨタ財団研究助成プログラム 共同研究助成「慢性の病い経験を捉える新しい概念生成に関する現象学的研究—治療や管理とは異なる視座の開拓」, 2018.04-2020.04
- 3) 福井里美: 文部科学省 科学研究費 基盤研究 C 分担者「がん化学療法サバイバーが就労する「働きづらさ」の支障程度を示す枠組みの開発」, 2017-2020
- 4) 坂井志織: 首都大学東京 傾斜的研究費 若手奨励「現代の病い経験を捉える現象学的研究—難病患者の長期療養経験に焦点を当てて」, 2018.04-2019.03

## 委員歴

- 1) 臨床実践の現象学会 東京事務局長(2015.05-)
- 2) 日本看護科学学会 若手研究推進委員会(2014.11-2019.06)

## 著書

- 1) 高嶋希世子: 看護師・看護学生のためのレビューブック 2020, メディック・メディア, 2019.03
- 2) 高嶋希世子: クエスチョン・バンク看護師国会試験問題解説 2019, メディック・メディア, 2018.04

## 講演・口頭発表等

- 1) 高嶋希世子: 終末期にある思春期小児がん患者に対する看護実践: 医療者間の足並みを揃える. 第 38 回日本看護科学学会学術集会, 2018.12.15
- 2) 高嶋希世子: パネラーによるディスカッション～治療後の恋愛・結婚・妊娠も私が決める～. 山梨がんサミット 2018 第 4 弾, 2018.12.09
- 3) 高嶋希世子: 終末期にある思春期小児がん患者の家族に対する看護実践. 第 28 回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.06

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 高嶋希世子: 日本学術振興会・文部科学省 科学研究費助成事業「終末期にある思春期小児がん患者の意思決定を支える看護の構造とプロセスの解明」, 2016.04-2019.03

## 社会貢献活動

- 1) 高嶋希世子: 第 50 回高木記念山中キャンプ, 2018.04-2018.10

## 論文

- 1) 前田耕助, 習田明裕: 足部への異なる温度感覚刺激が左右の前頭前野の脳血流量に及ぼす影響. 日本看護技術学会誌, 17:61-70, 2018.08

## 講演・口頭発表等

- 1) 加藤智史, 前田耕助, 習田明裕: 身体接触を用いた会話中の 2 者間における自律神経活動と主観的指標の変化に関する検討. 日本看護科学学会, 2018.12
- 2) 加藤智史, 前田耕助, 習田明裕: 身体接触を用いた会話中の 2 者間における心拍変動の同期現象と主観的指標の変化に関する検討. 日本看護技術学会, 2018.08
- 3) 前田耕助: 英語文献レビューによる足浴研究の現状と動向. 日本看護研究学会, 2018.07

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 前田耕助: 文部科学省 若手研究 B「脳血流動態を効果指標とした温度を活用した看護援助の開発」, 2016.04-2020.03



社会貢献活動

- 1) 吉羽久美: 第13回ベア主催勉強会. 3, 2018.10.26-

# 理 学 療 法 学 科

## 論文

- 1) 万行里佳, 山田拓実:介護予防事業終了後の要支援・要介護認定の有無による活動・参加への影響について. 目白大学健康科学研究, 12:1-8, 2019.03

## Misc

- 1) 大見武弘, 山田拓実, 田澤智央, 島村亮太, 加藤淳平, 美崎定也, 佐藤義尚, 信太奈美, 杉本和隆:ローテーティングヒンジ型人工膝関節を用いた再置換術後患者の歩行解析. 第49回日本人工関節学会, 2019.02
- 2) 山田拓実:【高齢者の転倒と予防】転倒の予防運動プログラムの実践と課題. 理学療法ジャーナル, 53(1):37-44, 2019.01
- 3) 高木峰子, 山田拓実:尿失禁治療のための干涉低周波療法が大脳皮質に与える影響について 1 症例での予備的検討. 日本物理療法学会 26 回 学術大会抄録集, 32-, 2018.10
- 4) 万行里佳, 山田拓実:介護予防事業終了 1.5-2.0 年後の介護予防効果とその要因の検討. 日本公衆衛生学会 77 回総会抄録集, 414-, 2018.10
- 5) 山田拓実, 蘭牟田洋美:障がい者や要介護高齢者向けの健康づくり体操「荒川ばん座位体操」の 10 年間の取り組み. 日本公衆衛生学会 77 回 総会抄録集, 431-, 2018.10
- 6) 田澤智央, 美崎定也, 山本尚史, 山口英典, 大島理絵, 山田拓実, 杉本和隆:人工膝関節全置換術後患者における経時データの解析方法が結果に与える影響 要因の反復測定分散分析と混合効果モデルの差異. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 55:S436-, 2018.10
- 7) 佐藤義尚, 島村亮太, 廣澤全紀, 山川諒太, 高城翔太, 山田拓実:HONDA 歩行アシストの検者内,検者間信頼性の検討. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 55 特別号:4-KP-13-1-, 2018.05

## 論文

- 1) 岡前暁生, 浅川康吉: 要介護者におけるショートステイ利用前後の神経精神症状の変化に関連する要因. 日本保健科学学会誌 21(1):28-35. 2018.06
- 2) 齊藤道子, 山上徹也, 田中繁弥, 浅川康吉, 山口晴保: 住民主体の通いの場への参加意向と関連要因の検討ー介護保険要支援者の社会参加を促すためのリハ専門職の役割. 理学療法群馬 29:48-58. 2018.08

## 著書

- 1) 浅川康吉: 地域理学療法学, メジカルビュー社, 2019

## 講演・口頭発表等

- 1) 齋藤徹, 藤井一弥, 小林将生, 浅川康吉: 直線歩行および曲線歩行能力の加齢による変化について. 第 5 回日本地域理学療法学会学術大会, 2018.12.09
- 2) 小林将生, 藤井一弥, 齋藤徹, 浅川康吉: 地域在住高齢者を対象とした Figure 8 walk test および 3m zigzag walk test の測定誤差の検討. 第 5 回日本地域理学療法学会学術大会, 2018.12.09
- 3) 浅川康吉: 介護予防における運動機能の改善方法とその効果. 第 5 回日本地域理学療法学会学術大会モーニングセミナー, 2018.12.09
- 4) Asakawa Y, Kato M, Shogenji M, Kitaoka K, Uemura S, Kobayashi M, Kai M, Ishida K, Inagaki Y: Assessment of frailty risk using walking speed during daily activities for development of a sensing model among older adults.. 第 13 回国際環境複合要因学会, 2018.09.23
- 5) Saito T, Fujii K, Kobayashi M, Asakawa Y: Relationship between of curved walking ability to straight walking ability and fall experience.. 第 13 回国際環境複合要因学会, 2018.09.22
- 6) 加藤真由美, 正源寺美穂, 浅川康吉, 植村小夜子, 北岡和代, 甲斐正義, 小林素子, 石田和生, 稲垣嘉信, 山村幸太郎: 居宅内における独居高齢者の起居・座位動作速度と転倒リスク変数との相関. 日本転倒予防学会誌, 2018.09.10
- 7) 正源寺美穂, 加藤真由美, 北岡和代, 浅川康吉, 植村小夜子, 小林素子, 甲斐正義, 石田和生, 稲垣嘉信: 独居高齢者の夜間頻尿における転倒リスク状態を捉える生活行動センシングモデルの開発 生活行動・ライフラインデータを用いた夜間頻尿の季節変化. 日本老年看護学会学術集会抄録集, 2018.05.31

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 分担事業担当者 浅川康吉, 原田和宏, 宮口英樹, 山口智晴, 櫻井好美: 厚生労働省 平成 30 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)「医療の変化や働き方等の変化を踏まえた需給に関する研究(H30-医療-指定-010(研究代表者 伏見清秀))分担事業 理学療法士・作業療法士の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」, 2018.04-2019.03

## 社会貢献活動

- 1) 浅川 康吉: 東京都介護予防推進支援センター事業. 11, 2018.04.01-2019.03.31

## 論文

- 1) Taku Numao, Yuri Fujita, Kyohei Ichikawa, Shogo Ide, Hidekazu Katori, Tomoko Shimada, Kohei Ota, Yumi Ikeda, Kazu Amimoto: Leftward Optical Shift Induces Bias in Line Bisection: A Study with Healthy Subjects Using a Head-mounted Display. Progress in Rehabilitation Medicine 2 doi:490/prm.20190008 019; Vol. 4, 2019.08
- 2) Sakai K, Ikeda Y, Amimoto K; Effect of kinesthetic illusion induced by visual stimulation on ankle dorsiflexion dysfunction in a stroke patient: ABAB single-case design. Neurocase, 18:1-5. doi: 10.1080/13554794.2019.1566477. 2019.01
- 3) Fukata K, Amimoto K, Sekine D, Ikarashi Y, Fujino Y, Inoue M, Inoue M, Ishihara S, Takahashi H, Makita S.: Test-retest reliability of and age-related changes in the subjective postural vertical on the diagonal plane in healthy subjects. Atten Percept Psychophys; 81(2):590-597. doi: 10.3758/s13414-018-1627-3. 2019.02
- 4) Matsuda T, Kurayama T, Tagami M, Fujino Y, Manji A, Kusumoto Y, Amimoto K; Influence of peripheral magnetic stimulation of soleus muscle on H and M waves. J Phys Ther Sci; 30(5):716-718. 2018.05

## Misc

- 1) 網本和: 理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則改正のポイント 指定規則改正の背景とその概要: 理学療法ジャーナル 52 巻 9 号 Page842-845, 2018.09
- 2) 深田和浩, 網本和, 藤野雄次: 垂直性とバランス: 理学療法ジャーナル 52 巻 9 号 Page831-840, 2018.09
- 3) 松田雅弘, 万治淳史, 網本和: バランス障害に対するニューロモジュレーション: 理学療法ジャーナル 52 巻 9 号 Page801-808, 2018.09
- 4) 網本和: 半側空間無視に対する治療戦略 Virtual Reality 環境の応用. Medical Science Digest 45 巻 3 号 Page144-147, 2019.03

## 講演・口頭発表

- 1) D. Sekine, K. Fukata, K. Amimoto, Y. Fujino, M. Inoue, M. Inoue, Y. Takahashi, H. Takahashi, S. Makita: ANALYSIS OF THE SUBJECTIVE POSTURAL VERTICAL ON DIAGONAL PLANE IN ELDERLY SUBJECTS AND LEFT HEMIPARETIC PATIENTS AFTER STROKE. ISPRM, 8-2276, 2018
- 2) K. Fukata, K. Amimoto, Y. Fujino, M. Inoue, M. Inoue, D. Sekine, Y. Takahashi, H. Takahashi, S. Makita: THE EFFECT OF SITTING BALANCE TRAINING ON THE DIAGONAL PLANE IN PATIENT WITH PUSHING BEHAVIOR-A SINGLE CASE STUDY-. ISPRM, 8-2280, 2018
- 3) K. Sakai, Y. Ikeda, K. Amimoto, K. Goto, K. Morikawa, K. Kumai: BRAIN ACTIVITY REGION DURING KINESTHETIC ILLUSION INDUCED BY VISUAL STIMULATION OF ANKLE JOINT. ISPRM, 8-1425, 2018
- 4) Yuji Fujino, Kazu Amimoto, Hidetoshi Takahashi, Kazuhiro Fukata, Masahide Inoue, Kohei Shida, Yosuke Takahashi, Shigeru Makita: Effects of therapeutic electrical stimulation for non-paretic side of biceps brachii muscle during sitting posture in patients with pushing behavior - two cases study ESC 2018
- 5) Masahide Inoue, Yuji Fujino, Kazuhiro Fukata, Mamiko Inoue, Daisuke Sekine, Hiroaki Hoshino, Hiroshi Miki, Hirofumi Sato, Yohei Kobayashi, Koki Hasegawa, Shigeru Makita, Hidetoshi Takahashi, Kazu Amimoto: The relationship between white matter lesion and rehabilitation outcome in patients with acute ischemic stroke. ESC 2018
- 6) 酒井克也, 池田由美, 網本和, 後藤圭介, 森川健史, 熊井健: 足関節の視覚誘導性自己運動錯覚時の脳活動領域の検討 臨床神経生理学 46 巻 5 号 Page504, 2018.10

- 7) 市川恭兵, 沼尾拓, 網本和, 井出彰悟, 香取秀一, 星野泰地, 嶺村圭, 大竹史織, 藤田夏那, 山田隆介: USN 症例に対する 3 次元 Head Mounted Display アダプテーションの長期効果の検証 症例検討 The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 55 巻特別号 Page4-KP-25-2,2018.05
- 8) 志田航平, 網本和, 池田由美, 藤野雄次, 高橋秀寿, 牧田茂:GVS 施行中および施行後の脳血流量に電極貼付条件が与える影響 fNIRS 研究: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine55 巻特別号 Page4-KP-4-4,2018.05
- 9) 加藤優一, 佐藤祐, 折本巧, 星野寛倫, 網本和:Pusher 現象を伴った重度右片麻痺患者に対して腹臥位療法を実施した 1 例: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine55 巻特別号 Page3-KP-21-8,2018.05
- 10) 佐藤祐, 折本巧, 加藤優一, 星野寛倫, 網本和:回復期病棟における脳卒中患者の経時的変化 Pusher 現象と半側空間無視に着目して: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine55 巻特別号 Page3-KP-19-3,2018.05
- 11) 万治淳史, 網本和, 松田雅弘, 稲葉彰, 和田義明:慢性期脳卒中後半側空間無視に対する経頭蓋直流電気刺激の効果 シングルケース長期フォローアップの経験: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine55 巻特別号 Page3-KP-15-7,2018.05
- 12) 鈴木彩子, 吉池悠也, 網本和:左半側空間無視における Catherine Bergego Scale 下位項目による特性分析: 高次脳機能研究 39 巻 1 号 Page147,2019.03
- 13) 澤広太, 網本和, 志田航平, 石神佳祐, 宮本琢也, 石井千佳, 鈴木陸也:遅延フィードバックが脳血管障害例の座圧中心および座位バランスへ及ぼす影響: 高次脳機能研究 39 巻 1 号 Page131,2019.03
- 14) 石神佳祐, 澤広太, 網本和, 福岡宏之, 宮本琢也, 鈴木陸也, 石井千佳, 末永達也:半側空間無視症例における能動的なロッド調整課題が臨床所見を改善させた一症例。高次脳機能研究 39 巻 1 号 Page123-124,2019.03
- 15) 本村和也,網本和, 田村龍太郎, 鴻真一郎, 岩本康之介:脳血管障害患者における受動的注意システムの新たな評価法の開発 シングルケースデザイン:高次脳機能研究 39 巻 1 号 Page121,2019.03
- 16) 市川恭兵, 沼尾拓, 網本和:風船を用いた HMD アダプテーションが片脚立位に及ぼす影響: 高次脳機能研究 39 巻 1 号 Page99,2019.03
- 17) 沼尾拓, 網本和, 市川恭兵, 井出彰悟, 香取秀一, 島田知子, 太田康平:Roll 角に着目した Head Mounted Display アダプテーションが空間認知に与える影響: 高次脳機能研究 39 巻 1 号 Page98-99,2019.03
- 18) 折本巧, 佐藤祐, 加藤優一, 網本和:重症 pusher 現象症例の重症度および関連因子の経時的変化と機能予後の分析: 高次脳機能研究 39 巻 1 号 Page87,2019.03
- 19) 志田航平, 網本和, 藤野雄次, 高橋秀寿, 牧田茂:半側空間無視患者に対する非無視方向への体幹回旋位でのリーチ運動の効果 症例報告: 高次脳機能研究 39 巻 1 号 Page85-86,2019.03
- 20) 藤野雄次, 高橋秀寿, 丸山元, 高橋洋介, 米井圭衣子, 深田和浩, 井上真秀, 志田航平, 牧田茂, 網本和:重度の Pusher 現象例における座位姿勢保持時の筋活動 2 症例報告: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine55 巻特別号 Page3-KP-24-2018.05

## 論文

- 1) Katsuya Sakai, Yumi Ikeda, Kazu Amimoto: Effect of kinesthetic illusion induced by visual stimulation on ankle dorsiflexion dysfunction in a stroke patient: ABAB single-case design. Neurocase. 18:1-5, 2019.01
- 2) 酒井克也, 池田由美, 山中誠一郎, 野口隆太郎: 視覚誘導性自己運動錯覚が脳卒中片麻痺患者の足関節背屈運動機能障害に与える即時効果の検討. 理学療法科学. 3(2):277-280, 2018.04
- 3) 池田由美: 理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則改正のポイント 総単位数の見直しと新規科目. 理学療法ジャーナル. 52(10): 938-943, 2018.10
- 4) 信太奈美, 池田由美: 障がい者スポーツへの関わりに対する障がい者との交流およびスポーツの経験の影響 インターネット調査の結果から. 日本保健科学学会誌. 21(3), 121-129, 2018.12
- 5) 池田由美: 神経現象学リハビリテーション研究センター10年のあゆみ. ～10のプロセスを振り返り～. 神経現象学リハビリテーション研究. 4号:3-12, 2019.03

## 講演・口頭発表

- 1) Katsuya Sakai, Yumi Ikeda, Kazu Amimoto, Keisuke Goto, Kenji Morikawa, Ken Kumai: Brain activity region during kinesthetic illusion induced by visual stimulation of ankle joint. the 12th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine. 2018.06
- 2) 酒井克也, 池田由美: 運動イメージ能力の差異が視覚誘導性自己運動錯覚の効果に与える影響. 第9回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会. 2018.04
- 3) 森川健史, 高橋輝, 池田由美: 脳卒中片麻痺患者の麻痺側機能と非麻痺側機能の関係. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine(第55回日本リハビリテーション医学会学術集会). 55巻特別号:Page3-KP-22-5, 2018.06
- 4) 熊井健, 池田由美: 体幹筋の活動における脳活動～運動関連領域を中心とした検討～. 第1回リハビリテーションのための姿勢制御研究会. 2018.09
- 5) 酒井克也, 川崎翼, 池田由美: 足関節背屈運動の視覚誘導性自己運動錯覚が運動イメージ能力に与える影響. 第28回日本保健科学学会. 2018.10
- 6) 酒井克也, 池田由美, 網本和, 後藤圭介, 森川健史, 熊井健: 足関節の視覚誘導性自己運動錯覚時の脳活動領域の検討. 臨床神経生理学(第48回日本臨床神経生理学会学術大会). 46(5):504, 2018.10
- 7) 森川健史, 池田由美: 運動イメージの修正に課題の違いが及ぼす影響. 第23回日本基礎理学療法学会学術大会. 2018.12

## 論文

- 1) Dai Y, Ren K, Terayama H, Miwa Y, Sato I, Yi SQ:The distribution of nerves supplying of the testis, epididymis and accessory sex glands of Suncus murinus. Anat Sci Int, 94(1):128-135, 2019.01
- 2) 木田雅彦,藤原基,Ke Ren,易勤:胎仔ブタの胸鎖乳突筋と僧帽筋について—胸鎖乳突筋僧帽筋複合体は外斜筋系である—. 形態科学 21(2):83-88, 2018

## 講演・口頭発表等

- 1) Yi SQ, Kurosawa k, Dai Y, Ren K, Miwa Y, Sato I: Morphogenesis of the ventral pancreas anlagen is related to derivation of the inferior pancreatic artery?. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2019.03.29
- 2) 渡辺新之助,富岡大樹,高橋雅人,上田容子,佐藤巖,易勤:高齢者膝関節における大腿骨軟骨と半月板の退行性変化について. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2019.03.28
- 3) 黒澤一弘, 易勤:コ・メディカル向け解剖学国家試験対策 e-learning サイトの構築. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2019.03.28
- 4) 易勤:The distribution and ramification of the coronary artery in fetus pigs. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2019.03.28
- 5) 藤原基,ニン カ,ダイ イダン,黒澤一弘,オウ シダン,堀江俊裕,岡田昌也,易勤:胎児ブタを用いた膝内側側副靭帯・半月板の血管支配の比較解剖研究. 第 124 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2019.03.27
- 6) 易勤:Comparative study of the distribution and ramification of the coronary artery. 第 28 回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.06
- 7) 黒澤一弘,易勤:コ・メディカル向け解剖学国家試験対策 e-learning サイトの構築法. 第 28 回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.06
- 8) Ke Ren,Yidan Dai,藤原基,黒澤弘一,Zhidan Wang,易勤:膝内側側副靭帯と血管支配の比較解剖研究. 第 28 回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.06
- 9) ニン カ,ダイ イダン,藤原基,黒澤一弘,オウ シダン,易勤:胎児ブタを用いた半月板の血管支配の比較解剖研究. コ・メディカル形態機能学会 第 17 回学術集会・総会, 2018.09.01
- 10) 易勤:The distribution and ramification of the coronary artery in fetus pigs.. コ・メディカル形態機能学会 第 17 回学術集会・総会, 2018.09.01
- 11) 易勤:「膵頭神経叢」と Meso-pancreas ---形態・発生・臨床---. 第 45 回日本膵切研究会・第 6 回膵癌膵後方進展検討委員会, 2018.08.24 (招待講演)
- 12) 易勤:Perineural Invasion (PNI) of the Pancreatic Cancer. 2th Summit Forum on Digestive Surgical Oncolog, On July 20-22, 2018, Huazhong University of Science and Technology, Wuhan, China (国際・招待講演)

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 易勤:首都大学東京傾斜的研究費 部局分 部局競争的経費「スングスの腸内細菌叢の解析と抗肥満特性についての研究」, 2015.04-2018.03
- 2) 易勤:文部科学省 科学研究費(基盤研究(C))「スングスの腸内細菌叢の解析と抗肥満特性についての研究」, 2019.04-2022.03



## 社会貢献活動

- 1) 日本膵臓学会 膵癌取扱規約検討委員会 委員(2017-)
- 2) 日本胆膵病態・生理研究会 世話人(2018-)
- 3) 日本膵切研究会 膵癌膵後方進展検討委員会 委員(2017-)

## 論文

- 1) 池松幸二, 神野哲也, 加地啓介, 竹井仁:人工股関節全置換術後の股関節外転運動時の臥位姿勢の違いが術後機能に及ぼす影響. 理学療法科学, 33(6):959-964, 2018.12
- 2) Sho Mitomo, Hideyuki Usa, Masafumi Hata, Daisuke Ogawa, Atsushi Senoo, Hitoshi Takei: Sequential Changes in Activity of Hip Abductors Seen on Muscle Functional Magnetic Resonance Imaging after Hip Abduction Exercises. Bone and Muscle. Bone and Muscle.1(1):1-4, 2018.04
- 3) 遠藤敦士, 今田康大, 竹井仁: 健常成人男性における非加重位および加重位での中殿筋前・中・後部線維の作用比較. 理学療法科学, 45(2):67-74, 2018.04

## 著書

- 1) 竹井仁:不良姿勢を正しくする 姿勢の教科書上肢・下肢編. 1, ナツメ社, 2018.10
- 2) 竹井仁:姿勢がよくなる! 若返る! ずっと自分の足で歩ける! 筋膜リリース位 健康長寿編. 1, 自由国民社, 2018.09
- 3) 竹井仁:背が伸びる! 足も速くなる! 賢い子になる! 筋膜リリース Kids 編. 1, 自由国民社, 2018.09
- 4) Hitoshi Takei: Treatment of dysfunction extending from the foot to the contralateral shoulder. 2, 13-20, Fascial Manipulation-Stecco method The practitioner's, HANDSPRING PUBLISHING, 2018.08
- 5) 竹井仁:竹井仁先生の筋膜リリース 腰痛・ひざ痛根治マニュアル. 名医が教える脊柱管狭窄症を自分で治す本. 2, 26-37, 洋泉社 MOOK, 2018.08

## Misc

- 1) 竹井仁:「筋筋膜機能障害と Motor Control」. Motor Control からみた運動器疼痛の診かた治しかた. MB Orthop, 31(12):19-28, 2018.11
- 2) 竹井仁:筋膜に対する徒手理学療法総論ーマッスルペインリリーフ, 筋膜リリース, 筋膜マニピュレーションに関する概論ー. 臨床スポーツ医学, 35(5):466-475, 2018.05

## 社会貢献活動

- 1) 竹井仁:姿勢改善のストレッチング. 1, 2019.03.04-
- 2) 竹井仁:シワ・たるみの改善. 1, 2019.02.17-
- 3) 竹井仁:体力年齢のチェック. ステッピングテスト. 1, 2018.12.30-
- 4) 竹井仁:若返りレーニングの第三弾. 1, 2018.12.01-
- 5) 竹井仁:大根をおろすときの疲れない姿勢. 1, 2018.11.13-
- 6) 竹井仁:オトナのストレッチマン. 9, 2018.10.29-2018.11.01
- 7) 竹井仁:ダイエットスペシャル. 1, 2018.07.26-
- 8) 竹井仁:筋膜リリース. 1, 2018.05.27-
- 9) 竹井仁:逃走 10 日目 平尾容疑者 高齢者の筋力低下と精神機能低下の解説. 1, 2018.04.17-

## 委員歴

- 1) 日本理学療法協会運動器分科学会 副代表(2015.06-2019.03)
- 2) 日本理学療法士協会徒手理学療法部門 代表幹事(2015.05-2019.03)
- 3) 日本徒手理学療法学会 理事長(2015.03-2019.03)

その他

- 1) Integrative Journal of Orthopaedics and Traumatology, Integrative Journal of Orthopaedics and Traumatology, 編集委員,  
2018

## 論文

- 1) Ryotaro Suzuki, Rintaro Onishi, Keiko Kasamatsu, Yoshiki Shimomura, Osamu Nitta, Ryuta Motegi, Shin Tsuchiya, Nami Shida, Naoyuki Takesue: Development of Boccia Robot and Its Throwing Support Interface. Human Interface and the Management of Information. Information in Intelligent Systems - Thematic Area, HIMI 2019, Held as Part of the 21st HCI International Conference, HCII 2019, Orlando, FL, USA, July 26-31, 2019, Proceedings, Part II, :556-567, 2019
- 2) 青木秀哲, 新田収, 山田拓実, 妹尾淳史, 米本恭三, 田島文博: L300 を用いたトレーニングによるワクチンポリオ患者の歩容の変化と脳活性化の評価. フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団研究助成・事業助成報告書, 28th:167-183, 2018.11.20
- 3) 平野恵健, 大森まいこ, 阿久津匡弘, 糀谷勝昭, 川上悟, 新田収, 小林一夫, 今村健太郎: 長下肢装具を処方した脳卒中重度片麻痺患者の在宅復帰に向けた家族指導と多職種連携. 日本義肢装具学会誌, 34:324-, 2018.09.28
- 4) 楠本泰士, 松田雅弘, 高木健志, 新田収: 青年期軽度発達障害児における静的・動的バランスの特徴. 日本保健科学学会誌(Web), 21(2):82-88 (WEB ONLY)-88, 2018.09.25
- 5) Yamamoto S, Furukawa Y, Fukushima S, Nitta O: A predictor of aerobic threshold for patients with heart failure with reduced ejection fraction. Journal of physical therapy science, 30(9):1164-1167, 2018.09
- 6) Kusumoto Y, Matsuda T, Fujii K, Miyamoto K, Takaki K, Nitta O: Effects of an underwear-type hip abduction orthosis on sitting balance and sit-to-stand activities in children with spastic cerebral palsy. Journal of physical therapy science, 30(10):1301-1304, 2018.10
- 7) 松田雅弘, 倉山太一, 栗原靖, 田上未来, 楠本泰士, 新田収: 傾斜条件における重心動揺の検討. 理学療法科学, 33(4):637-641, 2018.08
- 8) 松田雅弘, 大山隆人, 田上未来, 新田収, 楠本泰士, 栗原靖, 越田専太郎, 橋本俊彦: 子どもの運動機能と運動習慣の調査から見えてきた現状 千葉県内のスポーツフェアを通じて. 理学療法科学, 33(4):631-636, 2018.08
- 9) 櫻井瑞紀, 新田収, 松田雅弘, 妹尾淳史: 非特異的腰痛者におけるサイドブリッジ時の体幹深部筋疲労解析. 理学療法学, 45(3):158-165, 2018.06.20
- 10) 新田収: 発達障害 1)障害像を理解する 2.運動発達の遅れについて. 小児リハビリテーション, 1:24-33-, 2018.06.15
- 11) 廣島拓也, 新田収: 片側股関節屈曲制限により骨盤側方傾斜した症例の座位姿勢と座面補高による荷重の減少率の関係. 車椅子シーティング研究 = The Japanese journal of wheelchair seating, 3:2-10, 2018.11.01

## 著書

- 1) 新田収, 松田雅弘, 楠本泰士: 子どもの発達から考える運動指導法—体力と運動能力を伸ばすプログラム—, 2, ナップ, 2018.05.22

- 1) 菊地謙, 新田收, 西川康博, 大島浩幸: 小児における歩行器使用の問題点—ヒヤリ・ハット, インシデントに着目して—. 第5回日本小児理学療法学会学術大会, 2018.12.23
- 2) 大西林太郎, 鈴木諒太郎, 笠松慶子, 下村芳樹, 新田收, 茂木龍太, 土屋真, 信太奈美, 武居直行: ボッチャロボットの投球支援システムの開発と実地検証. 計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(CD-ROM), 2018.12.13
- 3) 木村優希, 楠本泰士, 土屋香子, 菅原実季, 友成亮太, 南雲千奈美, 宮崎夏輝, 高木健志, 松田雅弘, 新田收: 健常高校生における筋収縮特性と体組成の関係. 日本保健科学学会誌(Web), 2018.10.06
- 4) 楠本泰士, 竹田智之, 新田收, 松田雅弘, 高木健志: 特別支援学校知的学級児における協調動作の特徴. 日本保健科学学会誌(Web), 2018.10.06
- 5) 楠本泰士, 菅原仁, 新田收, 松田雅弘, 高木健志: 痙直型脳性麻痺両麻痺児の立位姿勢における脊髄興奮性の変化—H反射を用いた pilot study—. 日本保健科学学会誌(Web), 2018.10.06
- 6) 平野恵健, 阿部真也, 川上悟, 新田收, 工藤香澄, 池田杏未, 石谷真, 藤岡高弘, 今村健太郎: 介護予防教室に参加した高齢者の身体特性の類型化. 日本保健科学学会誌(Web), 2018.10.06
- 7) 土屋香子, 楠本泰士, 木村優希, 木原朋美, 菅原実季, 南雲千奈美, 野崎瑠美, 高木健志, 松田雅弘, 新田收: 健常高校生における運動前後の筋収縮特性の比較. 日本保健科学学会誌(Web), 2018.10.06
- 8) 浅野貞美, 古川順光, 新田收, 原田卓, 上月正博: 血液透析患者における転倒アセスメントツールの開発およびリハビリテーションと転倒との関連について. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2018.10
- 9) Matsuda T, Ooyama T, Tagami M, Nitta O, Kusumoto Y, Kurihara Y, Koshida S, Hashimoto T, Koyama T: The Investigation of Child's Motor Function and Motor Habits, pain? The Sports Fair in Japan?. World Congress on Pain Boston2018, 2018.09.12
- 10) Nitta O, Matsuda T, Koyama T: Sense abnormality in children. World Congress on Pain Boston2018, 2018.09.12
- 11) 大村秋彦, 松澤宏治, 深谷直樹, 新田收, 武居直行: リンク機構を用いた歩行訓練用杖の開発と評価. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会講演論文集(CD-ROM), 2018.06.01
- 12) 赤城仁奈, 伊藤美咲, 松田雅弘, 菊地謙, 新田收: 定型発達時における運動イメージと転倒経験の関係. 第55回日本リハビリテーション医学学術大会, 2018.06
- 13) 伊藤美咲, 赤城仁奈, 松田雅弘, 菊地謙, 新田收: 定型発達児における年齢と運動イメージの関係. 第55回日本リハビリテーション医学学術大会, 2018.06
- 14) 松田雅弘, 万治淳史, 久保田直行, 大保武慶, 殿村隆太, 二瓶篤史, 新田收, 楠本泰士: TMT のアプリケーション開発と今後の有用性. 第55回日本リハビリテーション医学学術大会, 2018.06
- 15) 楠本泰士・松田雅弘・高木健志・新田收: 小児理学療法士の装具支援に関するアンケート調査. 第55回日本リハビリテーション医学学術大会, 2018.06
- 16) 市川智美, 新田收, 菊地謙, 松田雅弘: 定型発達児における土踏まず比と運動機能の関係. 第55回日本リハビリテーション医学学術大会, 2018.06
- 17) 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 来間弘展, 中俣修, 新田收: 座位姿勢での脊柱可動性と吸気筋力との関係. 第55回日本リハビリテーション医学学術大会, 2018.06
- 18) 新田收, 他: FACTORS INFLUENCING MOTOR IMAGERY. ISPRM2018, 2018.06
- 19) 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 来間弘展, 中俣修, 新田收: 座位姿勢での脊柱可動性と吸気筋力との関係. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2018.05
- 20) 松田雅弘, 万治淳史, 久保田直行, 大保武慶, 殿村隆太, 二瓶篤史, 新田收, 楠本泰士: TMT のアプリケーション開発と今後の有用性. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2018.05

- 21) 市川智美, 菊地謙, 松田雅弘, 新田收: 定型発達児における土踏まず比と運動機能の関係. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2018.05
- 22) 伊藤美咲, 赤城仁奈, 菊地謙, 松田雅弘, 新田收: 定型発達児における年齢と運動イメージの関係. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2018.05
- 23) 赤城仁奈, 伊藤美咲, 菊地謙, 松田雅弘, 新田收: 定型発達児における運動イメージと転倒経験の関係. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2018.05
- 24) 菊地謙, 赤城仁奈, 伊藤美咲, 市川智美, 松田雅弘, 新田收: 定型発達児における感覚情報の運動イメージへの影響. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2018.05
- 25) 楠本泰士, 松田雅弘, 高木健志, 新田收: 小児理学療法士の装具支援に関するアンケート調査. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2018.05
- 26) 楠本泰士, 網本さつき, 藤井香菜子, 松田雅弘, 高木健志, 新田收: 痙直型脳性麻痺における末梢神経伝導速度と下肢随意性, 関節トルクの関係. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2018.05

## 論文

- 1) Sho Mitomo, Hideyuki Usa, Masafumi Hata, Daisuke Ogawa, Atsushi Senoo, Hitoshi Takei: Sequential Changes in Activity of Hip Abductors Seen on Muscle Functional Magnetic Resonance Imaging after Hip Abduction Exercises. Bone and Muscle, 1:1-4, 2018.04

## 社会貢献活動

- 1) 宇佐英幸: 姿勢の評価と治療アプローチ～上肢・体幹編. 10, 2018.09.22-2018.09.23
- 2) 宇佐英幸: 上肢・下肢の触診機能解剖. 10, 2018.09.15-2018.09.17
- 3) 宇佐英幸: 筋膜リリース—基礎から応用—. 18, 2018.07.14-2018.07.16

## 論文

- 1) 山内智之, 来間弘展, 雨宮耕平: Quadriceps setting における大腿四頭筋各筋の筋硬度の分析 Shear Wave Elastography を用いて. 理学療法科学, 33(3):535-539, 2018.06
- 2) 雨宮耕平, 来間弘展, 山内智之: 腹臥位股関節伸展運動時の筋活動パターンと歩行時股関節・骨盤運動との関係. 理学療法科学, 33(4):689-693, 2018.08
- 3) 根本海渡, 来間弘展, 高瀬真理: 変形性膝関節症患者に対して軟部組織モビライゼーションを施行した一症例 下肢マルアライメントに着目して. 運動器徒手理学療法, 5(1):28-30, 2018.10
- 4) 新井龍一, 来間弘展, 根本海渡: 深部横断マッサージが拮抗筋の筋機能に与える影響. 理学療法科学, 33(6):921-927, 2018.12

## 著書

- 1) 来間弘展: 腰部に対する徒手理学療法の実践(成田崇矢編集 脊柱理学療法マネジメント), メジカルビュー社, 2019.02

## 講演・口頭発表等

- 1) 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 来間弘展, 中俣修, 新田收: 座位姿勢での脊柱可動性と吸気筋力との関係. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 55(特別号):4-KP, 2018.05
- 2) 山内智之, 来間弘展, 雨宮耕平: Quadriceps setting における大腿四頭筋各筋の筋硬度の分析 Shear Wave Elastography を用いて. 理学療法科学, 33(3):535-539, 2018.06
- 3) 雨宮耕平, 来間弘展, 山内智之: 腹臥位股関節伸展運動時の筋活動パターンと歩行時股関節・骨盤運動との関係. 理学療法科学, 33(4):689-693, 2018.08
- 4) 根本海渡, 来間弘展, 高瀬真理: 変形性膝関節症患者に対して軟部組織モビライゼーションを施行した一症例 下肢マルアライメントに着目して. 運動器徒手理学療法, 5(1):28-30, 2018.10
- 5) 新井龍一, 来間弘展, 根本海渡: 深部横断マッサージが拮抗筋の筋機能に与える影響. 理学療法科学, 33(6):921-927, 2018.12

## 社会貢献活動

- 1) 来間弘展: 日本オリンピック委員会強化スタッフ. 18, 2016.04.01-

## 委員歴

- 1) 日本運動器徒手理学療法学会 理事(2017.04-)
- 2) 日本徒手理学療法学会事務局長
- 3) 「徒手理学療法」編集委員



## 論文

- 1) 信太奈美:障がい者スポーツへの関わり の程度に対する障がい者との交流およびスポーツの経験の影響ーインターネット調査の結果からー. 日本保健科学学会誌, 21(3):121-129, 2018.12

## 講演・口頭発表等

- 1) 大宮博之,信太奈美,古川順光,備前 梨穂:頸髄損傷スポーツ選手の肺機能と胸郭拡張差. 第 28 日本障害者スポーツ学会, 2019.02
- 2) 信太奈美:体幹装具の有無による競技パフォーマンスの比較 ウイルチェアラグビーの例. 第 14 回日本シーティングシンポジウム, 2018.11
- 3) 中村高仁,信太奈美,古川順光:頸髄損傷スポーツ選手における低負荷運動時の呼吸循環応答. 第 73 回日本体力医学会大会, 2018.09
- 4) 信太奈美,山田拓実,中村高仁,古川順光,来間弘展,神尾博代:車いす競技者の駆動フォームと上肢運動負荷. 第 73 回日本体力医学会大会, 2018.09
- 5) 神尾博代,来間弘展,古川順光,信太奈美:骨盤底筋群の随意収縮能力の調査. 第 73 回日本体力医学会大会, 2018.09
- 6) 古川順光,信太奈美,神尾博代,来間弘展,中俣修,新田收:長座位における吸気筋力と胸部可動性との関係. 第 73 回日本体力医学会大会, 2018.09
- 7) 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 来間弘展, 中俣修, 新田收:座位姿勢での脊柱可動性と吸気筋力との関係. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2018.05
- 8) 大西林太郎, 鈴木諒太郎, 笠松慶子, 下村芳樹, 新田收, 茂木龍太, 土屋真,信太奈美, 武居直行:ボッチャロボットの投球支援システムの開発と実地検証.第 19 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 2018.12
- 9) 田澤智央, 大見武弘, 山田拓実, 島村亮太, 加藤淳平, 美崎定也, 佐藤義尚, 信太奈美, 杉本和隆 :右人工膝関節全置換術後ゆるみに対して再置換術を施行された一症例における歩行解析:術前と術後 6 ヶ月の縦断的調査. 第 6 回日本運動器理学療法学術大会.2018.12
- 10) 大見武弘, 山田拓実, 美崎定也, 島村亮太, 田澤智央, 佐藤義尚, 信太奈美, 諸澄孝宜、加藤淳平, 杉本和隆:ローテーティングヒンジ型人工関節を用いた再置換術後患者の歩行解析. 第 49 回日本人工関節学会.2019.02

## 委員歴

- 1) 日本理学療法士協会 スポーツ支援推進執行委員会(2017.08-)
- 2) 日本パラリンピック委員会 医学員会アンチ・ドーピング部会(2016.03-)
- 3) 日本パラリンピック委員会 医・科学・情報サポート委員(バイオメカニクス)(2011.04-)

## 論文

- 1) SHIDA Nam, FURUKAWA Yorimitsu, NITTA Osamu: Skin Temperature Responses in a Hot Environment among Wheelchair Rugby and Basketball Players with Spinal Cord Injury, International Journal of Physical Medicine & Rehabilitation 6(4), 2018.07
- 2) YAMAMOTO Sawako, FURUKAWA Yorimitsu, FUKUSHI Seiji, NITTA Osamu: A predictor of anaerobic threshold for patients with heart failure with reduced ejection fraction, Journal of Physical Therapy Science 30(9):1164-1167, 2018.09
- 3) YAMAMOTO Sawako, FURUKAWA Yorimitsu, FUKUSHI Seiji, NITTA Osamu: Correlation between aerobic threshold and cardiopulmonary response to exercise onset in patients with myocardial infarction. 日本保健科学学会誌, 21(3): 130-135, 2018.12

## 著書

- 1) 古川順光, 田屋雅信 編: 内部障害に対する運動療法－基礎から臨床実践まで: メジカルビュー社, 2018.09.03

## Misc

- 1) 浅野貞美, 古川順光, 新田收, 原田卓, 上月正博: 血液透析患者における転倒アセスメントツールの開発およびリハビリテーションと転倒との関連について. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 55(秋季特別号): S383-S383, 2018.10
- 2) 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 来間弘展, 中俣修, 新田收: 座位姿勢での脊柱可動性と吸気筋力との関係. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 55(Supplement): ROMBUNNO.4-KP-17-8(J-STAGE)-KP, 2018.05

## 講演・口頭発表等

- 1) 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 来間弘展, 中俣修, 新田收: 座位姿勢での脊柱可動性と吸気筋力との関係, 日本リハビリテーション医学会, 2018.06.10
- 2) 中村高仁, 信太奈美, 古川順光: 頸髄損傷スポーツ選手における低負荷運動時の生体反応. 第73回日本体力医学会大会, 2018.09.07
- 3) 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 中俣修, 来間弘展, 新田收: 長座位における吸気筋力と胸郭可動性との関係. 第73回日本体力医学会大会, 2018.09.09
- 4) 信太奈美, 山田拓実, 中村高仁, 古川順光, 来間弘展, 神尾博代: 車いす競技者の駆動フォームと上肢関節負荷. 第73回日本体力医学会大会, 2018.09.09
- 5) 神尾博代, 来間弘展, 古川順光, 信太奈美: 骨盤底筋群の随意収縮能力の調査. 第73回日本体力医学会大会, 2018.09.09
- 6) 中俣修, 山崎敦, 古川順光, 新田收: 動作ピッチの相違が連続跳躍動作時の体幹と下肢運動の運動範囲と運動方向の切替時間に及ぼす影響. 第73回日本体力医学会大会, 2018.09.09
- 7) 浅野貞美, 古川順光, 新田收, 原田卓, 上月正博: 血液透析患者における転倒アセスメントツールの開発およびリハビリテーションと転倒との関連について, 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2018.11.03
- 8) 大宮博之, 信太奈美, 古川順光, 備前梨穂: 頸髄損傷スポーツ選手の肺機能と胸郭拡張差. 第28回日本障がい者スポーツ学会, 2019.02.02

## 論文

- 1) 神尾博代,丸山仁司:超音波診断装置による若年女性の骨盤底筋群の随意収縮能力に関する研究. 理学療法科学, 34(1):115-118, 2019.02

## 講演・口頭発表等

- 1) 神尾博代, 来間弘展, 古川順光, 信太奈美:骨盤底筋群の随意収縮能力の調査. 第73回日本体力医学会大会, 2018.09
- 2) 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 来間弘展, 中俣修, 新田收:長座位における吸気筋力と胸郭可動性との関係. 第73回日本体力医学会大会, 2018.09
- 3) 信太奈美,山田拓実,中村高仁,古川順光,来間弘展,神尾博代:車いす競技者の駆動フォームと上肢運動負荷. 第73回日本体力医学会大会, 2018.09
- 4) 古川順光, 信太奈美, 神尾博代, 来間弘展, 中俣修, 新田收:座位姿勢での脊柱可動性と吸気筋力との関係. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 2018.05

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 篠崎克子:文部科学省 科研費補助金(基盤研究(B))「骨盤底機能障害を予防する助産ケアのプログラム開発」, 2019-2021
- 2) 神尾博代:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「骨盤底筋群収縮トレーニング後の脳機能の変化についての解析」, 2018-2020.

# 作 業 療 法 学 科

## 論文

- 1) Masami Yasunaga, Yoshikazu Ishii, Norikazu Kobayashi: Agreement between long-term care users' quality of experience in daycare and providers' perceptions: a cross-sectional study based on the flow model. World Federation of Occupational Therapists Bulletin vol.74 Pages 63-70, Published online: 17.10.2018
- 2) 馬場順子, 石井良和, 谷村厚子・他: 精神障害者の就労を継続している状態に関する主観的認識について. 職業リハビリテーション, 32(1):12-22, 2018.09
- 3) 立山清美, 中岡和代, 石井良和, 山田孝, 太田篤志: 青年・成人用感覚チェックリストの開発～妥当性と信頼性の検討～. 作業療法, 37(5):518-528, 2018.10

## 講演・口頭発表等

- 1) 船越健太, 石井良和: 作業の観点から考える定年退職後に再び働くことの支援—シルバー人材センターが直面する課題の文献研究から—. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09
- 2) 神保洋平, 石井良和: 作業適応の危機を経験した高齢者の意味生成様式信用性の検討—事例—コードマトリックス分析を用いて—. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09
- 3) 岡田直純, 石井良和: あるヘルペス脳炎クライアントの現象学的理解とアプローチ—エピソード記述を用いて—. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09
- 4) 竹内幸子, 大嶋伸雄, 石井良和, 木村奈緒子, 丸 達也: 脳血管障害者が地域で意味のある作業とその人らしい生活を獲得していくプロセス—地域で生活する脳血管障害者の語りから—. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09
- 5) 立山清美, 中岡和代, 石井良和, 山田孝, 太田篤志: 青年・成人用感覚チェックリストの開発—妥当性と信頼性の検討—. 第 52 回日本作業療法学会. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09
- 6) 石井良和, 村田和香, 小林隆司: 作業行動の現代化～哲学と学際的知識. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09
- 7) 谷村厚子, 石井良和: 精神保健サービス利用者を対象とした 5 件法ワークライフバランス尺度の因子妥当性の検討. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09
- 8) 石橋仁美, 石井良和, 石橋裕, 高田夕美, 猿渡敬志: 地域在住高齢者に対する生活と化粧を関連づけた社会参加支援プログラムの効果 —ランダム化比較研究—. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09
- 9) 天内将広, 石井良和: 生活歴と価値に基づく役割行動を提供したことで自発性が向上した事例～回復期リハビリテーション病棟で OPHI-? を使用して～. 第 28 回日本作業行動学会学術集会, 2018.06
- 10) 船越健太, 石井良和: 意味のある作業に基づいた実践をする作業療法士の戦略に関する文献研究. 第 28 回日本作業行動学会学術集会, 2018.06
- 11) 岡田直純, 石井良和: コンテキスト(文脈)を理解し対人支援につなげることの意義～認知症クライアントとの接面にみる現象学的アプローチ～. 第 28 回日本作業行動学会学術集会, 2018.06
- 12) 麓文太, 石井良和: 作業有能性と心身機能, 活動能力の改善経過に差を認めた 1 事例. 第 28 回日本作業行動学会学術集会, 2018.06

## 委員歴

- 1) 日本作業行動学会 会長(2017-)
- 2) 日本保健科学学会 日本保健科学学会誌編集委員
- 3) 日本作業療法士協会 学術誌作業療法編集委員

## 論文

- 1) 中本久之, 大嶋伸雄: 回復期リハビリテーション病棟で働く作業療法士の職業的アイデンティティの分析: 総合リハビリテーション 46(7) 657-665. 2018.07
- 2) Michael P.Sy, Nobuo Ohshima: The role of Filipino occupational therapists in substance addiction and rehabilitation: A Q-methodology. Occupational Therapy in Mental Health 34(4) 367-388 . 2018

## 著書

- 1) 安保雅博 (監修), 渡邊修 (編集), 松田雅弘 (編集), 大嶋伸雄: リハビリテーション医学 (PT・OT ビジュアルテキスト専門基礎). 9, 8 認知行動療法, 羊土社, 2018.08

## 講演・口頭発表等

- 1) 大嶋伸雄: 対象者の力を引き出す作業療法. 一般社団法人 大阪府作業療法士会・主催, 2019.02.24
- 2) 大嶋伸雄: 社会貢献できる作業療法士力を覚醒させよう. 第6回京都府作業療法学会特別講演, 2019.02.17
- 3) 大嶋伸雄: 認知作業療法の基礎と実践(1). 栃木県作業療法士会学術部・主催, 2019.02.09
- 4) 大嶋伸雄: 認知作業療法の Frame Work. 長野認知作業療法研究会主催。研修会, 2019.01.25
- 5) 大嶋伸雄: 認知作業療法を理解する. 専門リハビリテーション研究会・公認研修会, 2019.01.19
- 6) 大嶋伸雄: 作業療法カウンセリングの 目的とエビデンス(根拠). 第1回 作業療法カウンセリング研修会, 2019.01.15
- 7) 大嶋伸雄: 認知作業療法の背景と概念. 第1回 認知作業療法講師養成研修会, 2018.12.01
- 8) 大嶋伸雄: 日本の作業療法を再生しましょう! -心と身体をみる認知作業療法の観点から-. 第18回東海北陸作業療法学会・第7回福井県作業療法学会・特別講演, 2018.11.17
- 9) 大嶋伸雄: 脳損傷者に対し心理的アプローチと身体運動を 同時に用いるリハビリテーション効果について. 第6回 宮古島神経科学カンファレンス・教育講演, 2018.10.20
- 10) 大嶋伸雄: 多職種連携実践(IPC)と 多職種連携教育(IPE). 2018 年・西多摩リハビリテーション研修会, 2018.10.19
- 11) 大嶋伸雄: 行動変容のための 作業療法カウンセリング. 主催:循環器臨床作業療法研究会・共催:日本認知作業療法研究会 合同研修会, 2018.10.07
- 12) 大嶋伸雄: カウンセリングと包括的マネジメントでリハビリテーション効果を高めるための研修会. 主催:かわな病院 共催:日本リハビリテーション・カウンセリング研究会 合同研修会, 2018.09.30
- 13) 大嶋伸雄: Maximizing the voice and values of the community in developmg a village-based drug recovery program in the Philippines . All Together Better Health 9, 2018.09.04
- 14) 大嶋伸雄: セラピストのための認知行動療法の応用. ふれあい相互病院主催・リハビリテーション科研修会, 2018.08.29
- 15) 大嶋伸雄: Inter-professional Learning. 慶応義塾大学・第3回 保健・医療・福祉系学生交流セミナー, 2018.08.04
- 16) 大嶋伸雄: A literature review of Occupational Therapy in Post-Acute hospital: 43 case studies from 2012 to2016. 12th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress., 2018.07.10
- 17) 大嶋伸雄: 日本の作業療法を未来へつなぐ認知作業療法. 第27回 埼玉県作業療法学会, 2018.06.17

- 18) 大嶋伸雄: Effectiveness of occupational therapy counseling based cognitive behavioral therapy for the patients with cerebrovascular accident. 12th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress., 2018.06.10
- 19) 大嶋伸雄: 研究法フレームワーク. 教育カグレードアップ講座・日本リハビリテーション振興財団主催, 2018.06.09
- 20) 大嶋伸雄: 認知作業療法のフレームワークと基礎. 昭和大学医学部付属病院リハビリテーション科主催・日本認知作業療法研究会, 2018.05.14
- 21) 大嶋伸雄: 2018 認知作業療法研修 in Miyazaki. 宮崎県作業療法士会主催研修会, 2018.05.12
- 22) 大嶋伸雄: 豊かなライフデザインを作る. 首都大学東京 PRI シリーズ 1811Z001, 2018.04.24
- 23) 大嶋伸雄: 認知行動療法の学習を深める. 首都大学東京 PRI シリーズ 1811Z001, 2018.04.17
- 24) 大嶋伸雄: 認知行動療法による豊かなライフ・デザイン. 首都大学東京 PRI シリーズ 1811Z001, 2018.04.10



## 論文

- 1) Shirato M, Kikuchi Y, Machida A, Inoue T, Noriuchi M: Gentle touch opens the gate to the primary somatosensory cortex. *Neuropsychiatry (London)*, 1696-1707, 2018. DOI: 10.4172/Neuropsychiatry.1000509 (p-ISSN 1758-2008, e-ISSN 1758-2016).
- 2) Kawamichi H, Sugawara SK, Hamano YH, Makita K, Kochiyama T, Kikuchi Y, Ogino Y, Saito S, Sadato N: Prosocial behavior toward estranged persons modulates the interaction between midline cortical structures and the reward system. *Social Neuroscience*, 2018. doi: 10.1080/17470919.2018.1553797.
- 3) Noriuchi M, Kikuchi Y, Mori K, Kamio Y: The orbitofrontal cortex modulates parenting stress in the maternal brain. *Scientific Reports*, 2019. doi: <https://doi.org/10.1038/s41598-018-38402-9>. (Springer Nature)

## 総説

- 1) 菊池吉晃: 転倒の自己認知は身体的危機関連の脳領域を活性化する。リハビリテーション医学 55 特集「転倒予防の新しい視点」, 927-932, 2018
- 2) 菊池吉晃: 「脳」は「身体」の枠組みを超えるかー「自己性」の観点からー。体育の科学 5 特集「体育・スポーツにみる自己と他者」, 337-342, 2018

## 著書

- 1) Kikuchi Y, Noriuchi M: Power of Self-Touch: Its Neural Mechanism as a Coping Strategy. In *Emotional Engineering Volume 7* (Fukuda S, eds), 49-61, Springer Nature, 2018. Print ISBN 978-3-319-70801-0, Hardcover:
- 2) Kikuchi Y, Noriuchi M: Power of Self-Touch: Its Neural Mechanism as a Coping Strategy. In *Emotional Engineering Volume 7* (Fukuda S, eds), 49-61, Springer Nature, 2018. Online ISBN 978-3-319-70802-7, eBook.

## シンポジスト

- 1) 菊池吉晃: 心と脳に在る「当たり前」の脳科学。日本学術会議 公開シンポジウム「冷たいメカニズムから心優しいメカトロロジーへ～超高齢化社会とスマート・テクノロジー～」,【主催】日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会,【共催】一般社団法人可視化情報学会,一般社団法人日本応用数理学会,一般社団法人日本機械学会,一般社団法人日本計算工学会,一般社団法人日本シミュレーション学会共催,協賛 公益社団法人日本自動車技術会,日本学術会議講堂,2019.01.25
- 2) 菊池吉晃: Neuroimaging 研究からみた自他接触の神経機構。発達心理学会第 30 回大会,ラウンドテーブル “触れ合い”から発達を捉えるー子どもの発達における触覚コミュニケーションの役割を考える。早稲田大学戸山キャンパス,2019.03.17-2019.03.19

## 学会

- 1) 磯部寛子, 則内まどか, 白土真紀, 瀬戸山三佳, 八巻智史, 平尾直靖, 菊池吉晃: スキンケア化粧品の愛用意識に関する fMRI を用いた認知神経科学的研究. 第 43 回日本化粧品学会, 有楽町朝日ホール, 2018.06.29-2018.06.30

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 菊池吉晃: 「超高磁場 fMRI を用いた愛着パターンの脳内表象領域の同定と神経ネットワークの解析」, 平成 30 年度傾斜的研究費(一般)(部局分・部局競争経費)

2) 菊池吉晃:「化粧行為の認知神経科学的研究」, 資生堂共同研究

その他

- 1) 菊池吉晃:日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同計算機シミュレーションと工学設計分科会「心と脳など新しい領域検討小委員会」幹事, 2018
- 2) 菊池吉晃:日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同計算機シミュレーションと工学設計分科会「心と脳など新しい領域検討小委員会」委員, 2018
- 3) 菊池吉晃:日本学術振興会 特別研究員等審査会 専門委員, 2018
- 4) 菊池吉晃:日本学術振興会 国際事業委員会 書面審査員, 2018
- 5) 菊池吉晃:日本学術振興会 国際事業委員会 書面評価員, 2018
- 6) 菊池吉晃:日本学術振興会 卓越研究員候補者選考委員会 書面審査員, 2018
- 7) 菊池吉晃:「頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム」の新規採択にかかるレビュー協力, 2018
- 8) 菊池吉晃:日本学術振興会 科学研究費・基盤研究(S)応募書類に対する書面審査と合議審査のための「分野専門家からの審査意見書」作成, 2018
- 9) 菊池吉晃:第6期科学技術基本計画(Society 6.0)策定のための「日本の未来社会の在り方について」に関する日本学術会議委員会からの提言「超高齢化社会の人と機械を結ぶ脳と心のスマート・エンジニアリングとアートの基礎科学の推進—「冷たいメカニズム」から「心優しいフロネシス(賢慮)」を目指す7つのステップ—」の作成
- 10) Kikuchi Y: Editor in Chief, International Journal of Neuroinformatics, Open Access Pub, USA
- 11) Kikuchi Y: Editor in Chief, Insights on the Depression and Anxiety, Heighten Science, USA
- 12) Kikuchi Y: Editor in Chief, Journal of Nervous System and Physiological Phenomena, Open Access Pub, USA
- 13) Kikuchi Y: Editor in Chief, Neurology and Neuroscience Reports, Open Access Text, UK
- 14) Kikuchi Y: Editor in Chief, Journal of Trends in Biomedical Research, Open Access Text, UK
- 15) Kikuchi Y: Executive Editor in Chief, Journal of Neuroscience and Neurosurgery, Boffin Access, UK
- 16) Kikuchi Y: Editor, Neurophysiology Research, Allied Academies, UK
- 17) Kikuchi Y: Editor, Journal of Depression and Anxiety Forecast, Science Forecast, USA
- 18) Kikuchi Y: Editor, Sensory Research: Neuroscience and Modelling, Allied Academies, UK
- 19) Kikuchi Y: Editor, Journal of Neuropathology, Pulsus, UK
- 20) Kikuchi Y: Editor, Journal of Psychiatry and Behavioral Health Forecast, Science Forecast, USA
- 21) Kikuchi Y: Editor, Psychology & Psychological Research International Journal, Medwin Publishers, USA
- 22) Kikuchi Y: Editor, Journal of Neurology Forecast, Science Forecast Publications, USA
- 23) Kikuchi Y: Editor, Journal of Ophthalmology Forecast, Science Forecast Publications, USA
- 24) Kikuchi Y: Editor, Journal of Neurology and Neurorehabilitation Research, Allied Academies, USA
- 25) Kikuchi Y: Editor, Journal of Neurology and Neuroscience (Clinical Psychology and Neuropsychology), iMedPub, UK
- 26) Kikuchi Y: Editor, Journal of Clinical Psychiatry and Neuroscience, PULSUS, UK
- 27) Kikuchi Y: Editor, Scientific Journal of Research and Reviews, Iris Publishers, USA
- 28) Kikuchi Y: Editor, International Journal of Anesthesiology and Pain Medicine, iMedPub
- 29) Kikuchi Y: Editor, CPQ Neurology and Psychology, Cient Periodique, Canada
- 30) Kikuchi Y: Editorial Board, Journal of Novel Physiotherapies, OMICS international
- 31) Kikuchi Y: Editorial Board, World Journal of Physical and Rehabilitation Medicine, Remedy Publications LLC
- 32) Kikuchi Y: Editorial Board, International Journal of Physiatry, Clin Med, USA

- 33) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Journal of Sports Medicine, Scifed Group
- 34) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Sports Medicine and Rehabilitation Journal, Remedy, USA
- 35) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Neuroscience Communications, Smart Science & Technology LLC, USA
- 36) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Journal of Neuroscience and Cognitive Studies, Remedy, USA
- 37) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Brain and Nerves, Open Access Text (OAT), UK
- 38) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Journal of Model Based Research, Open Access Pub
- 39) [Kikuchi Y](#): Editor, Journal of Clinical Psychiatry and Neuroscience, PULSUS, UK
- 40) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Austin Neurology & Neurosciences, Austin, USA
- 41) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Archives of Psychiatry and Behavioral Sciences, Sryahwa Publications, India
- 42) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Annals of Psychiatry and Treatment, Peertechz, India
- 43) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Global Scientific Research Journal of Psychiatry, Global Scientific Research
- 44) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, World Journal of Psychiatry and Mental Health Research, Remedy Publications, USA
- 45) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Neurology, Brain and Psychiatry, Cresco, USA
- 46) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Journal of Neurology and Neuro Toxicology, Sci AEON, UK
- 47) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Annals of Neurodegenerative Disorders, J Sci Med Central, USA
- 48) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Neurology and Neurological Sciences, MedDocs Publishers, USA
- 49) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, International Journal of Brain Disorders & Therapy, Sci Res Literature, USA
- 50) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, International Journal of Alzheimers & Neurological Disorders, Bioaccent, USA
- 51) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Journal of Psychiatry and Cognitive Behaviour, Gavin Publishers, USA
- 52) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Clinical Research, Sci Forschen, USA
- 53) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Clinical and Medical Imaging: Cases and Reviews, JSM, USA.
- 54) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Journal of Radiology and Oncology, Heighten Science, USA
- 55) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, SM Journal of Forensic Research and Criminology, SM online Publications, USA
- 56) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Journal of Bioanalysis and Biomedicine, OMICS, USA
- 57) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Advances in Bioengineering and Biomedical Science Research, OPAST, USA
- 58) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Science Postprint, JPN
- 59) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Med One, Quingres, Israel
- 60) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Journal of Case Reports and Medical Images, MedDocs Publishers LLC, Nevada, USA
- 61) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Mathews Journal of Neurology, Mathews Open Access Journals, USA
- 62) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Archives of General Internal Medicine, Allied Academies, USA
- 63) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Scholar Journal of Applied Sciences and Research, Innovationinfo, UK
- 64) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Journal of Physical Health and Sports Medicine, RAFT publications, USA
- 65) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Neuroscience and Psychology, ForteOpen, USA
- 66) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Journal of Biomedical Sciences, iMedPub, UK
- 67) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Archives of Neurology and Neurological Disorders, Yumed Text, India
- 68) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Annals of Clinical Case Reports, USA.
- 69) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Journal of Neurology, Neurosurgery and Spine, Remedy Publications LLC, USA
- 70) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Journal of clinical case reports, NORCAL Publications, USA
- 71) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Journal of Neuroscience and Therapy, Research Route, India
- 72) [Kikuchi Y](#): Editorial Board, Abnormal Psychology and Clinical Psychiatry, Science Open Access, USA

- 73) Kikuchi Y: Editorial Board, Archives of Physical Health and Sports Medicine, Sryahwa Publications, USA
- 74) Kikuchi Y: Editorial Board, Clinical Reviews and Cases, SciVision Publishers, USA
- 75) Kikuchi Y: Editorial Board, Mathews Journal of Psychiatry and Mental Health, Mathews Open Access Journals, USA
- 76) Kikuchi Y: Editorial Board, Neurology, Remedy, USA
- 77) Kikuchi Y: Editorial Board, SciFed Journal of Sports and Medicine, SciFed Publishers, USA
- 78) Kikuchi Y: Editorial Board, Physical Medicine and Rehabilitation Case Reports, Clinical Case Reports International, USA
- 79) Kikuchi Y: Editorial Board, Alzheimer 's Research and Therapy, Medwin Publishers, USA
- 80) Kikuchi Y: Editorial Board, Edelweiss: Psychiatry Open Access, Edelweiss Publications, USA

## 論文

- 1) 安永雅美, 小林法一:フローモデルを応用した作業の提供:作業行動研究, 22:70-80, 2019.01
- 2) 横井安芸, 大嶋伸雄, 小林隆司, 小林法一:高齢者の生活期リハビリテーションに携わる作業療法士に必要なコンピテンシーの抽出:—デルファイ法による内容的妥当性の検討—. 作業療法, 38(3):253-265, 2019
- 3) 石橋裕, 小林法一, 小林隆司, 村井千賀, 長山洋史:訪問型・短期集中予防サービス(サービス C)が有効であった事例. 作業療法, 37(6):690-696, 2018.12
- 4) Masami Yasunaga, Yoshikazu Ishii & Norikazu Kobayashi: Agreement between long-term care users' quality of experience in daycare and providers' perceptions: A cross-sectional study based on the flow model. World Federation of Occupational Therapists Bulletin, 2018.10
- 5) Nagayama Hirofumi, Kobayashi Norikazu, Ishibashi Yu, Kobayashi Ryuji, Murai Chika, Yamauchi Keita: Cost and outcome of occupation-based practice for community dwelling frail elderly: a pilot study. CLINICAL INTERVENTIONS IN AGING, 13:1177-1182, 2018.08

## 著書

- 1) 山田孝, 小林法一, 川又寛徳:65 歳大学: 予防的作業療法への挑戦(第 2 刷). 2, 日本作業行動学会, 2018.04

## 講演・口頭発表等

- 1) 山田優樹, 小林法一:我が国における定年退職期高齢者の就労に関する文献レビュー -2008~2018 年までを対象-. 第 28 回日本保健科学学会, 2018.10.06
- 2) 小林法一:根拠に基づく地域リハビリテーション活動支援事業の進め方. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09.08
- 3) 二村元気, 船越健太, 三浦南海子, 小林法一:通所リハにおける色カルタを用いた取り組み. 日本作業療法学会抄録集, 2018.09
- 4) 石橋裕, 森園子, 小林法一, 小林隆司:家の掃除をあきらめていた事例に対する訪問型サービス C の実践報告. 日本作業療法学会抄録集, 2018.09
- 5) 中村美歌, 小林法一:回復期リハビリテーション病棟に入院中の脳卒中者家族の心理的变化と支援 施設入所の意向から長女宅への退院に至った思い. 日本作業療法学会抄録集, 2018.09
- 6) 本家寿洋, 山田孝, 小林法一, 鈴木渉:高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法の項目反応理論を用いた項目分析. 日本作業療法学会抄録集, 2018.09
- 7) 石代敏拓, 小林法一:わが国で開発された自己効力感尺度に関する文献レビュー 各尺度がテーマとする行動の ICF に基づく分析. 日本作業療法学会抄録集, 2018.09
- 8) 山田孝, 小林法一, 篠原和也, 會田玉美:高齢認知症者に対する作業中心の実験群と機能訓練中心の統制群のランダム化比較試験 予備的研究. 日本作業療法学会抄録集, 2018.09
- 9) 野本潤矢, 石橋裕, 小林法一, 小林隆司:訪問型サービス C により作業遂行能力が改善した事例. 日本作業療法学会抄録集, 2018.09
- 10) 鈴木真, 田村大, 谷村厚子, 小林法一, 内藤泰男:日本作業療法士会 事例報告登録制度における公開事例の分析. 日本作業療法学会抄録集, 2018.09

- 11) 田村大, 鈴木真, 谷村厚子, 小林法一, 内藤泰男:日本作業療法士会 事例報告登録制度 登録事例に基づく報告者の経験年数の分析. 日本作業療法学会抄録集, 2018.09
- 12) 嶋崎寛子, 小林法一, 谷村厚子, 石代敏拓, 川又寛徳:東日本大震災後の被災地域に在住する高齢者の生活課題に対するリハビリテーションプログラムの効果. 日本作業療法学会抄録集, 2018.09
- 13) 野村健太, 平野真弓, 小林法一:住民主体の介護者サロンの立ち上げにおける高齢者生活支援コーディネーターと作業療法士の関わり方の一考察. 日本作業療法学会抄録集, 2018.09
- 14) 小林竜, 小林法一:回復期リハビリテーション病棟退院後の在宅脳卒中者における家事実施状況 予後予測因子の検討. 日本作業療法学会抄録集, 2018.09
- 15) Hirofumi Nagayama, Norikazu Kobayashi, Yu Ishibashi, Ryuji Kobayashi, ChiKa Murai:Effectiveness and efficiency of new preventive intervention service for community dwelling frail older people: pilot study. The 12th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress, 2018.07.08
- 16) Yu Ishibashi, Norikazu Kobayashi, Ryuji Kobayashi, ChiKa Murai, Hirofumi Nagayama, H Ishibashi:The characteristicsof frail elderlies using new type of a short term intensive prevention service C, Japan. The 12th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress, 2018.07.08
- 17) Norikazu Kobayashi, Yu Ishibashi, Ryuji Kobayashi, ChiKa Murai, Hirofumi Nagayama:Results of occupational therapy in a new community support project for frail older people in Japan. The 12th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress, 2018.07.08
- 18) 船越健太, 野本潤矢, 古田憲一郎, 牧利恵, 小林法一:健常高齢者の予防的作業療法を企画するにあたって考えるべき6つのポイント. 第 15 回東京都作業療法学会, 2018.07.01
- 19) 山田優樹, 小林法一:介護老人保健施設における余暇活動の楽しさの性質の探索的研究. 第 15 回東京都作業療法学会, 2018.07.01
- 20) 木村夏実, 小林法一:協業により日中の作業活動に意欲を示し生活に変化をもたらした事例. 第 28 回日本作業行動学会学術集会, 2018.06.16
- 21) 中村美香, 小林法一:病前の役割や習慣に焦点を当てた介入により生活の再構築に至った事例. 第 28 回日本作業行動学会学術集会, 2018.06.16
- 22) 二村元気, 小林法一:人間作業モデルを用いた介入により閉じこもり状態が改善した一例. 第 28 回日本作業行動学会学術集会, 2018.06.16
- 23) 小林法一:訪問型・通所型短期集中事業(サービス C)の効果と事業設計のポイント. 平成 30 年度 区東北部地域リハビリテーションセミナー, 2018.06.13
- 24) 山田孝, 篠原和也, 小林法一, 會田 玉美:認知症高齢者に作業を実施した群と作業を実施しなかった群の比較 コホート研究. 作業行動研究, 2018.06
- 25) 小林法一:集積事例からみた訪問サービス C 事業の利用者像. 平成 30 年度 区東部地域リハビリテーションセミナー, 2018.05.28
- 26) Masami Yasunaga, Norikazu Kobayashi, Keiichiro Saito:Predicting feelings during activities of adult daycare users by service providers ?The balance of challenge and skill of a flow model?. The 17th World Federation of Occupational Therapists Congress, 2018.05.21
- 27) Hiroko Simazaki, Norikazu Kobayashi:Effectiveness of occupational therapy program for elderly residents living in the community after the disaster. The 17th World Federation of Occupational Therapists Congress, 2018.05.21
- 28) 小林法一:Prediction feelings of during activities of adult daycare users by service providers -The balance of challenge and skill of flow model-. 17th World Federation of Occupational Therapists (WFOT) Congress, 2018.05.21

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 石橋裕:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「虚弱高齢者の作業遂行能力改善に特化した施設型集団プログラムの開発」, 2018.04-2019.03
- 2) 小林法一:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「コミュニケーションツールによる認知症の BPSD 低減効果の実証と実践マニュアル開発」, 2018.04-2019.03
- 3) 山田孝:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「認知症高齢者に対する包括的生活支援プログラムの開発と検証:ランダム化比較試験」, 2017.04-2019.03
- 4) ボンジェペイター:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「Development and efficacy of community-based integrated care system interprofessional program for care prevention (kaigo-yobou) based in social-innovation.」, 2016.04-2019.03
- 5) 本家寿洋:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「LAES を使用して高齢障害者が余暇活動を主観的に楽しむプログラムの開発」, 2015.04-2019.03

## 論文

- 1) Seigo Minami, Ryuji Kobayashi: A Qualitative Study on the Practice Structure of Home-Based Occupational Therapy for the Realisation of Daily Living Activities in the Elderly: Promoting Co-Operative Construction of the Life Performance. Asian Journal of Occupational Therapy, 15(1):19-25, 2019.03
- 2) Ippei Yoshida, Kazuki Hirao, Ryuji Kobayashi: Effect of Adjusting the Challenge-Skill Balance for Occupational Therapy in a Recovery Rehabilitation Unit: A Pilot Study. Asian Journal of Occupational Therapy, 15(1):11-18, 2019.03
- 3) 牧利恵, 小林隆司: 就労支援で使用されるアウトカム指標の実態. 東京作業療法, 7():29-34, 2019.02.
- 4) 齋藤みのり, 佐野伸之, 小林隆司: ファンタジー没入によって生活障害を呈する広汎性発達障害男児への支援. 作業療法, 38(1):72-77, 2019.02
- 5) 小林隆司, 伊藤祐子, 牧利恵, 石橋裕: 障害をもつ児童の学童保育への受入状況と作業療法士に対するニーズ～宮城県 2017 年アンケート調査より～. 日本保健科学学会誌, 21(3):136-141, 2018.12
- 6) 宇佐美好洋, 小林隆司: 特別養護老人ホームで作業療法士が介護職と情報共有するための自記式チェックリストの開発. 作業療法, 37(6):627-636, 2018.12
- 7) 長尾宗典, 小林隆司: 脳卒中当事者が介護保険制度下の通所リハビリテーションを終了していくプロセス. 作業療法, 37(6):637-645, 2018.12
- 8) 石橋裕, 小林法一, 小林隆司: 訪問型・短期集中予防サービス(サービス C)が有効であった事例. 作業療法, 37(6):690-696, 2018.12
- 9) Ippei Yoshida, Kazuki Hirao, Ryuji Kobayashi: Effect of adjusting the challenge-skill balance for occupational therapy: Study protocol for a randomised controlled trial. BMJ Open, 8, 2018.12
- 10) 大森大輔, 井村亘, 両部善紀, 狩長弘親, 小林隆司: 通所リハビリテーション利用者の作業療法における生活行為申し送り表の効果 ランダム化比較試験による検討. 作業療法, 37(2):188-196, 2018.04
- 11) 土屋景子, 金山祐里, 小野健一, 小林隆司, 吉村洋輔: 主観的 ADL 尺度に影響する FIM と WHO QOL 26 の因子について. 作業療法, 37(2):121-127, 2018.04

## 著書

- 1) 小林隆司: 身体障害作業療法学2内部疾編. 5, 概論:2019.02
- 2) 小林隆司: 身体障害作業療法学 1 骨関節・神経疾患編. 5, 概論:羊土社, 2019.02
- 3) 安保雅博監修:リハビリテーション医学 (PT・OT ビジュアルテキスト専門基礎). 9, 地域リハビリテーション医療:羊土社, 2018.08
- 4) 小林隆司, 曾田玉美, 小林幸治, 坂本安令, 石澤和絵, 山倉敏之, 寺門貴, 犬木里恵, 三瀬和彦, 峯下隆守, 齋藤里香, 児玉隆典, 梨木勲:臨床作業療法 2018 年 07・08 月号 (新たな臨床実習スタイル! クリニカル・クラークシップ). 2:青海社, 2018.06.19

## Misc

- 1) 小林隆司:【作業療法士の教育-指定規則・指導ガイドラインの改正のポイント】新しいカリキュラムについて. 作業療法ジャーナル, 52(13):1313-1317, 2018.12
- 2) 小林隆司:【新たな臨床実習スタイル!クリニカル・クラークシップ】これからの臨床実習のあり方. 臨床作業療法, 15(3):206-209, 2018.08



## 講演・口頭発表等

- 1) 小林隆司: 作業療法士から見る発達障害. 津山高専企画講演会, 2019.03.08
- 2) Nakamura E, Kobayashi R: Improving occupational therapy student's motivation - analyzing with trajectory equifinality approach -. The 1st Transnational Meeting on TEA, 2019.03.02
- 3) 小林隆司: 作業療法士ってなに?. 西東京市学童クラブ連絡協議会, 2019.02.17
- 4) 小林隆司: 困難を抱える子どもの理解と援助?. 子どもシェルターモモ, ボランティアスタッフ養成講座, 2019.02.08
- 5) 小林隆司: 作業療法士と考える放課後の子どもたちの生活. 板橋第十小学校あいキッズ研修会, 2019.01.30
- 6) 糸山智栄, 小林隆司: 県民局協働事業を活用した放課後児童クラブにおける発達障害児支援の成果と課題～支援員と作業療法士の連携事業を通して～. 第25回岡山県保健福祉学会, 2019.01.21
- 7) 小林隆司: 基本統計. 認定作業療法士取得研修「研究法」, 2019.01.12
- 8) 小林隆司: 臨床実習における学生評価. 臨床実習指導者研修会(中級・上級), 2018.12.15
- 9) 小林隆司: 作業療法士と考える放課後の時間. 板橋区学童保育連絡協議会主催研修会, 2018.10.19
- 10) 小林隆司: 閉じこもり予防について. 第45回国際福祉機器展オーギー技研ブース内セミナー, 2018.10.10
- 11) 小林隆司: 研究倫理. 認定作業療法士取得研修研究法, 2018.10.07
- 12) 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美, 池田由美, 眞正浄光, 小林隆司, 西村ユミ: 急性期医療場面における演劇ワークショップ型多職種連携学習支援プログラムの構築. 第28回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.06
- 13) 新井清美, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 坂井志織, 池田由美, 眞正浄光, 小林隆司, 西村ユミ: 急性期医療場面における演劇ワークショップ型多職種連携学習プログラムの評価. 第28回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.06
- 14) 小林隆司: 日本と世界の作業療法の動向. 東京都作業療法士会現職者共通研修, 2018.10.01
- 15) 小林隆司: 思春期の事例. 地域(子ども)OTスキルアップ講座, 2018.09.22
- 16) 小林隆司: 地域共生社会の実現に向けた展望. 第52回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 17) 小林隆司: 作業行動の現代化? 脱線からの考察. 第52回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 18) Salma Begum, Ryuji Kobayashi: Factors Associated with Activity Limitations in Elderly people: A Systematic Review. 第52回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 19) 中村恵理子, 小林隆司: 作業療法士を目指す学生の学習動機の変化—複線経路等至性アプローチによる分析—. 第52回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 20) 長尾宗典, 小林隆司: 生活行為向上リハビリテーション実施可算対象者の支援プロセス—当通所リハビリテーション利用者2名の質的事例研究—. 第52回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 21) 宇佐美好洋, 小林隆司: 特別養護老人ホームで作業療法士が介護職と情報共有するための自記式チェックリストの開発—項目反応理論による測定精度の検討—. 第52回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 22) 野本潤矢, 石橋裕, 小林法一, 小林隆司: 訪問型サービスCにより作業遂行能力が改善した事例. 第52回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 23) 小林萌花, 小林隆司: ナラティブを重視した介入から, 悲観的なうつ状態の物語の修正に繋がった事例. 第52回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 24) 八重樫貴之, 小林隆司, 伊藤祐子: 作業療法士による学童保育コンサルテーションの事例報告. 第52回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 25) 小林隆司, 鮫島仁史, 伊藤祐子, 石橋裕, 牧利恵: 発達障害をもつ児童の学童保育への受入状況と作業療法士に対するニーズ—宮城県2017年度アンケート調査より—. 第52回日本作業療法学会, 2018.09.07

- 26) 佐々木露葉, 小林隆司, 小内友紀子:尿失禁予防に係る国外の医療・保健サービスの現状についての文献レビュー —作業療法の参画可能性を探る—. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 27) 林田孝明, 南征吾, 青木秀哲, 高村幸太, 小林隆司:生活行為に焦点を当てた慢性重度片麻痺に対する在宅支援:中間報告 —装具型機能的電気刺激装置の NESS H200 を用いて—. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 28) 石橋裕, 森園子, 小林法一, 小林隆司:家の掃除をあきらめていた事例に対する訪問型サービス C の実践報告. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 29) 牧利恵, 小林隆司:職員への間接支援を通して通学への動機づけに変化が見られた自立援助ホームの事例. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 30) 佐野伸之, 齋藤みのり, 小林隆司, 南征吾, 河本聡志:作業療法士のコンサルテーション事業によって得られる学童保育支援員のスキルアップの構造. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 31) 南征吾, 青木秀哲, 高村幸太, 小林隆司, 坂本仁志:慢性重度片麻痺に対して補助的上肢を目途とした機能的電気刺激の効果:中間報告 —生活行為に焦点を当てた訪問作業療法—. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 32) 吉田一平, 平尾一樹, 小林隆司:回復期リハビリテーション病棟における Adjusting the challenge-skill balance for Occupational Therapy(ACS-OT)の効果. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 33) 小林隆司:学童保育と作業療法. 学童保育と作業療法連携セミナー(岩沼市), 2018.08.31
- 34) 小林隆司:知られていない作業療法士のポテンシャル. ばんつこの森主催講演会, 2018.08.19
- 35) Y. Usami, R. Kobayashi:DEVELOPMENT OF A SELF-CHECKLIST FOR OCCUPATIONAL THERAPISTS TO SHARE INFORMATION WITH CARE WORKERS AT SPECIAL ELDERLY NURSING HOMES IN JAPAN. 12th International society of physical & rehabilitation medicine world congress, 2018.07.08
- 36) S. Begum, R. Kobayashi:FACTORS ASSOCIATED WITH ACTIVITY LIMITATIONS IN ELDERLY PEOPLE: A SYSTEMATIC REVIEW. 12th International society of physical & rehabilitation medicine world congress, 2018.07.08
- 37) N. Kobayashi, Y. Ishibashi, R. Kobayashi, C. Murai, H. Nagayama:RESULTS OF OCCUPATIONAL THERAPY IN A NEW COMMUNITY SUPPORT PROJECT FOR FRAIL OLDER PEOPLE IN JAPAN. 12th International society of physical & rehabilitation medicine world congress, 2018.07.08
- 38) H. Nagayama, N. Kobayashi, Y. Ishibashi, R. Kobayashi, C. Murai:EFFECTIVENESS AND EFFICIENCY OF NEW PREVENTIVE INTERVENTION SERVICES FOR COMMUNITY DWELLING FRAIL OLDER PEOPLE: PILOT STUDY. 12th International society of physical & rehabilitation medicine world congress, 2018.07.08
- 39) Y. Ishibashi, N. Kobayashi, R. Kobayashi, C. Murai, H. Nagayama, H. Ishibashi:THE CHARACTERISTICS OF FRAIL ELDERLIES USING NEW TYPE OF A SHORT TERM INTENSIVE PREVENTION SERVICE C, JAPAN. 12th International society of physical & rehabilitation medicine world congress, 2018.07.08
- 40) A. Urano, Y. Ito, Y. Ishibashi, R. Kobayashi:CURRENT SITUATION OF EDUCATIONAL GUIDANCE FOR STUDENTS WITH DEVELOPMENTAL DISORDERS IN ORDINARY CLASS OF JUNIOR HIGH SCHOOL -SURVEY OF DIFFICULTIES OF TEACHERS -. 12th International society of physical & rehabilitation medicine world congress, 2018.07.08
- 41) R. Kobayashi, R. Maki, Y. Ishibashi, Y. Ito:APPROVAL OF STUDENTS WITH DEVELOPMENTAL DISORDERS INTO AN AFTER-SCHOOL CHILDCARE PROGRAM AND OF OCCUPATIONAL THERAPIST SUPPORT SERVICES: THE 2017 MIYAGI PREFECTURE SURVEY. 12th International society of physical & rehabilitation medicine world congress, 2018.07.08

- 42) S. Minami, A. Hideaki, R. Kobayashi, K. Takamura, N. Sano, H. Sakamoto: EFFECTS OF NESS H200 HAND REHABILITATION SYSTEM WITH SUPPLEMENTARY UPPER EXTREMITY SURFACE STIMULATION FOR CHRONIC HEMIPLEGIA : AN INTERIM REPORT (APPROXIMATELY 6 WEEKS). 12th International society of physical & rehabilitation medicine world congress, 2018.07.08
- 43) R. Maki, R. Kobayashi: MOTIVATION-DRIVEN IMPROVEMENT IN SCHOOL ATTENDANCE VIA INDIRECT STAFF SUPPORT. 12th International society of physical & rehabilitation medicine world congress, 2018.07.08
- 44) 牧利恵, 小林隆司: 就労支援で使用するアウトカム指標の傾向～ICF 分類に基づいた分類～. 第 15 回 京都作業療法学会, 2018.07.01
- 45) 小林隆司: 統計手法の選び方. GU 教育カグレードアップ講座, 2018.06.10

#### 競争的資金等の研究課題

- 1) 石橋裕: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究 C)「虚弱高齢者の作業遂行能力改善に特化した施設型集団プログラムの開発」, 2018.04-2022.03
- 2) 井上薫: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究 B)「ランダム化比較試験による認知症等を有する高齢者に対するロボットパロの効果」, 2016.04-2019.03

#### 受賞

- 1) 系山智栄, 小林隆司: 第 25 回岡山県保健福祉学会 社会福祉協議会長賞「県民局協働事業を活用した放課後児童クラブにおける発達障害児支援の成果と課題～支援員と作業療法士の連携事業を通して～」, 2019.01

#### 社会貢献活動

- 1) 小林隆司: 教育部 部員. 14, 2017.04.01-
- 2) 小林隆司: 東京作業療法・査読員. 18, 2016.06.26-2018.06.25

Misc

- 1) 塩路理恵子: 高齢者に対する森田療法の可能性 不安と共に生きてきた人の初老期・老年期における森田療法. 日本森田療法学会雑誌, 29(1):23-27, 2018.04

講演・口頭発表等

- 1) 塩路理恵子: 心気的不安に対する森田療法的アプローチ—各年代の身体症状症・病気不安症の症例を通して—. 第59回日本心身医学会総会, 2018.06

## 論文

- 1) Alve YA, Bontje P: Factors Influencing Participation in Daily Activities by Persons With Spinal Cord Injury: Lessons Learned From an International Scoping Review. Topics in spinal cord injury rehabilitation, 25(1):41-61, 2019
- 2) ボンジェ ペイター: 満ち満ちてゆく日常生活: 作業の力を引き起こす. 作業科学研究, 12(1):2-13, 2018.12
- 3) 安齋哲也, ボンジェ ペイター: 日本の作業療法士および作業科学者が捉える高齢者に対するまちづくり Age-Friendly Cities の概念を用いた文献研究. 作業科学研究, 12(1):66-72, 2018.12

## 著書

- 1) 田村由美, ボンジェ ペイター: 多職種チームでおこなうカンファレンスー退院支援・リハビリテーションの事例. In: 田村由美(編著)新しいチーム医療(改善版). 2, 共同執筆:120-137, 看護の科学, 2018.06

## Misc

- 1) 葉山靖明, ボンジェ ペイター, 加茂永梨佳: オランダの作業療法を観て. 日本作業療法士協会誌, (73): 55-55, 2018.04

## 講演・口頭発表等

- 1) 高木雅之, 其阿弥成子, ボンジェ ペイター: 地域在住高齢者に対する日記を用いた作業マネジメントプログラムの有効性. 第 22 回作業科学セミナー, 2018.12.08
- 2) Alve YA, Bontje P: Occupational participation among Bangladeshi with Spinal Cord Injury transitioning to living in their home after discharge from rehabilitation. 57th ISCoS Annual Scientific Meeting, 2018.09.15
- 3) 丸山祥, ボンジェ, ペイター, 笹田哲, 神保洋平, 赤星和人: 作業療法における professional reasoning の概念分析. 第 52 回日本作業作業療養学会, 2018.09.08
- 4) ボンジェ ペイター, 石橋裕, 堀部恭子, 坂根勇輝, Eric Asaba: 身体障害のある高齢者が日常の作業を再び開始する過程に関する作業療法士の認識ーフォーカスグループを通してー. 第 52 回日本作業作業療養学会, 2018.09.08
- 5) Alve YA, Bontje P: Occupational participation among Bangladeshi with Spinal Cord Injury transitioning to home after discharge from hospital. 第 52 回日本作業作業療養学会, 2018.09.07
- 6) Bontje P (Team mentor): International Health Care Team Challenge. All Together Better Health IX, 2018.09.06
- 7) Bontje P, Jin S, Suyama N, Asaba E: Interprofessional learning in an international context: The unfamiliar as impetus for learning, also about oneself. All Together Better Health IX, 2018.09.05
- 8) Alve YA, Bontje P: Facilitators and constraints to daily activities among persons with spinal cord injury living in the community: Lessons learned for Bangladesh from an international scoping review. WFOT Congress 2018, 2018.05.23
- 9) Sakane Y, Bontje P: The process of establishing mutual understanding between clients and occupational therapists during in-patient rehabilitation.. WFOT Congress 2018, 2018.05.23
- 10) Bontje P, Josephsson S, Tamura Y, Ishibashi Y, Sakane Y, Horibe Y, Asaba E: Co-creating possibilities for resuming occupation emerging from daily life and therapeutic situations: A focus-group study of Japanese occupational therapists' perspectives on supporting older persons with physical impairments. WFOT Congress 2018, 2018.05.22

#### 競争的資金等の研究課題

- 1) 高木雅之:三原市 平成 30 年度三原市生涯活躍のまち推進事業「活動日記を用いた講座と既存の生涯学習講座の効果の比較」, 2018.04-2019.03
- 2) ボンジェ ペイター: 日本学術振興会 基盤研究(C) (一般)「Development and efficacy of community-based intergrated care system interprofessional program for care prevention (kaigo-yobou) based in social-innovation」, 2016.04-2019.03

## 論文

- 1) 石橋裕, 小林法一, 小林隆司, 村井千賀, 長山洋史:訪問型・短期集中予防サービス(サービス C)が有効であった事例. 作業療法, 37(6):690-696, 2018.12

## 著書

- 1) 石橋裕:身体障害作業療法学 2 内部疾患編 (PT・OTビジュアルテキスト). 0, 羊土社, 身体障害作業療法学 2 内部疾患編 (PT・OTビジュアルテキスト). 2018.12.28
- 2) 石橋裕:身体障害作業療法学 1 骨関節・神経疾患編 (PT・OTビジュアルテキスト). 0, 羊土社, 2018.12.28

## Misc

- 1) 福井里美, 石橋裕, 坂井志織, 三浦里織, 西口句子, 星野晴美:がん薬物療法によるしびれを経験している患者の就労と生活作業への影響 作業質問紙による比較. 日本がん看護学会誌, 33(Suppl.):274-274, 2019.01
- 2) 三浦里織, 西口句子, 星野晴美, 坂井志織, 石橋裕, 福井里美:がん薬物療法によるしびれを経験している患者の就労と日常生活作業(その2). 日本がん看護学会誌, 33(Suppl.):274-274, 2019.01
- 3) 古田憲一郎, 石橋裕:回復期病棟における脳卒中クライアントに対する生活行為の可能化に焦点を当てた事例 作業分析に基づくリーズニング. 日本作業療法学会抄録集, 52 回():PA-1C03, 2018.09
- 4) 小林隆司, 鮫島仁史, 伊藤祐子, 石橋裕, 牧利恵:発達障害をもつ児童の学童保育への受入状況と作業療法士に対するニーズ 宮城県 2017 年度アンケート調査より. 日本作業療法学会抄録集, 52 回:PI-1A04, 2018.09
- 5) ポンジェ ペイター, 石橋裕, 堀部恭代, 坂根勇輝, Asaba Eric:身体障害のある高齢者が日常の作業を再び開始する過程に関する作業療法士の認識 フォーカスグループを通して. 日本作業療法学会抄録集, 52 回:PU-2D04, 2018.09
- 6) 池田知美, 伊藤祐子, 石橋裕, 中井昭夫:年長児における協調運動と作業遂行の関連 M-ABC2 と AMPS を用いて. 日本作業療法学会抄録集, 52 回:PI-1A07, 2018.09
- 7) 野本潤矢, 石橋裕, 小林法一, 小林隆司:訪問型サービス C により作業遂行能力が改善した事例. 日本作業療法学会抄録集, 52 回:PN-1A06, 2018.09
- 8) 石橋裕, 森園子, 小林法一, 小林隆司:家の掃除をあきらめていた事例に対する訪問型サービス C の実践報告. 日本作業療法学会抄録集, 52 回:ON-10, 2018.09
- 9) 森園子, 石橋裕, 古田憲一郎:回復期病棟のクライアントに対するものづくりの効果(事例報告). 日本作業療法学会抄録集, 52 回:PA-1C06, 2018.09
- 10) 井上俊輔, 古田憲一郎, 石橋裕:食事支援に対する作業療法の現状 文献研究による傾向と考察. 日本作業療法学会抄録集, 52 回:PU-2E01, 2018.09
- 11) 石橋仁美, 石井良和, 石橋裕, 高田夕美, 猿渡敬志:地域在住高齢者に対する生活と化粧を関連づけた社会参加支援プログラムの効果 ランダム化比較研究. 日本作業療法学会抄録集, 52 回:ON-7, 2018

## 論文

- 1) 岩永竜一郎, 加藤寿宏, 伊藤祐子, 仙石泰仁, 徳永瑛子, 東恩納拓也, 檜川亜衣, 上田茜: 学校版感覚処理アセスメントの因子分析研究. 日本発達系作業療法学会誌, 6(1):1-7-, 2019.03
- 2) 小林隆司, 伊藤祐子, 牧利恵, 石橋裕: 障害をもつ児童の学童保育への受入状況と作業療法士に対するニーズ～宮城県 2017 年アンケート調査より～. 日本保健科学学会誌(Web), 21(3):136-141 (WEB ONLY)-, 2018.12
- 3) 助川文子, 伊藤祐子: 発達障害のある児童の就学移行期における学校適応に関する要因—母親に対する調査より—. 作業療法, 37(6):616-626-, 2018.12
- 4) Y. Ito, K. Tateyama, M. Arikawa, M. Akamatsu, Y. Yamanishi, T. Yamada: Effect of the sensory integration therapy for children with developmental disorders -using the assessment of communication and interaction skills (ACIS). The Journal of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine, 2018.07

## 著書

- 1) 伊藤祐子: OT 隣地実習ルートマップ改訂第2版. 2, メジカルビュー社, 2019.03

## 講演・口頭発表等

- 1) 八重樫貴之, 小林隆司, 伊藤祐子: 学童保育における作業療法士コンサルテーション事業に関する文献研究. 日本発達系作業療法学会第7回学術大会, 2019.03
- 2) Mayumi Arikawa, Yuko Ito, Kiyomi Tateyama, Megumi Akamatsu, Yoko Yamanishi, Takashi Yamada: Effect of the sensory integration therapy for children with developmental disorders; using the Pediatric Volitional Questionnaire (PVQ), WFOT2018, 2018.05
- 3) Asuka Urano, Yuko Ito, Yu Ishibashi, Ryuji Kobayashi: Current Situation of Educational Guidance for Students with Developmental Disorders in Ordinary Class of Junior High School - Survey of Difficulties of Teachers -, ISPRM2018, 2018.07
- 4) 山西葉子, 土田玲子, 新庄玉恵, 伊藤祐子, 立山清美: 発達障害児に対する感覚統合療法の効果指標についての一考察. 日本感覚統合学会第36回学術大会, 2018.11
- 5) 宮崎麻美, 伊藤祐子, 藤本泰成, 宮本礼子: 机の高さの違いが書字動作に与える影響—ペンタブレットを用いた分析—. 日本保健科学学会誌(Web), 2018.10.06
- 6) 浦野飛鳥, 伊藤祐子: 発達障害の特性がある中学生への支援・研究の現状調査. 第28回日本保健科学学会, 2018.10
- 7) 助川文子, 伊藤祐子: 日本における発達障害児に対する学校適応支援を目的とした作業療法の文献研究. 第52回日本作業療法学会, 2018.09
- 8) 浦野飛鳥, 伊藤祐子: Current Situation of Educational Guidance for Students with Developmental Disorders in Ordinary Class of Junior High School - Survey of Difficulties of Teachers -. ISPRM2018, 2018.07
- 9) Supatida Sorasak, Natsuka Suyama, Cahya Buwana, Yuko Ito, Kaoru Inoue: The Possibility of Using Smartphone on Occupations Among Thai Elderly People. 第15回東京都作業療法学会, 2018.07
- 10) Cahya Buwana, Yuko Ito, Kaoru Inoue, Supatida Sorasak: Occupation-Based Treatment for Children with Cancer: A Case study focus on the Environment in Indonesia. 第15回東京都作業療法学会, 2018.07
- 11) 宮本礼子, 伊藤祐子, 藤本泰成, 鶴田浩熙, 井上薫: 非利き手における日本語の運筆パターンの解析—ペンタブレットを用いた基礎的研究—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2018.09



- 12) 池田知美, 伊藤祐子, 石橋裕, 中井昭夫: 年長児における協調運動と作業遂行の関連—M-ABC2とAMPSを用いて—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2018.09
- 13) 八重樫貴之, 小林隆司, 伊藤祐子: 作業療法士による学童保育コンサルテーションの事例報告. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2018.09
- 14) 片岡新, 関口裕昭, 志村みさと, 伊藤祐子: 福祉型児童通所施設の療育相談を利用した児の運動発達の傾向について—事前アンケートの結果より—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2018.09
- 15) 小林隆司, 鮫島仁史, 伊藤祐子, 石橋裕, 牧利恵: 発達障害をもつ児童の学童保育への受入状況と作業療法士に対するニーズ—宮城県 2017 年度アンケート調査より—. 日本作業療法学会抄録集(CD-ROM), 2018.09

#### 競争的資金等の研究課題

- 1) 小野栄一: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「ニーズに基づく障害者のための自立支援機器開発を学ぶ人材育成プログラムの開発」, 2018.04-2020.03
- 2) 岩永竜一郎: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「学校版協調運動検査の作成に関する研究」, (H27~H30)

#### 社会貢献活動

- 1) 伊藤祐子: 国立障害者リハビリテーションセンター主催研究プロジェクト“ニーズアンドアイデアフォーラム”. 3,11,13, 2015.04-

#### 委員歴

- 1) 東京都教育庁指導部 特別支援教育指導課 専門委員(2017.04-)
- 2) 荒川区教育委員会 学校評議員(2017.04-)
- 3) 日本福祉用具・生活支援用具協会平成 30 年度戦略的国際標準化加速事業 認知機能支援機器国際標準分科会委員(2016-)
- 4) 一般社団法人日本作業療法士協会 教育部部員(2013.04-)
- 5) 一般社団法人東京都作業療法士会 理事・子ども委員会(2015.03-)
- 6) 日本発達系作業療法学会 理事(2011.03-)
- 7) 日本感覚統合学会学術局効果研究対策部部長(2010-)

## 論文

- 1) 井上薫, 佐々木千寿, 谷津智代瑞: Quantitative Text Analysis of Literature on Daily Living Challenges. the 12th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM2018), 2018.06

## Misc

- 1) 井上薫:【テクノロジーを理解する】ロボット技術を活用した日常生活支援 生活支援にかかわる人工知能・ロボットとICT時代のリスク管理. 作業療法ジャーナル, 52(6):514-520, 2018.06
- 2) 井上薫:職場の環境・文化の振り返りのすすめ. 作業療法ジャーナル, 52(4):294-295, 2018.04

## 講演・口頭発表等

- 1) Cahya Buwana, Yuko Ito, Kaoru Inoue, Supatida Sorasake: Occupation-Based Treatment for Children with Cancer: A case study focus on the Environment in Indonesia. 第15回東京都作業療法学会抄録集, 2018.07
- 2) 木下忠明, 阿部俊一郎, 筒井優介, 和田一義, 井上薫, 下村芳樹: サービスデザインを支援する意思決定過程分析ツールの開発. 2019年度精密工学会春季大会学術講演会, 2019.03.13
- 3) 湊省吾, 木下忠明, 筒井優介, 三竹祐矢, 和田一義, 井上薫, 下村芳樹: 製品/サービスの改善を支援する価値共創の障壁分析手法. 2019年度精密工学会春季大会学術講演会, 2019.03.13
- 4) 田中桂子, 鈴木 梢, 東有佳里, 鄭陽, 石丸敦子, 高橋里江, 上野史織, 木本奈那, 井上薫:「アザラシ型介護ロボット」が医療現場に介入することの影響. 緩和医療学会, 2019.01
- 5) 岡本健志, 岡田貞実, 井上薫, 山本昇志: 能動的な刺激による生体信号変化と集中具合の関連性評価. 映像情報メディア学会年次大会, 2018.12.21
- 6) 高橋良至, 高木基樹, 井上薫: 独居高齢者のための見まもりロボットに関する提案. 第19回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2018), 2018.12.12
- 7) 高木基樹, 高橋良至, 井上薫: 独居高齢者用見まもりロボットのための会話機能の開発. 情報処理学会 アクセシビリティ研究会, 2018.12.01
- 8) 岡本絵里加, 井上薫: 認知症患者の視点から捉えることができる作業療法士の育成を目指して—パーソンセンタードケアの概念を用いた教育—. 第28回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.06
- 9) 齋藤梨菜, 井上薫: 日常生活動作に対するシーティングの介入に関する文献レビュー. 第28回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.06
- 10) 井上薫, 谷津智代瑞, 佐々木千寿: 東南アジアからの留学生を対象とした災害教育プログラムの設計. 第52回日本作業療法学会, 2018.09.08
- 11) 宮本礼子, 伊藤祐子, 藤本泰成, 鶴田浩熙, 井上薫: 非利き手における日本語の運筆パターンの解析. 第52回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 12) Supatida Sorasak, Natsuka Suyama, Cahya Buwana, Yuko Ito, Kaoru Inoue: The possibility of Using Smartphone on Occupations among Thai Elderly People. 第15回東京都作業療法学会抄録集, 2018.07

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 井上薫: 首都大学東京 学部傾斜配分研究費「平成30年度学部傾斜配分研究費「生活支援におけるロボットの役割」」, 2018.04-2019.03
- 2) 高橋良至, 高木基樹, 井上薫(分担): 荒川区 荒川区地域産業活性化研究補助金「高齢者のための見守りロボットシステムの開発に関する研究」, 2018.04-2019.03

- 3) 井上薫:独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金(B)「ランダム化比較試験による認知症等を有する高齢者に対するロボットパロの効果」, 2016.04-2019.03

#### 社会貢献活動

- 1) 井上薫:J-P-D ネットワーク 世話人, 12,13, 2016.04-
- 2) 井上薫:東京都作業療法士会 福祉用具部会委員, 11,12,13, 2012.04-
- 3) 井上薫:いたばし福祉用具フェア 2018「認知症の方の視点を大切にされたケアと環境づくり」, 10, 2018.10.17-

#### 委員歴

- 1) 一般財団法人 在宅ケア ものこし研究所 経済産業省平成 30 年度工業標準化推進事業委託費 戦略的国際標準化加速事業 産業基盤分野に係る国際標準開発活動「在宅ヘルスケア支援における製品及びサービス等のアクセシビリティ配慮に関する国際標準化」事業 委員会部会委員(2018.04-)
- 2) 日本作業療法士協会 介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会(2018.04-)
- 3) 日本作業療法士協会 日本作業療法学会 学会演題審査委員(2018.04-)
- 4) 荒川区 介護認定審査委員会委員(2017.04-)
- 5) 日本作業療法士協会 2019 年生活行為工夫情報モデル事業事業担当者(2017.04-)
- 6) 日本リハビリテーション工学協会 代議員(2016.04-)

## 著書

- 1) 藺牟田洋美:看護を学ぶ人のための心理学 ヒューマン・ケアを科学する. 9, 第8章 ライフサイクルと心の発達 転換期の中年期,円熟・総括期としての高齢期:弘文堂, 2019.02
- 2) 藺牟田洋美:フレイルのみかた. 0. フレイルを理解する 6. 社会的フレイルとは:中外医学社, 2018.04

## Misc

- 1) 藺牟田洋美:高齢期にライフレビューとTAー閉じこもり高齢者を例にー. JTAAnews, 42(5):4-7, 2019.03
- 2) 藺牟田洋美:大会シンポジウム5 サルコペニア・フレイルの診療ガイドからの展望 4. 社会的フレイルの指標ー研究者は社会的フレイルから何をみているのだろうか. 第5回日本サルコペニア・フレイル学会, 2018.11
- 3) 藺牟田洋美:サルコペニア・フレイルの診療ガイドラインからの展望 社会的フレイルの指標 研究者は社会的フレイルから何をみているのだろうか. Therapeutic Research, 40(1):28-30, 2019.01
- 4) 藺牟田洋美:エイジレス就労の実態から高齢者の〈老い方=生き方〉モデルを考える. 日本生命倫理学会第30回年次大会, 2018.12.08
- 5) 山田拓実, 藺牟田洋美:障がい者や要介護高齢者向けの健康づくり体操「荒川ばん座位体操」の10年間の取り組み. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 77回:431-431, 2018.10
- 6) 山崎幸子, 藺牟田洋美, 藤田幸司:閉じこもり高齢者の外出阻害要因 外出に対する心理的バリアの抽出. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 77回:408-408, 2018.10
- 7) 藺牟田洋美, 山崎幸子, 藤田幸司:閉じこもり高齢者の外出阻害要因 秋田A町の社会環境阻害要因の解明と支援. 日本公衆衛生学会総会抄録集, 77回:408-408, 2018.10

## 講演・口頭発表等

- 1) 藺牟田洋美:チーム力を高めるコミュニケーション術. 荒川区荒川ころばん体操リーダー交流会, 2019.02.22
- 2) 藺牟田洋美:閉じこもり予防の大切さを理解し,支援方法について学ぶ. 横浜市南区訪問支援事業職員研修会, 2019.01.25
- 3) 藺牟田洋美:閉じこもり傾向の高齢者への支援～高齢者の話を聴くことの重要性と効果～. 横浜市西区訪問指導事業研修会, 2018.12.27
- 4) 藺牟田洋美:回想法とは. 傾聴ボランティアダンボの会フォローアップ講座, 2018.11.15
- 5) 藺牟田洋美:地域ぐるみで取り組む高齢者の孤立予防. 横浜市緑区平成30年度フレイル予防講演会, 2018.10.12
- 6) 藺牟田洋美:閉じこもりを予防してイキイキ生活!. 江戸川区介護予防教室, 2018.07.26
- 7) 藺牟田洋美:閉じこもり傾向の高齢者の支援について. 横浜市港南区, 2018.07.12
- 8) 藺牟田洋美:高齢期の心理学～聴くこと,話すことで心を開く. 高齢期にできる社会貢献を考える～. 荒川区コミュニティカレッジ 首都大連携講座, 2018.07.06
- 9) 藺牟田洋美:閉じこもりを予防してイキイキ生活!. 江戸川区介護予防教室, 2018.07.05
- 10) 藺牟田洋美:個性を認め合って楽しい仲間づくりを. 荒川ばん座位体操リーダー育成研修, 2018.06.29
- 11) 藺牟田洋美:リーダーとしてのコミュニケーション術. 荒川ばん座位体操推進リーダー育成研修, 2018.06.22
- 12) 藺牟田洋美:臨床発達支援の専門性に関する種目 成人・高齢者への支援. 2018年度臨床発達心理士指定科目講習会, 2018.06.10

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 藤田幸司:日本学術振興会 科学研究費 基盤研究(C)「高齢期におけるライフイベントのメンタルヘルスおよび外出頻度への影響に関する研究」, 2017.04-2020.03
- 2) 山崎幸子:日本学術振興会 科学研究費「閉じこもりの心理的バリア解消に向けた家族と共に取り組む包括的支援プログラムの開発」, 2016.04-2020.03
- 3) 森下直貴:日本学術振興会 科学研究費 基盤研究(B)特設分野 ネオ・ジェロントロジー「「老成学」の基盤構築－〈媒介的共助〉による持続可能社会をめざして」, 2017.04-2019.03

## 社会貢献活動

- 1) 【学会・資格関係】臨床発達心理士認定運営機構の下部組織 臨床発達心理士会において、資格取得のための研修講師および神奈川支部副支部長を務めた。日本保健科学学会誌の副編集長を担当。日本公衆衛生学会認定専門家(第0232号)としての活動
- 2) 【評議員・査読委員】日本老年社会科学会の評議員・論文賞評価委員・査読委員
- 3) 【自治体における専門職向け研修会講師】横浜市港南区・横浜市緑区・横浜市西区・横浜市南区
- 4) 【荒川区ボランティア組織運営への支援】荒川区社会福祉協議会主催の粋・活サロンの一つであるサロン首都大学の運営をサポート。YomiDr+(読売新聞社)<https://yomidr.yomiuri.co.jp/network/20190207-OYTEW337888/>(2019.2)にサロンでの回想法の取り組みが紹介された。荒川区社会福祉協議会ボランティアサークル:傾聴グループダンボの会の運営に関するアドバイザーや会員向けのフォローアップ講座の講師を担当
- 5) 【自治体の住民・ボランティア・一般企業社員向け講演】荒川ばん座位体操リーダー育成研修・荒川ころばん体操推進リーダー育成研修・荒川区コミュニティカレッジ 首都大連携講座・荒川ころばん体操リーダー交流会・江戸川区介護予防教室・前川製作所社員向け研修担当
- 6) MEG 毎日映画社制作の【記憶の扉】に出演,ニュース映画に対する回想の意義の解説とコンテンツの監修

## 論文

- 1) 馬場順子, 石井良和, 谷村厚子・他: 精神障害者の就労を継続している状態に関する主観的認識について. 職業リハビリテーション, 32 (1):12-22, 2018.09
- 2) 谷村厚子: 様々な施設でのグループ・アプローチ 作業療法におけるループ・アプローチの実際. カウンセリングワールド, 第 5 号:34-36, 2018.04

## 講演・口頭発表等

- 1) 武田将, 谷村厚子: わが国の虚弱・要支援高齢者の「社会参加」に関連する研究の動向-過去 10 年間の文献レビューより-. 第 28 回日本保健科学学会学術集会, 2018.10
- 2) 荒木瑞希, 谷村厚子: 勤労者のメンタルヘルスに影響する作業の意味づけの変化の検討. 第 28 回日本保健科学学会学術集会, 2018.10
- 3) 相原彩香, 谷村厚子: 脳卒中入院患者の退院後生活の認識に関わる要因とその変容プロセスを検討した 1 事例. 第 28 回日本保健科学学会学術集会, 2018.10
- 4) 嶋崎寛子, 小林法一, 谷村厚子・他: 東日本大震災後の被災地域に在住する高齢者の生活課題に対するリハビリテーションプログラムの効果. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09
- 5) 田村大, 鈴木真, 谷村厚子・他: 日本作業療法士協会 事例報告登録制度 登録事例に基づく報告者の経験年数の分析. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09
- 6) 鈴木真, 田村大, 谷村厚子・他: 日本作業療法士協会 事例報告登録制度における公開事例の分析. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09
- 7) 古御門幸奈, 谷村厚子: 精神科デイケア利用者に対する「こころの天気」描画法活用作業療法集団プログラムの検討. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09
- 8) 谷村厚子, 石井良和: 精神保健サービス利用者を対象とした 5 件法ワークライフバランス尺度の因子妥当性の検討. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09
- 9) 一般社団法人東京都作業療法学会学術部: 東京都作業療法学会会員の研究に関する意識調査報告. 第 15 回東京都作業療法学会, 2018.07
- 10) 荒木瑞希, 谷村厚子: メンタルヘルス領域における一次予防の取り組みの検討～作業療法の立場から～. 第 15 回東京都作業療法学会, 2018.07
- 11) 古御門幸奈, 谷村厚子: 参加者個人に対する「こころの天気」描画法活用作業療法集団プログラムの影響～プログラム参加経過と作業有能性の変化に着目して～. 第 28 回日本作業行動学会学術集会, 2018.06
- 12) SHIMAZAKI Hiroko, KOBAYASHI Norikazu, TANIMURA Atsuko, et al.: Effectiveness of occupational therapy program for elderly residents in the reconstructing community after the disaster. World Federation of Occupational Therapists Congress 2018, 2018.05

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 谷村厚子: 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)(一般)))「精神障害をもつ当事者対象ワークライフバランス向上プログラム効果評価システムの構築」, 2015.04-2019.03

## 著書

- 1) 橋本美芽, 八藤後 猛: 改訂 5 版福祉住環境コーディネーター検定試 2 級公式テキスト. 2, 第 5 章第 2 節生活行為別福祉住環境整備の手法: 東京商工会議所, 2019.01
- 2) 橋本美芽: 介護保険における住宅改修実務解説. 2, 公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理センター, 2018.06
- 3) 橋本美芽, 渡邊 英和: 増改築相談員テキスト一般知識編 2 バリアフリーリフォーム. 1, 49-95: 公益社団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター, 2018.06
- 4) 橋本美芽: ヘルス・グラフィックマガジン. 1, 転倒予防: ヘルスグラフィックマガジン, 2018.04

## Misc

- 1) 橋本美芽: 転倒予防と認知症の住まいを考える. コミュニケーションレポート, (231):26-40, 2019.03
- 2) 橋本美芽: 特別企画・住宅改修 その前に住まいの点検をしよう. 月刊ケアマネジメント, 30(2):4-9, 2019.02
- 3) 橋本美芽: 特集: 家族でロコモ対策—転倒予防—. ヘルス・グラフィックマガジン春号, 2018.05

## 講演・口頭発表等

- 1) 橋本美芽: 転倒予防と認知症の住まいを考える. 住宅産業研修財団第 231 回コミュニケーションプラザ, 2018.11.22
- 2) 橋本美芽: 認知症の方の住環境整備. 東京建築士会, 2018.11.17
- 3) 橋本美芽: いつまでも住み慣れたわが家で暮らす. 武蔵野市住まいと排泄の講演会, 2018.10.19
- 4) 橋本美芽: 住宅改修から考える安全な住まい—転倒予防と認知症への配慮—. 武蔵野市介護保険住宅改修施工者研修会, 2018.10.19
- 5) 橋本美芽: 住宅改修・福祉用具購入について—住環境と用具の適合を考える—. 北区住宅改修事業者研修会, 2018.10.18
- 6) 橋本美芽: 住宅改修方法の基礎知識. 第 45 回国際福祉機器展, 2018.10.10
- 7) 太田智之, 橋本美芽: 作業療法士は高齢者の健康に対しどのような作業と環境との検討をしているのか. 第 28 回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.06
- 8) 橋本美芽: 団地における転倒予防・介護環境づくりと認知症. 団地再生支援協会団地再生テクニカル講座, 2018.09.14
- 9) 澤田有希, 橋本美芽: 作業療法士は高齢者の健康に対しどのような作業と環境との検討をしているのか—臨床での試用と完成版—. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09.08
- 10) 太田智之, 橋本美芽: 住環境整備支援と居住継続状況との関係—自宅退院後の住環境に対する認識, 移動行動, ADL との関係—. 第 52 回日本作業療法学会, 2018.09.07
- 11) 鈴木基恵, 橋本美芽: 認知症高齢者の居住環境における困難とその対応その 2 トイレ以外での排便に関する困りごと. 2018 年度日本建築学会大会(東北), 2018.09.05
- 12) 橋本美芽, 鈴木基恵: 認知症高齢者の居住環境における困難とその対応その 1 居室における困りごとと BPSD の概要. 2018 年度日本建築学会大会(東北), 2018.09.05
- 13) 鈴木基恵, 橋本美芽, 成田すみれ: 認知症高齢者を対象とした介護保険制度の住宅改修と福祉用具に対する要望—福祉用具専門相談員へのアンケート調査から—. 第 33 回リハ工学カンファレンス, 2018.08.30

- 14) 橋本美芽,鈴木基恵,成田すみれ:認知症高齢者の住まいにおける困りごとと住環境その1,一居室を中心とした生活空間における困りごとの概要―. 日本福祉のまちづくり学会第21回全国大会(in関西), 2018.08.10
- 15) 橋本美芽:住宅改修を行う際の基本的考え方. 板橋区高齢者向け住宅改修関連事業者研修, 2018.06.20
- 16) 橋本美芽,鈴木 基恵:在宅認知症高齢者の日常生活における困りごとと住環境の関わりについて. 第19回日本認知症ケア学会大会, 2018.06.17
- 17) 橋本美芽:自立支援につながる住宅改修. 小平市ケアプラン研修, 2018.06.12
- 18) 橋本美芽:高齢者・障害者向け住環境整備の実際. 福祉用具相談センター住宅改修研修会, 2018.06.02
- 19) 橋本美芽:はじめての住宅改修. 国際福祉機器展2018 特別セミナー, 2018.10.10

## 委員歴

- 1) 船橋市 都市計画審議会委員(2018.04-)
- 2) 千代田区 都市計画マスタープラン改訂改訂検討委員会委員(2018.04-)
- 3) 国土交通省 高齢者の住宅の設計・改修に関するガイドライン検討会委員(2017.11-)
- 4) 横浜市福祉局 横浜市福祉のまちづくり推進会議専門委員会副委員長(2017.09-)
- 5) 荒川区尾久図書館 設計アドバイザー(2017.04-)
- 6) 日本生活支援工学会 理事(2016.04)
- 7) 日本建築学会建築計画委員会高齢者・障がい者等居住小委員会 委員(2015.04-)
- 8) 荒川区バリアフリー基本構想推進協議会 委員長(2015.03-)
- 9) 横浜市建築局 横浜市都市計画審議会委員(2014.11-)
- 10) 日本認知症ケア学会 関東2地域部会委員(2014.06-)
- 11) 一般社団法人シルバーサービス振興会 介護保険における住宅改修の工程管理認定制度基準認定委員会(2013.10-)
- 12) 日本リハビリテーション工学協会 代議員(2013.08-)
- 13) 日本リハビリテーション工学協会 SIG 住まいづくり 代表(2008.08-)
- 14) 横浜市福祉局 横浜市福祉のまちづくり推進会議委員(2006.04-)



## 論文

- 1) 山口亮祐, 宮本礼子: 他者の表情観察を通じた認知的共感と情動的共感の神経基盤—成人女性を対象として. 臨床神経生理学, 46(6):567-577, 2019.03
- 2) 北村新, 宮本礼子: 脳卒中片麻痺者が生活のなかで麻痺手の使用・不使用にいたる過程. 学術誌 作業療法, 38(1):45-53, 2019.02
- 3) 北村新, 宮本礼子: 日本の作業療法研究におけるグラウンデッド・セオリー・アプローチの用いられ方とその課題. 学術誌作業療法, 37(4):392-402, 2018.08

## 著書

- 1) 廣實真弓, 曾根大地, 相馬有里, 植田恵, 藤川真由, 本多留美, 目黒文, 大江悠樹, 高橋真知子, 宮本礼子: ワークブックで実践する脳損傷リハビリテーション. 4, 脳損傷者の家族と協同する: 医歯薬出版, 2018

## 講演・口頭発表等

- 1) 宮本礼子, 妹尾淳史: 日常的意思決定時の自己省察に関連する神経基盤. 第21回日本ヒト脳機能マッピング学会, 2019.03.15
- 2) 宮本礼子: OT支援に使える脳画像の診方. 東京都リハビリテーション病院研修会, 2019.03.01
- 3) 宮本礼子: 地域リハに脳科学の知見はどのように応用できるか?. 2018年度高次脳機能障害実践的アプローチ講習会, 2018.12.09
- 4) 宮本礼子, 伊藤祐子, 藤本泰成, 鶴田浩熙, 井上薫: 非利き手における日本語の運筆パターンの解析—ペンタブレットを用いた基礎的研究—. 第52回日本作業療法学会, 2018.09.08
- 5) 宮本礼子, 来栖好咲: The effect of anticipation of an ongoing connection with others on brain activity of neural face recognition.. 12th World Congress of the International Society of Physical and rehabilitation Medicine, 2018.07.09
- 6) 宮本礼子, 妹尾淳史: Relevance of metacognition and brain activity to decision-making tasks related to self-reflection.. 12th World Congress of the International Society of Physical and rehabilitation Medicine, 2018.07.09

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 宮本礼子: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤 C)「他者との関係継続の予期が顔認知に及ぼす影響—fMRIを用いた基礎的検討—」, 2018.04-2021.03
- 2) ボンジェ ペイター: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤 C)「Development and efficacy of community-based integrated care system interprofessional program for care prevention (kaigo-yobou) based in social-innovation.」, 2016.04-2020.03

## 社会貢献活動

- 1) 宮本礼子: 日本作業療法学会 学会演題査読委員. 18, 2014.12.01-
- 2) 宮本礼子: 日本保健科学学会誌 査読委員. 18, 2014.12-
- 3) 宮本礼子: 東京都作業療法士会 学術誌「東京作業療法」査読委員. 18, 2013.02.01-
- 4) 宮本礼子: 東京都作業療法士会 学会演題査読委員. 18, 2012.06.10-
- 5) 宮本礼子: 東京都総合高次脳機能障害研究会 幹事. 14, 18, 2017.04.07-

## 委員歴

- 1) 東京都総合高次脳機能障害研究会 幹事(2017.04-)
- 2) 日本保健科学学会誌 査読委員(2014.12-)
- 3) 日本作業療法士協会 学会演題査読委員(2014.12-)
- 4) 東京都作業療法士会 学術誌「東京作業療法」査読委員(2014.07-)
- 5) 東京都作業療法士会 学会演題査読委員(2012.06-)
- 6) 日本保健科学学会 学会運営委員(2012.04-)

# 放 射 線 学 科

## 講演・口頭発表等

- 1) 高田桂介,根岸徹,小倉泉: Digital Breast Tomosynthesis に対応した平均乳腺線量計算シートの作成. 日本放射線技術学会関東・東京支部合同研究発表会, 2018.12.15
- 2) 丸祐亮,根岸徹,小倉泉: 携帯形歯科口内法用 X 線装置の特性解析. 日本放射線技術学会関東・東京支部合同研究発表会, 2018.12.15
- 3) 日高未菜,根岸徹,小倉泉: マンモグラフィにおける半価層測定の精度向上に関する検討-アルミニウム板加工による取り扱いの簡便化-. 日本放射線技術学会関東・東京支部合同研究発表会, 2018.12.15
- 4) 根岸徹,小倉泉: 携帯形歯科口内法用 X 線装置に対応した簡易形 X 線測定器の開発. 日本放射線技術学会第 46 回秋季学術大会, 2018.10.06
- 5) 丸祐亮,根岸徹,小倉泉: 携帯形歯科口内法用 X 線装置の特性解析. 日本放射線技術学会第 46 回秋季学術大会, 2018.10.06
- 6) 齋藤祐樹,小倉泉,根岸徹: 乳房用撮影装置における地域連携型品質管理プログラムの開発. 日本放射線技術学会第 46 回秋季学術大会, 2018.10.05
- 7) 小倉泉: 第 7 回 簡易線量計作成セミナー. 第 7 回 簡易線量計作成セミナー(徳島大学), 2018.09.22
- 8) 小倉泉: 第 6 回 簡易線量計作成セミナー. 第 6 回 簡易線量計作成セミナー(京都医療科学大学), 2018.09.15
- 9) 吉澤佑華,小倉泉: 乳房用簡易形線量計による半価層測定の精度に関する検討. 日本放射線技術学会東京支部第 72 回春期学術大会, 2018.05.19
- 10) 齋藤真由,小倉泉: 乳房用簡易形線量計における管電圧特性に関する検討. 日本放射線技術学会東京支部第 72 回春期学術大会, 2018.05.19
- 11) KOBAYASHI Tsuyoshi,FUKUSHI Shoya,OGURA Izumi: Weekly Dose Control of General X-ray Imaging and Mammographic Equipment by Simple Dosimeter Using Photodiode. , 2018.04.12

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 小倉泉: 首都大学東京傾斜的研究費「東京都多摩地区の公立病院を中心とした乳房用 X 線撮影装置の品質管理システムの構築」, 2018.05-2019.03

## Misc

- 1) 関本道治, 根岸徹, 丸裕亮, 佐々木政彦, 加藤洋: 非鉛製放射線遮へい材を用いた減弱特性評価の幾何学的条件が及ぼす鉛当量の違い. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 75回 310-310, 2019.03
- 2) 菅野一総, 西航平, 関本道治, 丸裕亮, 加藤洋, 根岸徹, 澤田歩海: 凝固点差を利用したトリチウム濃縮. 日本放射線技術学会雑誌, 74(9):1066-1067(J-STAGE)-1067, 2018.09
- 3) 辻本峻二, 関本道治, 根本道子, 澤田歩美, 根岸徹, 加藤洋: マンモグラフィにおける被検者体表面の散乱線の評価. 日本放射線技術学会雑誌, 74(9):1021(J-STAGE)-1021, 2018.09
- 4) 根岸徹, 小倉泉, 加藤洋, 丸裕亮: 携帯形歯科口内法用 X 線装置に対応した簡易形 X 線測定器の開発. 日本放射線技術学会雑誌, 74(9):1061(J-STAGE)-1061, 2018.09

## 委員歴

- 1) 厚生労働省 診療放射線技師国家試験委員(2015.09-)
- 2) 日本放射線技術学会 学術委員会(2015.05-)

## 論文

- 1) T Shoji, A Tachibana, S Higuchi, N Nakamura, D Hayashi, Y Kato: Development of Radiation Dose Calculation Software Using the Size-Specific Dose Estimate, Radiation Protection Dosimetry, Vol. 182, Issue 3, December 2018, pp. 359-369.
- 2) K Nishi, M Sekimoto, T Negishi, Y Kato, A Nakashima: Fundamental Studies on the Enrichment of  $^3\text{H}$  in Water Using Freezing and Melting Point Difference of  $\text{H}_2\text{O}$  and  $\text{T}_2\text{O}$ , International Journal of Advanced Research, 6(7), 507-512, 2018.
- 3) H Akiba, M Sekimoto, Y Kato, M Nemoto, K Nishi, A Okumura: Possibility of Measurement of X-ray Output from a Mammographic X-ray Apparatus Use of Scattered Radiation, International Journal of Advanced Research, 6(12), 209-303, 2018.

## 論文

- 1) Tani K, Fujita Y, Wakita A, Miyasaka R, Uehara R, Kodama T, Suzuki Y, Aikawa A, Mizuno N, Kawamori J, Saitoh H: (Density scaling of phantom materials for a 3D dose verification system.):Density scaling of phantom materials for a 3D dose verification system.-Density scaling of phantom materials for a 3D dose verification system., Density scaling of phantom materials for a 3D dose verification system.

## 著書

- 1) 鬼塚昌彦, 椎山謙一, 阿部慎司, 長谷川智之, 澤田晃, 齋藤秀敏, 伊達広行, 土橋卓, 田中浩基:放射線物理学. 共立出版, 2019

## 講演・口頭発表等

- 1) 大田朝宏, 松藤成弘, 齋藤秀敏:炭素線ミニビームの線量分布に関する基礎的研究. 第116回日本医学物理学学会学術大会, 2018.09
- 2) 岩村航平, 齋藤秀敏, 片寄哲朗, 宮阪遼平, 大野祐亮, 高瀬正, 隅真一郎, 秋山真之, 佐藤久弥, 加藤京一:125I 永久挿入法における線源間の散乱および吸収が線量分布に与える影響. 第116回日本医学物理学学会学術大会, 2018.09
- 3) 江面崇智, 羽生裕二, 齋藤秀敏, 唐澤久美子, 明上山温:Kinectを使用した顔認証における3次元特徴点座標の解析. 第116回日本医学物理学学会学術大会, 2018.09
- 4) 宮阪遼平, 齋藤秀敏, 河内徹, 片寄哲朗, 翔永, 齋藤真, 原竜介:EPIDを用いたガンリ角度の品質保証方法の提案. 116回日本医学物理学学会学術大会, 2018.09
- 5) 若森彩月, 水野秀之, 齋藤秀敏, 張維珊:郵送調査のためのリニアックの電子線出力における蛍光ガラス線量計の特性評価. 第115回日本医学物理学学会学術大会, 2018.04

## 論文

- 1) Shuzo Kanasaki, Akira Furukawa, Kanako Fumoto, Yasuyo Hamanaka, Shinichi Ota, Tomohiro Hirose, Akitoshi Inoue, Takako Shirakawa, Linh Dai Hung Nguyen, Syerikjan Tulyeubai. Acute Mesenteric Ischemia: Multidetector CT Findings and Endovascular Management. RadioGraphics 38(3) 945-961,2018
- 2) Chiaki Taniguchi, Tomoyuki Ohta, Mari Inoue, Megumi Hirano, Makiko Nishioka, Norio Nakata, Hiroya Ojiri, Takako Shirakawa.:Four cases of mimic breast cancer as the location of a penetrating artery, Choonpa Igaku 45(6)DOI: 10.3179/jjmu.JMJU.A.119, 2018.09

## Misc

- 1) 古川 顕,井上明星,白川崇子:腹部【急性腹症:診断の進め方】腸閉塞臨床画像.34(10) 164-165,2018
- 2) 白川崇子:ウルトラサウンドクイズ「基礎・体表」リンパ節,乳腺甲状腺超音波医学. 8(1), 34-36,2019

## 講演・口頭発表

- 1) 曾我部和美,白川崇子他:MRI 画像を使用した各種霊長類脳の構造比較」日本放射線技術学会第 74 回総会学術大会(横浜), 2018.04.12
- 2) 白川崇子,古川 顕:「皮膚・皮下疾患の血流分布と走行の特徴:炎症性病変と腫瘍性病変の相違」(神戸), 2018.06.09
- 3) 都築克仁,白川崇子他:「7.0T MRI を用いたラットの Ejection Fraction の心拍数依存性」第 91 回日本超音波医学会総会(金沢),2018.06.09
- 4) 飯田真由,白川崇子他:「非ヒト霊長類脳発達における NODDI 解析」.第 46 回日本磁気共鳴医学会大会(JSMRM2018)(金沢),2018.09
- 5) 春山拓也,白川崇子他:「Reliability of 3D Synthetic MRI Evaluated Using ISMRM/NIST Phantom」第 46 回日本磁気共鳴医学会大会(JSMRM2018)(金沢), 2018.09
- 6) Takako Shirakawa.:Sonographic diagnosis of superficial lymphadenopathy.Academic Session at DDR (department of diagnostic radiology) in Khoo Teck Puat Hospital(シンガポール), 2018.09.10
- 7) 関根紀夫,白川崇子他:「高次脳活動中の高濃度酸素吸入による脳血流量変化:NIRS によるデータ収集」第 28 回保健医療学会(東京), 2018.10.06
- 8) 白川崇子他:「皮下病変の超音波カラー・パワードブラによる血流方向・走行の特徴」第 41 回日本乳腺甲状腺超音波医学会(大阪), 2018.10.08
- 9) 加納瑠為,白川崇子他:「4種的美顔器使用前後の超音波による血流と硬度評価」第7回加齢画像研究会(東京), 2018.10.13
- 10) 白川崇子:「救急の腹部超音波検査」救急画像診断,那覇市民病院(沖縄), 2018.12.15
- 11) 白川崇子他:「雪崩死亡例における肝実質濃度低下に関する追加実験」第 55 回日本腹部救急医学会総会(仙台), 2019.03.07
- 12) Takako Shirakawa:「Sonographic diagnosis in acute abdomen and others(ホーチミン,ベトナム), 2019.3.22

## 論文

- 1) Ueda R, Yamada N, Abo M, Senoo A: Correlation analysis of motor function improvement and brain structure for upper limb paralysis. Neuroreport, 30(2):77-81, 2019.01
- 2) 櫻井瑞紀, 櫻井瑞紀, 新田收, 松田雅弘, 妹尾淳史: 非特異的腰痛者におけるサイドブリッジ時の体幹深部筋疲労解析. 理学療法学, 45(3):158-165(J-STAGE), 2018.06
- 3) Suzuki M, Senoo A, Niitsu M: Development of a Surface Marker for Fractional Anisotropy Maps Using Wood in a Phantom Study. Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine, 18(1):70-74, 2018.06
- 4) Sho Mitomo, Hideyuki Usa, Masafumi Hata, Daisuke Ogawa, Atsushi Senoo, Hitoshi Takei: Sequential Changes in Activity of Hip Abductors Seen on Muscle Functional Magnetic Resonance Imaging after Hip Abduction Exercises. Bone and Muscle, 2018.04

## Misc

- 1) 宮本礼子, 妹尾淳史: 日常的意思決定時の自己省察に関連する神経基盤. 第21回日本ヒト脳機能マッピング学会抄録集, 91, 2019.03
- 2) 若山季樹, 若山季樹, 井田正博, 小野寺聡之, 妹尾淳史, 田部井照美: MRIにおけるSWI撮像により得られた画像を利用したQSMの臨床的有用性に関する検討. 医療情報学連合大会プログラム・抄録集, 38th:271-393, 2018.11.22
- 3) 青木秀哲, 新田收, 山田拓実, 妹尾淳史, 米本恭三, 田島文博: L300を用いたトレーニングによるワクチンポリオ患者の歩容の変化と脳活性化の評価. フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団研究助成・事業助成報告書, 28th:167-183, 2018.11.20
- 4) 若山季樹, 井田正博, 日野圭子, 小野寺聡之, 植田貴司, 杉山正, 片岡道俊, 大橋健也, 田部井照美, 妹尾淳史: MRIにおけるSWI法で得られる画像を用いたQSM(Quantitative Susceptibility Mapping)の有用性に関する検討. 東京都福祉保健医療学会抄録, 14回:178-179, 2018.11
- 5) 若山季樹, 若山季樹, 井田正博, 小野寺聡之, 妹尾淳史, 田部井照美: MRIにおけるSWI撮像により得られた画像を利用したQSMの臨床的有用性に関する検討. 医療情報学連合大会論文集(CD-ROM), 38th:392-393-, 2018.11
- 6) 齋藤颯太, 妹尾淳史, 水口暢章, 須藤みず紀, 大河原一憲, 安藤創一: 一過性運動による認知課題中の機能的結合の変化. 第73回体力医学会大会抄録, 2018.09
- 7) Masashi Suzuki, Junihci Hata, Atsushi Tachibana, Mamoru Niitsu, Atsushi Senoo: 産地の異なる木材比較でわかる拡散異方性材料としても木材がもつ再現性. 第46回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 38(Supplement):327, 2018.09
- 8) Toshiki Wakayama, Keiko Hino, Masahiro Ida, Toshiyuki Onodera, Takashi Ueda, Tadashi Sugiyama, Michitoshi Kataoka, Kenya Oohashi, Atsushi Senoo, Terumi Tabei: 骨盤内女性臓器疾患におけるQSMの有用性に関する検討. 第46回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 38(Supplement):318, 2018.09
- 9) Mana Kuramochi, Ryo Ueda, Masahiro Abo, Atsushi Senoo: 脳卒中後上肢麻痺患者のNEURO介入前後におけるFunctional Connectivity解析. 第46回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 38(Supplement):250, 2018.09



- 10) Ryo Ueda, Masaaki Hori, Keigo Shimoji, Shigeki Aoki, Atsushi Senoo: AMICO NODDI と Original NODDI の比較研究 : multi-shell dMRI を用いた検討. 第46回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 38(Supplement):239, 2018.09
- 11) Masashi Suzuki, Junichi Hata, Atsushi Tachibana, Mamoru Niitsu, Atsushi Senoo: 木材とツヌーガ®は拡散尖度解析用の拡散異方性ファントムとなりうるか?. 第46回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 38(Supplement):160, 2018.09
- 12) 若山季樹, 井田正博, 小野寺聡之, 植田貴司, 片岡道俊, 大橋健也, 妹尾淳史, 田部井照美: 脳血管に生じた血栓・ブランクにおける QSM の有用性に関する検討. 日本放射線技術学会雑誌, 74(9):1013(J-STAGE)-1013, 2018.09
- 13) Wann Arachchige Pradeepa Ruwan, Atsushi Senoo, Wataru Uchida, Yuya Saito, Hiroyoshi Hara : OPTIMIZATION OF FIBRETRACKING PARAMETERS IN THE CONNETOME MAPPER FOR ANALYSIS OF BRAIN STRUCTURAL CONNECTIVITY. 第46回日本磁気共鳴医学会大会抄録集, 38(Supplement):160-160, 2018.09

#### 競争的資金等の研究課題

- 1) 川島友和: 文部科学省 科学研究費基金(基盤研究(C))「術後伝導障害回避のための臨床解剖学的基盤構築と3Dシミュレーションモデルの作製」, 2016.04-2020.03
- 2) 妹尾淳史: 文部科学省 科学研究費基金(基盤研究(C))「木材を利用した MRI 拡散テンソル解析用定量評価ファントムの開発」, 2016.04-2019.03

## 論文

- 1) Moriyama H, Daino K, Imaoka T, Nishimura M, Nishimura Y, Takabatake M, Morioka T, Fukushi M, Shimada Y, Kakinuma S: Neutron-induced Rat Mammary Carcinomas Are Mainly of Luminal Subtype and Have Multiple Copy Number Aberrations. Anticancer research, 39(3):1135-1142, 2019.03
- 2) S. Somboon, S. Somboon, N. Kavasi, S. K. Sahoo, K. Inoue, H. Arae, H. Tsuruoka, H. Shimizu, M. Fukushi: Radiocesium and <sup>40</sup>K distribution of river sediments and floodplain deposits in the Fukushima exclusion zone. Journal of Environmental Radioactivity, 195:40-53, 2018.12.01
- 3) Inoue K, Shimizu H, Tsuruoka H, Veerasamy N, Somboon S, Nozawa H, Fukushi M: IMPACT ON ABSORBED DOSE RATE IN AIR IN THE IZU ISLANDS FROM LONG HALF-LIFE RADIONUCLIDES RELEASED BY THE FUKUSHIMA DAIICHI NUCLEAR POWER PLANT ACCIDENT. Radiation protection dosimetry, 182(3):335-344, 2018.12
- 4) Watanabe Takara, Kano Daisuke, Enomoto Ryoji, Muraishi Hiroshi, Wakamatsu Ryo, Katagiri Hideaki, Kagaya Mika, Kondo Ryotaro, Fukushi Masahiro, Hosokawa Syota, Takeda Tohoru, Tanaka Manobu M., Uchida Tomohisa, Nakagami Yoshihiro: Remote measurement of urinary radioactivity in F-18-FDG PET patients using Compton camera for accuracy evaluation of standardized uptake value. BIOMEDICAL PHYSICS & ENGINEERING EXPRESS, 4(6), 2018.11
- 5) Sakano Y, Shitara H, Tsuruoka H, Inoue K, Fukushi M: Proper imaging dose determination by noise simulation using a computed tomography colonography phantom. Japanese Journal of Education for Radiological Technology, 6(1):7-12, 2018.09
- 6) Takabatake M, Daino K, Imaoka T, Blyth BJ, Kokubo T, Nishimura Y, Showler K, Hosoki A, Moriyama H, Nishimura M, Kakinuma S, Fukushi M, Shimada Y: Differential effect of parity on rat mammary carcinogenesis after pre- or post-pubertal exposure to radiation. Scientific reports, 8(1):14325-, 2018.09
- 7) Sakano Y, Tsuruoka H, Inoue K, Sakama M, Fukushi M: Investigation of gadolinium concentration in wastewater in Tokyo Metropolis. Japanese Journal of Education for Radiological Technology, 6(1):1-6, 2018.09
- 8) Tachibana A, Tachibana Y, Kershaw J, Sano H, Fukushi M, Obata T: Comparison of Glass Capillary Plates and Polyethylene Fiber Bundles as Phantoms to Assess the Quality of Diffusion Tensor Imaging. Magnetic resonance in medical sciences: MRMS: an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine, 17(3):251-258, 2018.07
- 9) Owaki Y, Nakahara T, Shimizu T, Smith AM, Luk WK, Inoue K, Fukushi M, Nakajima K: Effects of breathing motion on PET acquisitions: step and shoot versus continuous bed motion. Nuclear medicine communications, 39(7):665-671, 2018.07
- 10) Le TV, Inoue K, Tsuruoka H, Fujisawa M, Arai M, Nguyen LDH, Somboon S, Fukushi M: EFFECTIVE DOSE DUE TO TERRESTRIAL GAMMA RADIATION ESTIMATED IN SOUTHERN VIETNAM BY CAR-BORNE SURVEY TECHNIQUE. Radiation protection dosimetry, 179(1):18-25, 2018.04

## 著書

- 1) 放射線物理学 (診療放射線技師スリム・ベーシック). 5, メジカルビュー社, 2018.09.28
- 2) 放射線計測学 (診療放射線技師スリム・ベーシック). 5, メジカルビュー社, 2018.09.24

- 1) 津田啓介, 福士政広:米国の核医学分野における医学物理士と日本の現状との比較. 医学物理, 38(2): 74-78, 2018.10.31
- 2) 細川翔太, 細川翔太, 井上一雅, 高橋康幸, 加納大輔, 中神佳宏, 中神佳宏, 福士政広:PET 画像における顕著性を用いた視覚的画質評価の定量化. 核医学技術, 38:413-, 2018.10.04
- 3) 三本拓也, 宇野公一, 入江美幸, Wu Jin, 笹森寛人, 土屋慶宙, 秋葉雄樹, 中島玉実, 馬場紀行, 井上一雅, 福士政広, 藤井智彦, 岸本成史, 菅野巖:リング型乳房専用 PET 装置の基礎評価と臨床経験(The Potential of Dedicated Breast PET with a Ring-type Scanner: Basic Evaluation and Clinical Experience). Radioisotopes, 67(7): 309-319, 2018.07
- 4) 徳田明日香, 井上一雅, 福士政広:奥尻島における空間線量率調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (133):27-, 2018.04.30
- 5) 西河泰斗, 市村賢, 井上一雅, 福士政広:東京都東部地域における多摩川水系のガドリニウム濃度調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (133):28-29, 2018.04.30
- 6) 柴田友子, 井上一雅, 福士政広:土壌中の放射性セシウム濃度深度分布調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (133):28-, 2018.04.30

## 講演・口頭発表等

- 1) 横溝真哉, 森岡孝満, 西村まゆみ, 西村由希子, 鶴岡千鶴, 尚奕, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子, 島田義也:放射線誘発アポトーシスに対する環境エンリッチメントの修飾効果. がんプロ大学院生研究発表会, 東京大学がんプロフェッショナル養成プラン, 2019.02
- 2) 森山ひとみ, 臺野和広, 今岡達彦, 高畠賢, 森岡孝満, 石川敦子, 西村由希子, 福士政広, 島田義也, 柿沼志津子:全エクソソーム解析による 137Cs  $\gamma$  線誘発ラット乳がんのゲノム変異探索. 若手放射線生物学研究会・日本保健物理学会若手研究会 合同勉強会, 2018.12
- 3) 細川翔太, 井上一雅, 高橋康幸, 河上一公, 加納大輔, 中神佳宏, 福士政広:PET 画像における顕著性を用いた視覚的画質評価の定量化. 第 38 回日本核医学技術学会総会学術大会, 2018.11.15
- 4) 横溝真哉, 西村まゆみ, 森岡孝満, 尚奕, 鶴岡千鶴, 西村由希子, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子, 島田義也:環境エンリッチメントによる放射線リスク低減効果. 日本放射線影響学会第 61 回大会, 2018.11
- 5) 森山ひとみ, 臺野和広, 今岡達彦, 高畠賢, 森岡孝満, 石川敦子, 福士政広, 島田義也, 柿沼志津子:全エクソソーム解析による 放射線誘発ラット乳がんのゲノム変異探索. 日本放射線影響学会第 61 回大会, 2018.11
- 6) Hosokawa S, Inoue K, Takahashi Y, Kano D, Nakagami Y, Suzuki K, Fukushi M:Improving the accuracy of image evaluation in clinical positron emission tomography/computed tomography examination by using Monte Carlo simulation. European Association of Nuclear Medicine 2018, 2018.10.07
- 7) Sombon S, Inoue K, Kasar S, Sahoo SK, Tsuruoka H, Shimizu S, Arae H, Fukushi M:Distribution of uranium in selected Japanese river water. 9th International Conference on High Level Environmental Radiation Areas, 2018.09.24
- 8) Tsuruoka H, Inoue K, Shimizu H, Fujisawa M, Nozawa H, Fukushi M:Dynamic survey of radioactive cesium concentration in cedar pollen in Tokyo since 2011. 9th International Conference on High Level Environmental Radiation Areas, 2018.09.24
- 9) Inoue K, Arai M, Tsuruoka H, Saito K, Fujisawa M, Nimelan V, Fukushi M:Changes of absorbed dose rate in air in Kanto district after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. 9th International Conference on High Level Environmental Radiation Areas, 2018.09.24

- 10) Sakama M, Fujimoto K, Inoue K, Fukushi M, Imajyou Y, Fukuhara T, Matsuura M, Yajima T, Fujisawa M, Matsumoto E: Development of In-situ multiple-channel depth distribution spectrometer to determine specific radioactivities of each targeted underground soil layer by phits newly incorporated into DLNN algorithm. 9th International Conference on High Level Environmental Radiation Areas, 2018.09.24
- 11) 横溝真哉, 西村まゆみ, 森岡孝満, 尚奕, 鶴岡千鶴, 西村由希子, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子, 島田義也: エンリッチメント環境が放射線誘発アポトーシスに及ぼす効果. 日本宇宙生物科学会第 32 回大会, 2018.09.08
- 12) Moriyama H, Daino K, Imaoka T, Takabatake M, Morioka T, Ishikawa A, Fukushi M, Shimada Y, Kakinuma S.: Whole exome sequencing analysis of  $\gamma$ -ray and neutron-induced rat mammary carcinomas. . The 64th Radiation Research Society Annual Meeting, Radiation Research Society, 2018.09
- 13) 阪間稔, 藤本憲市, 井上一雅, 福士政広, 荒井萌子, 今城裕介, 福原隆宏, 遠藤倫崇, 松浦貢, 矢島辰雄, 松本絵里佳, 井原智也, 井本尚吾, 佐藤隆文. : PHITS と深層学習 (DLNN) を組み合わせた多チャンネル放射線検出器の新しい放射線強度弁別処理技術の試み. . 第 14 回 PHITS 研究会/講習会, 2018.08.08
- 14) 成田正人, 井上一雅, 福士政広:  $\alpha$  線スペクトルサーベイメータの研究概要 . 第 12 回 日本診療放射線学教育学会 , 2018.08.04
- 15) 市村 賢 , 井上一雅, 福士政広: 多摩川水系における希土類元素ガドリニウム濃度の調査 . 第 12 回日本診療放射線学教育学会学術集会, 2018.08.04
- 16) 野澤仁志, 井上一雅, 福士政広: 北海道離島5島における環境放射線の調査. 第 12 回日本診療放射線学教育学会学術集会, 2018.08.04
- 17) Yokomizo S, Nishimura M, Morioka T, Tsuruoka C, Shang Y, Inoue K, Fukushi M, Kakinuma S, Shimada Y. : Environmental Enrichment Regulates Radiation-Induced Apoptosis in The Mouse Intestinal Crypt.. 44th European Radiation Research Congress, 2018.08
- 18) 窪岡大, 清水秀雄, 藤澤真, 野沢仁志, 井上一雅, 福士政広: 7 year dynamic survey of radioactive cesium concentration in cedar pollen after Fukushima Daiichi nuclear power plant accident in Tokyo. 日本保健物理学会第 51 回研究発表会, 2018.06.29
- 19) 藤澤真, 井上一雅, 明上山温, Linh N, 坂野康昌, 福士政広: 利尻・礼文島における空間線量率および天然放射性核種の土壤中放射能濃度に関する調査. 日本保健物理学会第 51 回研究発表会, 2018.06.29
- 20) 野沢仁志, 井上一雅, 清水秀雄, 窪岡大, 藤澤真, 福士政広: 奥尻島における環境放射線量(能)の測定. 日本保健物理学会第 51 回研究発表会, 2018.06.29
- 21) 井上一雅, 清水秀雄, 窪岡大, 野沢仁志, 藤澤真, 福士政広: Absorbed dose rate in air in the Izu Islands from long half-life radionuclides released by the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. 日本保健物理学会第 51 回研究発表会, 2018.06.29
- 22) Somboon S, Kavasi N, Sahoo SK, Arae H, Inoue K, Fukushi M: Radiocesium contamination in riverine areas around the Fukushima dai-ichi nuclear power plant. Terrestrial Radioisotopes in Environment International Conference on Environmental Protection, 2018.05.22
- 23) 長屋桃華, 井上一雅, 福士政広: 福島第一原子力発電所事故後の周辺河川における核分裂生成物質の動態調査. 日本放射線技術学会第 72 回東京支部春期学術大会, 2018.05.19
- 24) 柴田友子, 井上一雅, 福士政広: 土壌中の放射性セシウム濃度深度分布調査. 日本放射線技術学会第 72 回東京支部春期学術大会, 2018.05.19

- 25) 西河泰斗, 市村賢, 井上一雅, 福士政広: 東京都東部地域における多摩川水系のガドリニウム濃度調査. 日本放射線技術学会第 72 回東京支部春期学術大会, 2018.05.19
- 26) 徳田明日香, 井上一雅, 福士政広: 奥尻島における空間線量率調査. 日本放射線技術学会第 72 回東京支部春期学術大会, 2018.05.19
- 27) 市村賢, 西河泰斗, 井上一雅, 福士政広: 東京西部の多摩川水系における希土類元素ガドリニウム濃度の調査. 日本放射線技術学会第 72 回東京支部春期学術大会, 2018.05.19

#### 競争的資金等の研究課題

- 1) 福士政広: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「ポータブル  $\alpha$  線スペクトルメータの開発」, 2018.04-2022.03
- 2) 福士政広: 医健エンジニアリング株式会社 共同研究助成「放射線防護材の開発」, 2016.04-2021.03
- 3) 井上 一雅: 公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団 研究助成金「環境水として放出される高濃度ガドリニウムの起源探索と環境負荷低減法の開発」, 2018.10-2019.09
- 4) 福士政広: 首都大学東京 傾斜的研究費「大都市河川の希土類元素ガドリニウム汚染の実態と環境負荷軽減法の提案」, 2018.04-2019.03
- 5) 井上一雅: 独立行政法人日本学生支援機構 帰国留学生研究指導事業「自然放射線に起因したベトナム国民の被ばく線量の算定」, 2018.04-2019.03
- 6) 井上一雅: 首都大学東京 グローバル・コミュニケーション・キャンプ「高放射線地域における次世代グローバル研究者育成協働プログラム」, 2018.04-2019.03
- 7) 井上一雅: ときゅう環境財団 研究助成金「多摩川水域における希土類元素の存在分布とその起源に関する研究」, 2017.04-2019.03
- 8) 井上一雅: 環境省 環境研究総合推進費「多チャンネル放射能深度分布測定器の実用化と In-situ 測定法の確立」, 2016.04-2019.03
- 9) 井上一雅: 日本生命財団 環境問題助成金「高齢社会の進展に伴う環境中の希土類元素分布と環境影響」, 2017.10-2018.09

#### 受賞

- 1) 森山ひとみ(福士政広他): 平成 30 年度若手放射線生物学研究会専門研究会 優秀発表賞, 2018.09
- 2) 藤澤真(福士政広他): 日本保健物理学会 優秀ポスター賞, 2018.06

## 論文

- 1) Veerasamy N, Sahoo SK, Inoue K, Fukushi M, Tsuruoka H, Arae H, Balakrishnan S: Natural Radioactivity measurement and dose assessment of beach placer sands in the coastal region of Tamilnadu (India). Radiation Protection Dosimetry, 2019.03
- 2) Inoue K, Arai M, Tsuruoka H, Saito K, Fujisawa M, Nakazawa S, Veerasamy N, Fukushi M: Changes of absorbed dose rate in air in Kanto District after Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Radiation Protection Dosimetry, 2019.03
- 3) Sakama M, Fujimoto K, Inoue K, Fukushi M, Imajyo Y, Fukuhara T, Matsuura M, Yajima M, Endo M, Fujisawa M, Matsumoto E: Development of In-situ multiple-channel depth distribution spectrometer to determine specific radioactivities of each targeted underground soil layer by PHITS newly incorporated into DLNN algorithm. Radiation Protection Dosimetry, 2019.03
- 4) Inoue K, Shimizu H, Tsuruoka H, Veerasamy N, Somboon S, Nozawa H, Fukushi M: Impact on absorbed dose rate in air in the Izu Islands from long half-life radionuclides released by the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. Radiation protection dosimetry, 182(3): 335-344, 2018.12
- 5) Sakano Y, Tsuruoka H, Inoue K, Sakama M, Fukushi M: Investigation of gadolinium concentration in wastewater in Tokyo Metropolis. Japanese Journal of Education for Radiological Technology, 6(1): 1-6, 2018.09
- 6) Mitsumoto T, Uno K, Irie M, Wu J, Sasamori H, Tsuchiya Y, Akiba Y, Nakajima T, Baba N, Inoue K, Fukushi M, Fujii N, Kishimoto S, Kanno I: The Potential of Dedicated Breast PET with a Ring-type Scanner - Basic Evaluation and Clinical Experience -. Radioisotopes, 67(7): 309-319, 2018.07
- 7) Owaki Y, Nakahara T, Shimizu T, Smith AM, Luk WK, Inoue K, Fukushi M, Nakajima K: Effects of breathing motion on PET acquisitions: step and shoot versus continuous bed motion. Nuclear medicine communications, 39(7): 665-671, 2018.07
- 8) Le TV, Inoue K, Tsuruoka H, Fujisawa M, Arai M, Nguyen LDH, Somboon S, Fukushi M: Effective Dose due to Terrestrial Gamma Radiation Estimated in Southern Vietnam by Car-Borne Survey Technique. Radiation protection dosimetry, 179(1): 18-25, 2018.04

## Misc

- 1) 横溝真哉, 西村まゆみ, 森岡孝満, 鶴岡千鶴, 尚奕, 西村由希子, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子, 島田義也: 放射線発がんプロセスの生活習慣による修飾 環境エンリッチメントによる放射線リスク低減効果. 日本放射線影響学会大会講演要旨集, 61回: 25-25, 2018.11
- 2) 細川翔太, 細川翔太, 井上一雅, 高橋康幸, 加納大輔, 中神佳宏, 中神佳宏, 福士政広: PET 画像における顕著性を用いた視覚的画質評価の定量化. 核医学技術, 38(予稿集): 413-413, 2018.10.04
- 3) 三本拓也, 宇野公一, 入江美幸, Wu Jin, 笹森寛人, 土屋慶宙, 秋葉雄樹, 中島玉実, 馬場紀行, 井上一雅, 福士政広, 藤井智彦, 岸本成史, 菅野巖: リング型乳房専用 PET 装置の基礎評価と臨床経験(The Potential of Dedicated Breast PET with a Ring-type Scanner: Basic Evaluation and Clinical Experience). Radioisotopes, 67(7): 309-319, 2018.07
- 4) 徳田明日香, 井上一雅, 福士政広: 奥尻島における空間線量率調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (133): 27-27, 2018.04.30

- 5) 長屋桃華, 井上一雅, 福士政宏:福島第一原子力発電所事故後の周辺河川における核分裂生成物質の動態調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (133):27-28-28, 2018.04.30
- 6) 西河泰斗, 市村賢, 井上一雅, 福士政広:東京都東部地域における多摩川水系のガドリニウム濃度調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (133):28-29-29, 2018.04.30
- 7) 柴田友子, 井上一雅, 福士政広:土壌中の放射性セシウム濃度深度分布調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (133):28-, 2018.04.30
- 8) 市村賢, 井上一雅, 福士正広:東京西部の多摩川水系における希土類元素ガドリニウム濃度の調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (133):28-28, 2018.04.30
- 9) 柴田友子, 井上一雅, 福士政広:土壌中の放射線セシウム濃度深度分布調査. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (133):28-28, 2018.04

#### 講演・口頭発表等

- 1) 横溝真哉, 森岡孝満, 西村まゆみ, 西村由希子, 鶴岡千鶴, 尚奕, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子, 島田義也:放射線誘発アポトーシスに対する環境エンリッチメントの修飾効果. 東京大学がんプロフェッショナル養成プラン, 2019.02.10
- 2) 森山ひとみ, 臺野和広, 今岡達彦, 高畠賢, 森岡孝満, 石川敦子, 西村由希子, 井上一雅, 福士政広, 島田義也, 柿沼志津子:次世代シーケンス解析による放射線誘発ラット乳がんのゲノム変異探索. 東京大学がんプロフェッショナル養成プラン, 2019.02.10
- 3) 森山ひとみ, 臺野和広, 今岡達彦, 高畠賢, 森岡孝満, 石川敦子, 西村由希子, 井上一雅, 福士政広, 島田義也, 柿沼志津子:全エクソンシーケンス解析による 137Cs  $\gamma$  線誘発ラット乳がんのゲノム変異探索. 若手放射線生物学研究会, 2018.12.01
- 4) 細川翔太, 井上一雅, 高橋康幸, 河上一公, 加納大輔, 中神佳宏, 福士政広:PET 画像における顕著性を用いた視覚的画質評価の定量化. 第 38 回日本核医学技術学会総会学術大会, 2018.11.15
- 5) 森山ひとみ, 臺野和広, 今岡達彦, 高畠賢, 森岡孝満, 石川敦子, 井上一雅, 福士政広, 島田義也, 柿沼志津子:放射線誘発ラット乳がんのゲノム変異探索. 日本放射線影響学会第 61 回大会, 2018.11.07
- 6) 横溝真哉, 西村まゆみ, 森岡孝満, 尚奕, 鶴岡千鶴, 西村由希子, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子, 島田義也:環境エンリッチメントによる放射線リスク低減効果. 日本放射線影響学会第 61 回大会, 2018.11.07
- 7) Hosokawa S, Inoue K, Takahashi Y, Kano D, Nakagami Y, Suzuki K, Fukushi M:Improving the accuracy of image evaluation in clinical positron emission tomography/computed tomography examination by using Monte Carlo simulation. European Association of Nuclear Medicine 2018, 2018.10.17
- 8) Hosokawa S, Inoue K, Takahashi Y, Kano D, Nakagami Y, Suzuki K, Fukushi M:Improving the accuracy of image evaluation in clinical positron emission tomography/computed tomography examination by using Monte Carlo simulation. European Association of Nuclear Medicine, 2018.10.14
- 9) Sakama M, Fujimoto K, Inoue K, Fukushi M, Imajyou Y, Fukuhara T, Matsuura M, Yajima T, Fujisawa M, Matsumoto E: Development of In-situ multiple-channel depth distribution spectrometer to determine specific radioactivities of each targeted underground soil layer by phits newly incorporated into DLNN algorithm. 9th International Conference on High Level Environmental Radiation Areas, 2018.09.24
- 10) Veerasamy N, Sahoo SK, Inoue K, Fukushi M, Tsuruoka H, Srinivasan B:Assessment of natural radioactivity of the beach placer sands in middle coastal region of Tamilnadu, India. 9th International Conference on High Level Environmental Radiation Areas, 2018.09.24

- 11) Changes of absorbed dose rate in air in Kanto district after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: Inoue K, Arai M, Tsuruoka H, Saito K, Fujisawa M, Nimelan V, Fukushi M. 9th International Conference on High Level Environmental Radiation Areas, 2018.09.24
- 12) Tsuruoka H, Inoue K, Shimizu H, Fujisawa M, Nozawa H, Fukushi M: Dynamic survey of radioactive cesium concentration in cedar pollen in Tokyo since 2011. 9th International Conference on High Level Environmental Radiation Areas, 2018.09.24
- 13) Sombon S, Inoue K, Kasar S, Sahoo SK, Tsuruoka H, Shimizu S, Arae H, Fukushi M: Distribution of uranium in selected Japanese river water. 9th International Conference on High Level Environmental Radiation Areas, 2018.09.24
- 14) Moriyama H, Daino K, Imaoka T, Takabatake M, Morioka T, Ishikawa A, Inoue K, Fukushi M, Shimada Y, Kakinuma S: Whole exome sequencing analysis of  $\gamma$ -ray and neutron-induced rat mammary carcinomas. The 64th Radiation Research Society Annual Meeting, 2018.09.23
- 15) 横溝真哉, 西村まゆみ, 森岡孝満, 尚奕, 鶴岡千鶴, 西村由希子, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子, 島田義也: エンリッチメント環境が放射線誘発アポトーシスに及ぼす効果. 日本宇宙生物科学会第32回大会, 2018.09.21
- 16) 横溝真哉, 西村まゆみ, 森岡孝満, 尚奕, 鶴岡千鶴, 西村由希子, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子, 島田義也: エンリッチメント環境が消化管クリプトにおけるアポトーシスに及ぼす影響. 平成30年度若手放射線生物学研究会専門研究会, 2018.09.01
- 17) 森山ひとみ, 臺野和広, 今岡達彦, 高島賢, 森岡孝満, 石川敦子, 西村由希子, 井上一雅, 福士政広, 島田義也, 柿沼志津子:  $\gamma$ 線誘発ラット乳がんにおける全エクソーム解析を用いたゲノム変異探索. 平成30年度若手放射線生物学研究会専門研究会, 2018.09.01
- 18) 阪間稔, 藤本憲市, 井上一雅, 福士政広, 荒井萌子, 今城裕介, 福原隆宏, 遠藤倫崇, 松浦貢, 矢島辰雄, 松本(川口)絵里佳, 井原智也, 井本尚吾, 佐藤隆文: PHITS と深層学習 (DLNN) を組み合わせた多チャンネル放射線検出器の新しい放射線強度弁別処理技術の試み. 第14回 PHITS 研究会/講習会, 2018.08.22
- 19) Yokomizo S, Nishimura M, Morioka T, Tsuruoka C, Shang Y, Inoue K, Fukushi M, Kakinuma S, Shimada Y: Enrichment Regulates Radiation-Induced Apoptosis in The Mouse Intestinal Crypt. 44th European Radiation Research Congress, 2018.08.21
- 20) 市村賢, 西河泰斗, 井上一雅, 福士政広: 多摩川水系における希土類元素ガドリニウム濃度の調査. 第12回日本診療放射線学教育学会総会・学術集会, 2018.08.04
- 21) 成田真人, 井上一雅, 福士政広:  $\alpha$ 線スペクトルサーベイメータの研究概要. 第12回日本診療放射線学教育学会総会・学術集会, 2018.08.04
- 22) 野沢仁志, 井上一雅, 福士政広: 北海道離島5島における環境放射線の調査. 第12回日本診療放射線学教育学会総会・学術集会, 2018.08.04
- 23) 横溝真哉, 西村まゆみ, 森岡孝満, 尚奕, 鶴岡千鶴, 西村由希子, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子, 島田義也: 放射線誘発アポトーシスに対するエンリッチメント環境の効果. 平成30年度新学術領域研究「宇宙に生きる」若手夏合宿, 2018.07.11
- 24) 井上一雅, 清水秀雄, 窪岡大, 野沢仁志, 藤澤真, 福士政広: Absorbed dose rate in air in the Izu Islands from long half-life radionuclides released by the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. 日本保健物理学会第51回研究発表会, 2018.06.29
- 25) 野沢仁志, 井上一雅, 清水秀雄, 窪岡大, 藤澤真, 福士政広: 奥尻島における環境放射線量(能)の測定. 日本保健物理学会第51回研究発表会, 2018.06.29
- 26) 藤澤真, 井上一雅, 明上山温, Linh N, 坂野康昌, 福士政広: 利尻・礼文島における空間線量率および天然放射性核種の土壌中放射能濃度に関する調査. 日本保健物理学会第51回研究発表会, 2018.06.29



- 27) 窪岡大, 清水秀雄, 藤澤真, 野沢仁志, 井上一雅, 福士政広: 7 year dynamic survey of radioactive cesium concentration in cedar pollen after Fukushima Daiichi nuclear power plant accident in Tokyo. 日本保健物理学会第 51 回研究発表会, 2018.06.29
- 28) Somboon S, Kavasi N, Sahoo SK, Arae H, Inoue K and Fukushi M: radiocesium contamination in riverine areas around the Fukushima dai-ichi nuclear power plant. Terrestrial Radioisotopes in Environment International Conference on Environmental Protection, 2018.05.22
- 29) Somboon S, Kavasi N, Sahoo SK, Arae H, Inoue K, Fukushi M: Radiocesium contamination in riverine areas around the Fukushima dai-ichi nuclear power plant. Terrestrial Radioisotopes in Environment International Conference on Environmental Protection, 2018.05.22
- 30) 市村賢, 西河泰斗, 井上一雅, 福士政広: 東京西部の多摩川水系における希土類元素ガドリニウム濃度の調査. 日本放射線技術学会第 72 回東京支部春期学術大会, 2018.05.19
- 31) 徳田明日香, 井上一雅, 福士政広: 奥尻島における空間線量率調査. 日本放射線技術学会第 72 回東京支部春期学術大会, 2018.05.19
- 32) 西河泰斗, 市村賢, 井上一雅, 福士政広: 東京都東部地域における多摩川水系のガドリニウム濃度調査. 日本放射線技術学会第 72 回東京支部春期学術大会, 2018.05.19
- 33) 柴田友子, 井上一雅, 福士政広: 土壌中の放射性セシウム濃度深度分布調査. 日本放射線技術学会第 72 回東京支部春期学術大会, 2018.05.19
- 34) 長屋桃華, 井上一雅, 福士政広: 福島第一原子力発電所事故後の周辺河川における核分裂生成物質の動態調査. 日本放射線技術学会第 72 回東京支部春期学術大会, 2018.05.19

#### 競争的資金等の研究課題

- 1) 井上一雅(分担): 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(B))「ポータブル  $\alpha$  線スペクトルサーベイメータの開発」, 2018.04-2023.03
- 2) 井上一雅: 公益財団法人住友財団 環境研究助成「人工知能ニューラルネットワークを駆使した放射性セシウムの除染作業の効率化」, 2018.10-2021.09
- 3) 井上一雅: 首都大学東京 スタートアップ調査制度(都大連携事業)「東京都水再生センター処理水に含まれる MRI 検査用造影剤由来のガドリニウムの実態調査」, 2018.03-2020.03
- 4) 井上一雅: 公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団 研究助成金「環境水として放出される高濃度ガドリニウムの起源探索と環境負荷低減法の開発」, 2018.10-2019.09
- 5) 井上一雅: 首都大学東京 傾斜的研究費(学長裁量枠)「ガドリニウム造影剤に起因した水質汚染対策」, 2018.06-2019.03
- 6) 井上一雅(分担): 首都大学東京 傾斜的研究費「大都市河川の希土類元素ガドリニウム 汚染の実態と環境負荷軽減法の提案」, 2018.06-2019.03
- 7) 井上一雅: 独立行政法人日本学生支援機構 帰国留学生研究指導事業「自然放射線に起因したベトナム国民の被ばく線量の算定」, 2018.04-2019.03
- 8) 井上一雅: 公益財団法人がん研究振興財団 がん研究助成金「Radium-223 の合理的な放射線管理を目的とした可搬型  $\alpha$  線スペクトロメータの開発と実用化」, 2018.04-2019.03
- 9) 井上一雅: 首都大学東京 グローバル・コミュニケーション・キャンプ「高放射線地域における次世代グローバル研究者育成協働プログラム」, 2018.04-2019.03
- 10) 井上一雅: 首都大学東京 傾斜的研究費「インドの肺がんリスクの高い高自然放射線地域における環境放射線量の実態調査」, 2018.04-2019.03

- 11) 井上一雅:とうきゅう環境財団 研究助成金「多摩川水域における希土類元素の存在分布とその起源に関する研究」, 2017.04-2019.03
- 12) 井上一雅:環境省 環境研究総合推進費「多チャンネル放射能深度分布測定器の実用化と In-situ 測定法の確立」, 2016.04-2019.03
- 13) 井上一雅:日本生命財団 環境問題助成金「高齢社会の進展に伴う環境中の希土類元素分布と環境影響」, 2017.10-2018.09

#### 受賞

- 1) 井上一雅:第 38 回日本核医学技術学会総会学術大会 いいね大賞, 2018.11
- 2) 井上一雅:日本放射線影響学会第 61 回大会 大会優秀演題発表賞, 2018.11
- 3) 井上一雅:若手放射線生物学研究会専門研究会 優秀演題発表賞, 2018.09
- 4) 井上一雅:日本保健物理学会第 51 回研究発表会 優秀ポスター賞, 2018.06
- 5) 井上一雅:日本放射線技術学会東京支部 新人研究奨励賞, 2018.05

#### 社会貢献活動

- 1) 井上一雅:第 118 回日本医学物理学会学術大会. プログラム委員, 2018.12.01-2020.02.30
- 2) 井上一雅:第 29 回日本保健科学学会学術集会. 実行委員, 2018.03.01-2019.10.05
- 3) 井上一雅:第 117 回日本医学物理学会. 実行委員, 2018.10.01-2019.04.14
- 4) 井上一雅:第 8 回 X 線 CT 認定技師認定試験. 実行委員, 2019.02.03
- 5) 井上一雅:応用物理学会放射線分科会医療放射線技術研究会. 実行委員, 2019.01.12
- 6) 井上一雅:診療放射線技師国家試験対策セミナー. 講師, 2018.12.08
- 7) 井上一雅:応用物理学会放射線分科会医療放射線技術研究会. 実行委員, 2018.11.23
- 8) 井上一雅:改定第 2 版診療放射線技師スリム・ベーシック放射線計測学. 編集, 2018.08.01-2018.12.31
- 9) 井上一雅:日本保健物理学会第 51 回研究発表会 若手研究会(企画セッション). 実行委員, 2018.06.30
- 10) 井上一雅:日本保健物理学会第 51 回研究発表会 放射線計測1. 実行委員, 2018.06.29
- 11) 井上一雅:ミニマム講習会(物理工学系). 講師, 2018.06.02
- 12) 井上一雅:第 15 回 X 線 CT 認定技師更新講習会. 実行委員, 2018.05.20
- 13) 井上一雅:放射線業務従事者教育訓練. 講師, 2018.04.02

## 論文

- 1) Masanori Koshimizu, Takayuki Yanagida, Kiyomitsu Shinsho, Shin Yanagisawa, Yutaka Fujimoto, Hideki Yagi, Takagimi Yanagitani, Keisuke Asai: Similarity of trap state and thermoluminescence processes of  $Y_3Al_5O_{12}$  (YAG):Ce for X-ray and UV irradiation. Nuclear Instruments and Methods in Physics Research, Section B: Beam Interactions with Materials and Atoms, 2018.06

## Misc

- 1) 眞正浄光, 王良建, 田中浩基, 柳澤伸, 若林源一郎, 古場裕介, 松本和樹, 牛場洋明, 安藤隆之: Cr 添加  $Al_2O_3$  熱蛍光板による中性子と  $\gamma$  線の弁別分布測定の基礎的検討. セラミクス基礎科学討論会講演要旨集, 57th:30-, 2019.01.16
- 2) 柳澤伸, 眞正浄光, 古場裕介, 福田茂一: 密度制御熱蛍光体から成る人体模型線量計の理論的検討. 応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集(CD-ROM), 79th:ROMBUNNO.21a-224B-2-, 2018.09.05
- 3) 眞正浄光, 古場裕介, CHANG W., 佐々木大地, 柳澤伸, 相澤若奈, 角田瑞季, 山本祥太郎, 丸山大樹, 下村理紗, 高木瞳, 牧野友祐, 田中優美, 王良賢, 川口綺羅々, 懸川明貢, 工藤森海, 若林源一郎, 川路康之, 福田茂一: 熱蛍光板状線量計による重粒子線の線量と線質分布に関する研究. 量子科学技術研究開発機構研究報告書(Web), (8):177-179 (WEB ONLY)-, 2018.09

## 講演・口頭発表等

- 1) 眞正浄光, 王良建, 田中浩基, 柳澤伸, 若林源一郎, 古場裕介, 松本和樹, 牛場洋明, 安藤隆之: 熱蛍光板による中性子・ $\gamma$  線弁別イメージングの基礎的検討. 平成 30 年度京都大学複合原子力科学研究所専門研究会, 2019.03.13
- 2) 島津美宙, 若林源一郎, 納富昭弘, 古場裕介, 眞正浄光: CsI シンチレータ中に生成した  $^{134m}Cs$  から放出される内部転換電子を用いた熱中性子束測定. 平成 30 年度京都大学複合原子力科学研究所専門研究会, 2019.03.13
- 3) M. Shimazu, G. Wakabayashi, A. Nohtomi, Y. Koba, K. Shinsho: Thermal Neutron Flux Measurement by Counting Conversion Electrons from  $^{134m}Cs$  Generated in a CsI Scintillator. 2018 IEEE Nuclear Science Symposium and Medical Imaging Conference, 2018.11.17
- 4) Risa Shimomura, Yusuke Koba, Weishan Chang, Kazuki Matsumoto, Hiroaki Ushiba, Takayuki Andoh, Kiyomitsu Shinsho: Thermoluminescence efficiency of thermoluminescence detector based on chromium-doped alumina ceramic to linear energy transfer. The 18th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2018.11.11
- 5) Shin Yanagisawa, Mitsuhiro Inoue, Yusuke Koba, Yoshifumi Hirota, Kazuki Matsumoto, Takayuki Andoh, Kiyomitsu Shinsho: Dose Distribution Verification using Two-Dimensional  $Al_2O_3$  Thermoluminescence Dosimeter in Robotic Radiosurgery. The 18th Asia-Oceania Congress of Medical Physics, 2018.11.11
- 6) 松本正郷, 納富昭弘, 徳永将瑛, 若林源一郎, 眞正浄光: CsI 板と CCD カメラを用いた簡易中性子分布測定手法の検討. 第 12 回九州放射線医療技術学術大会, 2018.11
- 7) 丸山大樹, 柳澤伸, 古場裕介, 安藤隆之, 松本和樹, 牛場洋明, 眞正浄光: 外部放射線治療装置の郵送線量計測における熱蛍光スラブ線量計の有用性の検討. 日本放射線技術学会第 46 回秋季学術大会, 2018.10.04
- 8) 眞正浄光: 熱蛍光ドシメーター. 応用物理学会次世代放射線シンポジウム 2018, 2018.08.06

- 9) 工藤森海, 柳澤伸, 古場裕介, 正井博和, 恒田雅人, 西尾禎治, 真正浄光: 精密昇温速度法による活性化エネルギーと頻度因子の算出. 応用物理学会次世代放射線シンポジウム 2018, 2018.08.06
- 10) 川口綺羅々, 柳澤伸, 古場裕介, 若林源一郎, 工藤森海, 真正浄光: 超高純度石英ガラスの熱蛍光特性. 応用物理学会次世代放射線シンポジウム 2018, 2018.08.06
- 11) 懸川明貢, 丸山大樹, 柳澤伸, 古場裕介, 安藤隆之, 松本和樹, 牛場洋明, 真正浄光: Cr 添加 Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 熱蛍光スラブ線量計の面積化に伴う光学補正法の検討. 応用物理学会次世代放射線シンポジウム 2018, 2018.08.06
- 12) 高木瞳, 柳澤伸, 古場裕介, 松本和樹, 牛場洋明, 安藤隆之, 真正浄光: Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>:Cr TLD の体積の違いによるエネルギー依存性の検討. 応用物理学会次世代放射線シンポジウム 2018, 2018.08.06
- 13) 下村理紗, 真正浄光, 古場裕介, 張維珊, 安藤隆之, 松本和樹, 牛場洋明: 異なる粒子線に対する Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>:Cr セラミックス板の線量応答特性. 応用物理学会次世代放射線シンポジウム 2018, 2018.08.06
- 14) Shin Yanagisawa, Kiyomitsu Shinsho, Mitsuhiro Inoue, Yusuke Koba, Kazuki Matsumoto, Hiroaki Ushiba, Takayuki Andoh: Energy dependence of two-dimensional Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> thermoluminescence dosimeter in robotic radiosurgery. The 19th International Workshop on Radiation Imaging Detectors, 2018.07.02
- 15) Daiki Maruyama, Shin Yanagisawa, Yusuke Koba, Takayuki Andou, Kazuki Matsumoto, Hiroaki Ushiba and Kiyomitsu Shinsho: Preliminary Study of TLSD Postal Dosimetry of External Radiotherapy System. the 74th Annual Meeting of the JSRT Japanese Society of Radiological Technology, 2018.04.12
- 16) 柳澤伸, 真正浄光, 古場裕介, 福田茂一: 光子線治療における人体模型熱蛍光線量計の理論的検討. 第 117 回日本医学物理学会, 2018.04.12
- 17) 新井清美, 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 坂井志織, 池田由美, 真正浄光, 小林隆司, 西村ユミ: 急性期医療場面における演劇ワークショップ型多職種連携学習支援プログラムの評価. 第 28 回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.06
- 18) 飯塚哲子, 福井里美, 三浦里織, 新井清美, 真正浄光, 小林隆司, 池田由美, 西村ユミ: 急性期医療場面における演劇ワークショップ型多職種連携学習支援プログラムの構築. 第 28 回日本保健科学学会学術集会, 2018.10.06

#### 競争的資金等の研究課題

- 1) 真正浄光: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「人体模型線量計による放射線診断・治療時の人体内 3次元線量分布評価システムの開発」, 2016.04-2020.03
- 2) 納富昭弘: 文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「放射線治療で発生する中性子被ばく評価の為の簡便で高精度な分布測定システムの開発」, 2016.04-2019.03

#### 受賞

- 1) Shin Yanagisawa, Mitsuhiro Inoue, Yusuke Koba, Yoshifumi Hirota, Kazuki Matsumoto, Takayuki Andoh, Kiyomitsu Shinsho: AOCMP & SEACOMP 2018 Best Poster Presentation 「Dose Distribution Verification using Two-Dimensional Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> Thermoluminescence Dosimeter in Robotic Radiosurgery」, 2018.11
- 2) 下村理紗, 真正浄光, 古場裕介, 張維珊, 安藤隆之, 松本和樹, 牛場洋明: 応用物理学会 放射線分科会 次世代放射線シンポジウム 2018 学生ポスター賞「異なる粒子線に対する Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>:Cr セラミックス板の線量応答特性」, 2018.09

#### 委員歴

- 1) 第 118 回 日本医学物理学会 プログラム委員(2018.10-)

- 2) 応用物理学会 次世代放射線シンポジウム2019 実行委員長(2018.10-)
- 3) 日本診療放射線技師会 業務拡大に伴う統一講習会実行委員(2016.05-2019.03)
- 4) 応用物理学会 放射線分科会幹事(2014.04-2019.03)
- 5) 第116回 日本医学物理学会 プログラム委員(2017.10-2018.09)

## 論文

- 1) 松木直也, 関根紀夫, 三ツ木直樹: (3次元シミュレーションによるX線撮影学習支援システムの開発): 3次元シミュレーションによるX線撮影学習支援システムの開発-3次元シミュレーションによるX線撮影学習支援システムの開発, 3次元シミュレーションによるX線撮影学習支援システムの開発.
- 2) 松崎正史, 関根紀夫: 無症候性膝関節症に対する危険因子検出の検討. 診療放射線学教育, 6(1):19-24, 2018.08

## Misc

- 1) 関根紀夫, 森浩一, 小原弘道, 中島修一, 藤井義大, 小原弘道: 肝小葉を描写するための位相コントラスト血管造影法. 第28回日本保健科学学会学術集会, 2018.10
- 2) 関根紀夫, 白川崇子, 古川顕, 岡野ジェイムス洋尚, 山田恵, 酒井康二, 松浦勉, 畑純一: 高次脳活動中の高濃度酸素吸入による脳血流量変化: NIRSによるデータ収集. 第28回日本保健科学学会学術集会, 2018.10
- 3) 松浦陽子, 関根紀夫: 学校間における女子学生の実験実習教育の比較. 第12回日本診療放射線学教育学会学術集会, 2018.08
- 4) 小野山瑞咲, 関根紀夫: スマートスピーカーを用いた音声による回答の試み. 第12回日本診療放射線学教育学会学術集会, 2018.08

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 森浩一: 日本学術振興会 科学研究費助成事業「X線位相コントラスト画像による豚肝小葉の精密描写と末梢系循環機能の評価」, 2018.04-2021.03
- 2) 白川崇子: 日本学術振興会 科学研究費助成事業「高次脳活動中の高濃度酸素吸入による脳血流変化: NIRS+fMRI 同時データ解析」, 2018.04-2021.03
- 3) 関根紀夫: 高エネルギー加速器研究機構 放射光共同利用実験課題「肝臓灌流保存法の最適化を目指した位相コントラスト画像による肝小葉の精密描写」, 2018.04-2020.03
- 4) 関根紀夫: 首都大学東京 教育改革推進事業「視線計測データを活用した医療スキル教育の構築」, 2018.04-2020.03
- 5) 渡邊首都大学東京 教育改革推進事業「ICTなどを活用した評価システムの構築による臨地・臨床実習の質保証」, 2017.04-2020.03
- 6) 大嶋伸雄: 首都大学東京 傾斜的研究費「多職種連携教育コア・カリキュラム構築のための国際アンケート調査」, 2018.04-2019.03

## 講演・口頭発表等

- 1) 大塚郭貴, 乳井嘉之, 根岸徹, 松浦陽子, 小倉泉:ウレタン樹脂製ファントムを用いた学生実験用トモシンセシスの基礎的検討. 2018.10
- 2) 大塚郭貴, 乳井嘉之, 根岸徹, 松浦陽子:2-D マンモグラフィ装置を用いた学生実験用トモシンセシス画像再構成の基礎的検討. 第116回日本医学物理学会学術大会, 2018.09.16

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 乳井嘉之:日本学術振興会 基盤研究(C)「教育用画像再構成補助ツールキットの開発」, 2017.04-2019.03

## 委員歴

- 1) 日本医学物理学会 総務委員(2018.01-)

## 論文

- 1) 田中道隆, 沼野智一, 波部哲史, 伊東大輝, 前野利樹, 植木貴道, 五十嵐佳佑, 水原和行:振動波形が MR elastography に与える影響. 日本放射線技術学会雑誌, 75(3):239-246, 2019.03
- 2) Surendra Maharjan, Tomokazu Numano, Tetsushi Habe, Daiki Ito, Takamichi Ueki, Keisuke Igarashi, Toshiki Maeno:Phase Unwrapping in Magnetic Resonance Elastography. Open Journal of Medical Imaging, 8(4):111-125, 2018.12
- 3) Ito D, Numano T, Takamoto K, Ueki T, Habe T, Igarashi K, Mizuhara K, Nishijo H:Simultaneous acquisition of magnetic resonance elastography of the supraspinatus and the trapezius muscles. Magnetic resonance imaging, 57:95-102, 2018.11
- 4) Ito D, Numano T, Mizuhara K, Washio T, Misawa M, Nitta N:Development of a robust diffusion-MR elastography (dMRE) technique to mitigate intravoxel phase dispersion. Magnetic resonance imaging, 54:160-170, 2018.08

## 講演・口頭発表等

- 1) Tomokazu NUMANO:Quantitative Palpation of Skeletal Muscle Systems with MR Elastography. The 3rd Interational Symposium on Biomedical Engineering, 2018.11.09
- 2) 五十嵐佳佑, 高橋光幸, 石井泰貴, 沼野智一:EPI-MR Elastography における動きの評価. 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018.10.06
- 3) 波部哲史, 沼野智一, 伊東大輝, 五十嵐佳佑, 植木貴道, 前野利樹, 水原和行, 高本孝一:大腰筋 MR Elastography における異なる検者間の再現性. 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018.10.06
- 4) 植木貴道, 沼野智一, 伊東大輝, 波部哲史, 五十嵐佳佑, 前野利樹, 水原和行, 高本孝一:梨状筋 MR Elastography に適切なパラメータの検討. 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018.10.06
- 5) 沼野智一, 水原和行, 鷲尾利克, 伊東大輝, 波部哲史, 五十嵐佳佑, 植木貴道, 前野利樹:筋線維異方向性が MR Elastography に及ぼす影響. 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018.10.06
- 6) 前野利樹, 沼野智一, 伊東大輝, 五十嵐佳佑, 植木貴道, 波部哲史, 水原和行:ピクセルサイズと Zero-fill Interpolation Processing が MR Elastography にもたらす影響. 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018.10.05
- 7) 伊東大輝, 沼野智一, 水原和行, 波部哲史, 植木貴道, 五十嵐佳佑, 高橋光幸, 高本孝一:MR Elastography における空間分解能の限界. 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018.10.05
- 8) 加藤謙弥, 沼野智一, 伊東大輝, 波部哲史, 植木貴道, 五十嵐佳佑, 前野利樹, 牧野綾音:MR Elastography における加振周波数のずれとその影響. 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018.10.05
- 9) 牧野綾音, 沼野智一, 伊東大輝, 五十嵐佳佑, 波部哲史, 植木貴道, 前野利樹, 加藤謙弥:MR 強度画像コントラストが MR Elastography に与える影響. 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018.10.05
- 10) 沼野智一, 伊東大輝, 植木貴道, 五十嵐佳佑, 波部哲史, 前野利樹, 三澤雅樹, 新田尚隆:骨格筋 MR Elastography 技術開発に Rapid prototyping が与える効果. 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018.10.04
- 11) 五十嵐佳佑, 高橋光幸, 石井泰貴, 沼野智一:息止め不良が肝臓 EPI-MR Elastography に及ぼす影響. 第 46 回日本磁気共鳴医学会大会, 2018.09.09



- 12) 五十嵐佳佑, 沼野智一, 清野真也, 高橋光幸, 金澤崇史, 水原和行, 伊東大輝, 植木貴道, 波部哲史, 前野利樹:MR Elastography 精度評価用 Phantom に適した加振パッドの開発・運用. 第 46 回日本磁気共鳴医学会大会, 2018.09.08
- 13) 植木貴道, 沼野智一, 伊東大輝, 五十嵐佳佑, 波部哲史, 前野利樹, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫: 梨状筋 MR Elastography における撮像断面の検討. 第 46 回日本磁気共鳴医学会大会, 2018.09.08
- 14) 波部哲史, 沼野智一, 伊東大輝, 五十嵐佳佑, 植木貴道, 前野利樹, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫: 大腰筋 MR Elastography における繰り返し再現性の検討. 第 46 回日本磁気共鳴医学会大会, 2018.09.08
- 15) 前野利樹, 沼野智一, 伊東大輝, 五十嵐佳佑, 植木貴道, 波部哲史, 水原和行, 高本孝一, 西条寿夫: Zero-fill Interpolation Processing が MR Elastography にもたらす影響. 第 46 回日本磁気共鳴医学会大会, 2018.09.08
- 16) 伊東大輝, 沼野智一, 水原和行, 鷲尾利克, 三澤雅樹, 新田尚隆: 拡散・弾性率情報の同時収集: diffusion-MRE. 第 46 回日本磁気共鳴医学会大会, 2018.09.08
- 17) 沼野智一, 伊東大輝, 水原和行, 鷲尾利克, 五十嵐佳佑, 植木貴道, 波部哲史, 前野利樹:MR 位相画像を利用しない MR Elastography 技術. 第 46 回日本磁気共鳴医学会大会, 2018.09.08
- 18) Numano Tomokazu, Ito Daiki, Takamoto Koichi, Mizuhara Kazuyuki, Nishijo Hisao : Application of MR Elastography to Transvertebral Psoas Major Muscle. International Society for Magnetic Resonance in Medicine ISMRM 26th Annual Meeting & Exhibition, Joint Annual Meeting ISMRM-ESMRMB 2018, 2018.06.18
- 19) Ito Daiki, Numano Tomokazu, Takamoto Koichi, Mizuhara Kazuyuki, Nishijo Hisao : Simultaneous magnetic resonance elastography of the supraspinatus and the trapezius muscles. International Society for Magnetic Resonance in Medicine ISMRM 26th Annual Meeting & Exhibition, Joint Annual Meeting ISMRM-ESMRMB 2018, 2018.06.18
- 20) 五十嵐佳佑, 高橋光幸, 石井泰貴, 沼野智一: 肝臓 MR Elastography における息止め不良の影響. 第 74 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2018.04.15
- 21) 沼野智一, 水原和行, 伊東大輝, 波部哲史, 五十嵐佳佑, 植木貴道, 前野利樹: 既存の MRI 装置で MR elastography を実施する方法. 第 74 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2018.04.12
- 22) 五十嵐佳佑, 沼野智一, 高橋光幸, 鈴木圭一郎, 伊東大輝, 植木貴道, 波部哲史: MR Elastography において画像歪みの影響を軽減する方法. 第 74 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2018.04.12
- 23) 伊東大輝, 沼野智一, 水原和行, 高本孝一, 植木貴道, 五十嵐佳佑, 波部哲史: 棘上筋・僧帽筋 MR elastography の開発. 第 74 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2018.04.12
- 24) 前野利樹, 沼野智一, 伊東大輝, 五十嵐佳佑, 植木貴道, 波部哲史, 水原和行: 撮像時間短縮が大腿部 MR Elastography にもたらす影響. 第 74 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2018.04.12
- 25) 植木貴道, 沼野智一, 伊東大輝, 五十嵐佳佑, 波部哲史, 水原和行, 高本孝一: 梨状筋 MR Elastography で骨盤振動の影響を低減させる方法. 第 74 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2018.04.12

#### 競争的資金等の研究課題

- 1) 矢代航: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED) 医療分野研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)「時間分解 X 線位相エラストグラフィ法の開発」, 2017.07-2020.03

#### 受賞

- 1) 伊東大輝, 沼野智一, 水原和行, 高本孝一, 植木貴道, 五十嵐佳佑, 波部哲史: 日本放射線技術学会 第 74 回日本放射線技術学会総会学術大会 Bronze Award「棘上筋・僧帽筋 MR elastography の開発」, 2018.04

#### 委員歴

- 1) 日本磁気共鳴専門技術者認定機構(JMRTS) 理事(2015.04-)

## 論文

- 1) Miyazono T, Miyake H, Nakamura H, Ochiai K, Saito H, Sagawa J, Asano H, Koyano Y, Abe S, Negishi T, Imai Y: [Report Based on Fiscal 2015 Diagnostic X-ray Equipment Questionnaire Survey]. Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai zasshi, 75 (1):54-61, 2019
- 2) Nishi K, Sekimoto M, Negishi T, Katoh Y, Nakashima T, FUNDAMENTAL STUDIES ON THE ENRICHMENT OF 3H IN WATER USING FREEZING AND MELTING POINT DIFFERENCES OF H2O AND T2O. International Journal of Advanced Research, Int. J. Adv. Res. 6(7), 507-512, 2018
- 3) Ogura A, Hayashi N, Negishi T, Watanabe H : Effectiveness of an e-Learning Platform for Image Interpretation Education of Medical Staff and Students. Journal of digital imaging, 31(5), 622-627, 2018
- 4) Saito H, Asano H, Miyake H, Nakamura H, Imai Y, Ogura I, Negishi T: [Effect of Interspaces of Anti-scatter Grid on the Image Improvement Factor]. Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai zasshi, 74(10), 1186-1193, 2018

## Misc

- 1) 関本道治, 根岸徹, 丸裕亮, 佐々木政彦, 加藤洋: 非鉛製放射線遮へい材を用いた減弱特性評価の幾何学的条件が及ぼす鉛当量の違い. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 75回: 310-310, 2019.03
- 2) 根岸徹: 医療被ばくの正当化と最適化に向けて Part III 線量管理義務化の動向と医療機関に求められる対応 II 診断参考レベル(DRLs 2020)改訂に向けた取り組みと展望 3. マンモグラフィの診断参考レベル改訂に向けた取り組みと今後の展開. Innervision, 34(3): 25-27-, 2019.02.25
- 3) 根岸徹: 【医療被ばくの正当化と最適化に向けて Part III 線量管理義務化の動向と医療機関に求められる対応】 診断参考レベル(DRLs 2020)改訂に向けた取り組みと展望 マンモグラフィの診断参考レベル改訂に向けた取り組みと今後の展開. INNERVISION, 34(3): 25-27, 2019.02
- 4) 田中悠斗, 山口達也, 小倉泉, 乳井嘉之, 根岸徹, 篠田之孝: レーザー光を用いたコーンビーム CT 装置の教育用模擬システムの基礎的検討. 電気学会基礎・材料・共通部門大会講演論文集(CD-ROM), 2018(): ROMBUNNO.4-P-4-, 2018.09.04
- 5) 宮藺忠文, 三宅博之, 中村浩章, 落合幸一郎, 齋藤祐樹, 佐川仁, 浅野宏, 小谷野裕也, 安部真治, 根岸徹, 今井宜雄: 2015 年度診断用 X 線装置アンケート調査. 日本放射線技術学会雑誌, 75(1): 54-61, 2019.01
- 6) 齋藤祐樹, 浅野宏, 三宅博之, 中村浩章, 今井宜雄, 小倉泉, 根岸徹: 散乱線除去グリッドの中間物質がイメージ改善係数に及ぼす影響. 日本放射線技術学会雑誌, 74(10): 1186-1193, 2018.10
- 7) 角田奈月, 林則夫, 根岸徹, 小暮美香, 齋藤美友, 鈴木沙季, 佐藤有将, 佐藤有将, 丸山朋子, 丸山朋子, 渡部晴之: 深層学習を用いた頭部側面 X 線像からの線量推定. 日本診療放射線技師会誌, 65(9): 1000-1000, 2018.09.01
- 8) 篠原範充, 秋山忍, 伊東孝宏, 岡田智子, 國友博史, 千葉陽子, 根岸徹, 広藤喜章: デジタルプレストモシンセシスに関する品質管理方法の検討. 日本放射線技術学会雑誌, 74(9): 983-983, 2018.09
- 9) 丸裕亮, 根岸徹, 関本道治, 菅野一総, 加藤洋, 小倉泉: 携帯形歯科口内法用 X 線装置の特性解析. 日本放射線技術学会雑誌, 74(9): 1061-1061, 2018.09
- 10) 小谷野裕也, 中村浩章, 矢島圭祐, 宮藺忠文, 落合幸一郎, 丸山礼佳, 根岸徹, 三宅博之: 撮影透視用 X 線装置の面積線量計性能実態調査. 日本放射線技術学会雑誌, 74(9): 1063-1063, 2018.09

- 11) 菅野一総, 西航平, 関本道治, 丸裕亮, 加藤洋, 根岸徹, 澤田歩海:凝固点差を利用したトリチウム濃縮. 日本放射線技術学会雑誌, 74(9):1066-1067, 2018.09
- 12) 吉澤佑華, 小倉泉, 齋藤真由, 小林司, 根岸徹, 山崎綾乃, 市川重司:乳房用簡易形線量計による半価層の精度に関する検討. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (133):29-30-30, 2018.04.30
- 13) 齋藤真由, 小倉泉, 吉澤佑華, 小林司, 根岸徹, 山崎綾乃, 市川重司:乳房用簡易形線量計における管電圧特性に関する検討. 日本放射線技術学会東京支部雑誌, (133):29-29, 2018.04.30
- 14) 篠原範充, 秋山忍, 伊東孝宏, 岡田智子, 國友博史, 千葉陽子, 根岸徹, 広藤喜章:班報告:デジタルプレストモシンセシスに関する品質管理方法の検討. 日本放射線技術学会雑誌, 74(9):983(J-STAGE)-, 2018
- 15) 齋藤祐樹, 山崎綾乃, 市川重司, 小倉泉, 根岸徹:乳房用撮影装置における地域連携型品質管理プログラムの開発. 日本放射線技術学会雑誌, 74(9):1021-1022(J-STAGE)-1022, 2018.09
- 16) 土田拓治,根岸徹, 甲斐敏弘, 田中宏, 尾形智幸, 岡田智子, 松原馨, 坂井香澄, 矢形寛, 二宮淳:フリー画像解析ソフトを用いたマンモグラム高濃度乳房分類法. 日本乳癌検診学会学術総会プログラム抄録集, 28th:140-, 2018
- 17) 辻本峻二, 関本道治, 根本道子, 澤田歩美, 根岸徹, 加藤洋:マンモグラフィにおける被検者体表面の散乱線の評価. 日本放射線技術学会雑誌, 74(9):1021(J-STAGE)-1021, 2018.09
- 18) 根岸徹, 小倉泉, 加藤洋, 丸裕亮:携帯形歯科口内法用 X 線装置に対応した簡易形 X 線測定器の開発. 日本放射線技術学会雑誌, 74(9):1061(J-STAGE)-1061, 2018.09

#### 講演・口頭発表等

- 1) 高田桂介, 根岸徹, 加藤洋, 小倉泉, 丸裕亮, 二階堂満, 小田幸奈, 日高未菜:Digital Breast Tomosynthesis に対応した平均乳腺線量計算シートの作成. 日本放射線技術学会関東・東京支部合同研究発表大会 2018, 2018.12.15
- 2) 日高未菜, 根岸徹, 加藤洋, 小倉泉, 丸裕亮, 高田桂介, 二階堂満, 小田幸奈:マンモグラフィにおける半価層測定精度向上に関する検討～アルミニウム板加工による取扱いの簡便化～. 日本放射線技術学会関東・東京支部合同研究発表大会 2018, 2018.12.15
- 3) 丸裕亮,根岸徹, 加藤洋, 小倉泉, 高田桂介, 二階堂満, 小田幸奈, 日高未菜:携帯形歯科口内法用 X 線装置の特性解析. 日本放射線技術学会第 46 回秋季学術大会, 2018.10.06
- 4) 根岸徹, 加藤洋, 小倉泉, 高田桂介, 二階堂満, 小田幸奈, 日高未菜:携帯形歯科口内法用 X 線装置に対応した簡易形 X 線測定器の開発. 日本放射線技術学会第 46 回秋季学術大会, 2018.10.06
- 5) 篠原範充, 秋山忍, 伊東孝宏, 岡田智子, 國友博史, 千葉陽子, 根岸徹, 広藤善章:デジタルプレストモシンセシスに関する品質管理方法の検討. 日本放射線技術学会第 46 回秋季学術大会, 2018.10.06
- 6) 大塚郭貴, 乳井嘉之, 根岸徹, 松浦陽子, 小倉泉:ウレタン樹脂製ファントムを用いた学生実験用トモシンセシスの基礎的検討. 2018.10
- 7) 大塚郭貴, 乳井嘉之, 根岸徹, 松浦陽子:2-D マンモグラフィ装置を用いた学生実験用トモシンセシス画像再構成の基礎的検討. 第 116 回日本医学物理学会学術大会, 2018.09.16
- 8) 吉澤佑華, 小倉泉, 齋藤真由, 小林司, 根岸徹, 山崎綾乃, 市川重司:乳房用簡易形線量計による半価層の精度に関する検討. 日本放射線技術学会東京支部第 72 回春期学術大会, 2018.05.19
- 9) 齋藤真由, 小倉泉, 吉澤佑華, 小林司, 根岸徹, 山崎綾乃, 市川重司:乳房用簡易形線量計における管電圧特性に関する検討. 日本放射線技術学会東京支部第 72 回春期学術大会, 2018.05.19
- 10) 岡田智子,根岸徹, 篠原範充, 秋山忍, 伊東孝宏, 國友博史, 千葉陽子, 広藤善章:Comparison of X-ray Exposure Condition in Digital Breast Tomosynthesis. 日本放射線技術学会第 74 回総会学術大会, 2018.04.12

- 11) 小林剛, 福士翔哉, 小倉泉, 安部真治, 根岸徹, 土田拓治: Weekly Dose Control of General X-ray Imaging and Mammographic Equipment by Simple Dosimeter Using Photodiode. 日本放射線技術学会第 74 回総会学術大会, 2018.04.12
- 12) 関口智子, 根岸徹, 加藤洋: 簡易型線量計と高純度アルミニウム板を用いた乳房用 X 線装置の精度管理の検討. 日本放射線技術学会第 74 回総会学術大会, 2018.04.12

#### 委員歴

- 1) 日本放射線技術学会学術交流委員会標準化小委員会(現標準化委員会) 班員(1997-)
- 2) 日本放射線技術学会理事(2015-)
- 3) 日本放射線技術学会大会開催委員会委員長(2017-)
- 4) 日本放射線技術学会出版委員会委員(2015-)
- 5) 日本放射線技術学会標準・企画委員会運営委員(2017-)
- 6) 日本放射線技術学会代議員(2011-)
- 7) 日本放射線技術学会東京支部理事(2013-)
- 8) 日本放射線技術学会東京支部学術委員(2011-)
- 9) 日本診療放射線学教育学会副会長(2015-)
- 10) 日本乳癌検診精度管理中央機構技術委員(2017-)
- 11) 日本ラジオロジー協会理事(2017-)

## 講演・口頭発表等

- 1) 鈴木春美, 森田恭平, 明上山温:UVC カメラを使用した光子のエネルギースペクトル測定. 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018.10
- 2) 角田朋美, 中尾美波, 明上山温: 電磁石による高エネルギー電子線の偏向のシミュレーション. 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018.10
- 3) 中尾 美波, 角田朋美, 明上山温: 電磁石による電子の収束制御に関する研究. 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018.10
- 4) 三井勇毅, 明上山温: 3D プリンタを用いたマルチモダリティ用血管ファントムの作成. 第 46 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2018.10
- 5) 今井諒, 明上山温: The simulation on the electron beam deflection by electromagnets. 第 116 回日本医学物理学会学術大会, 2018.09.18
- 6) 江面崇智, 明上山温, 齋藤 秀敏 他: Analysis of three-dimensional characteristic points in face authentication using Kinect. 第 116 回日本医学物理学会学術大会, 2018.09.18
- 7) 山崎将弘, 明上山温: Reduction of motion artifact due to air motion in kV-CBCT images. 第 116 回日本医学物理学会学術大会, 2018.09.18
- 8) MYOJOYAMA Atsushi, Hidetoshi Saitoh: 2D electron beam control of linear accelerator using electromagnet. WC2018, 2018.06.02
- 9) 森田恭平, 明上山温: Comparison between MC simulation and histogram of photon output from Cs-137. 第 115 回日本医学物理学会学術大会, 2018.04.18
- 10) 今井諒, 明上山温: Development of the equipment to control electron beam by using electromagnets. 第 115 回日本医学物理学会学術大会, 2018.04.18

## 競争的資金等の研究課題

- 1) 明上山温: 日本学術振興会 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究「電子線とX線のハイブリッドによる新しい高エネルギー画像撮像法の開発」, 2016.04-2019.03

首都大学東京 健康福祉学部 研究費評価・配分委員会部会

部会長	渡邊	賢	(学部長)
委員	西村	ユミ	(看護学科長)
委員	山田	拓実	(理学療法学科長)
委員	石井	良和	(作業療法学科長)
委員	古川	顕	(放射線学科長)